

OKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

# ANNUAL REPORT

2020.4–2021.3

岡山県立美術館年報  
令和2年度

OKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM OF ART  
**ANNUAL REPORT**  
**2020.4–2021.3**

**岡山県立美術館年報**  
令和2年度

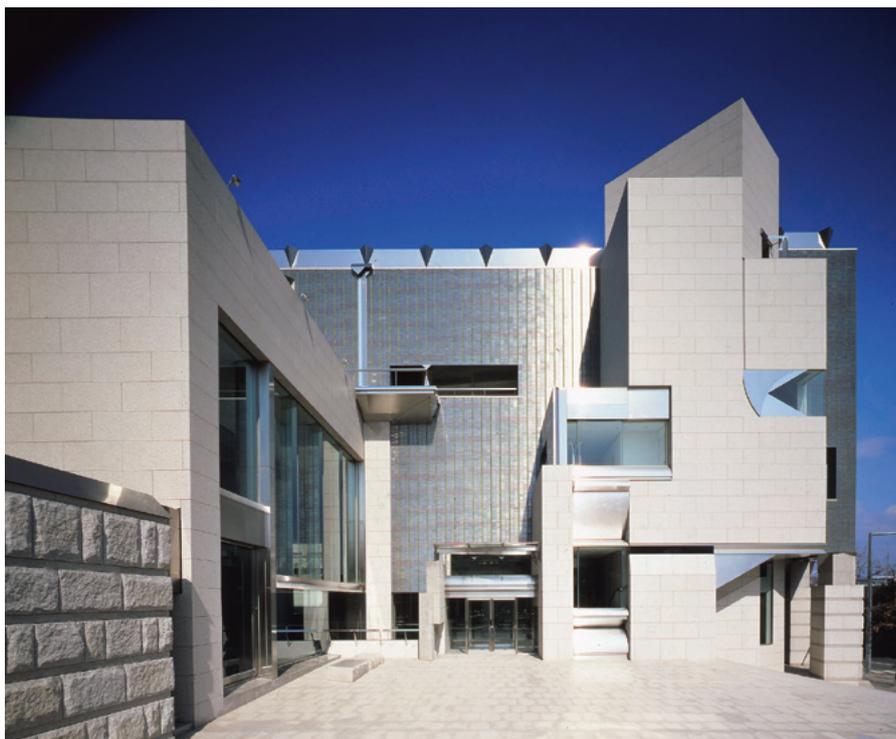


## 目次

設置目的	4
設立経過	5
展覧会事業	7
1. 岡山の美術	7
2. 岡山の美術 特別企画等	21
3. 特別展	35
4. 館蔵品貸出状況	68
5. 入館者数一覧	70
教育普及事業	72
1. こんにちは美術館事業	72
2. 博学連携事業	78
3. 交流事業	88
4. ボランティア活動	89
5. ホールイベント実施状況	90
6. 刊行物	92
施設・設備の概要	94
組織及び職員構成	98
付録 新収蔵作品	100

## 設置目的

岡山県立美術館は、郷土ゆかりの芸術家の優れた作品を収集・展示するとともに、内外の芸術活動を紹介する展覧会等を開催し、県民の幅広い文化活動の発展に寄与することを目的として設置されました。



## 設立経過

昭和55年1月	天神山地域利用構想懇親会を開催
昭和55年3月	岡山県天神山文化施設整備基金を設置
昭和57年1月	天神山文化施設整備のための基礎調査を委託発注
昭和57年5月－昭和58年8月	天神山地区利用構想懇談会を開催し、整備の基本方針を打ち出す（全体会議3回、小委員会2回）
昭和57年12月－昭和58年8月	「天神山地区利用構想懇談会」の意見を踏まえ、また、中央、地元の学識経験者等の意見を聴きながら「天神山地区文化施設整備基本構想」を策定
昭和58年9月－昭和59年4月	基本設計委託および策定（委託先：(株)岡田新一設計事務所）
昭和59年5月－11月	基本設計に対する意見聴取および修正作業を実施（意見聴取者：学識経験者、各種団体、個人等）
昭和59年12月6日	実施設計委託（委託先：(株)岡田新一設計事務所）
昭和60年3月－昭和61年6月	敷地内既存建物の解体撤去工事（岡山東警察署、岡山公共職業安定所、広島高裁岡山支部）
昭和60年4月1日	県企画部に県立美術館開設準備事務局設置
昭和60年8月	岡山県立美術館（仮称）新築工事契約締結
昭和60年10月28日	岡山県立美術館（仮称）起工式
昭和60年10月－昭和62年7月	建設期間
昭和61年4月1日	県企画部県立美術館開設準備事務局組織の変更
昭和62年4月1日	岡山県立美術館開設準備事務局設置（企画部出先機関）
昭和62年7月1日	岡山県立美術館竣工
昭和63年3月11日	岡山県立美術館条例制定
昭和63年3月18日	岡山県立美術館開館
昭和63年5月1日	岡山県企画部から総務部へ移管
平成10年4月1日	岡山県総務部から生活環境部へ移管
平成19年4月1日	指定管理者制度の導入（施設及び設備の維持管理に関するものの一部） 指定管理者：アトラクティブ大永(株)[H19.4.1-H22.3.31、H22.4.1-H25.3.31]
平成22年4月1日	岡山県環境文化部へ移管
平成25年4月1日	指定管理業務の拡大（展示室監視業務、ホームページ管理業務等） 指定管理者：鹿島建物総合管理(株)[H25.4.1-H30.3.31]
平成25年5月23日	第13回日本建築家協会（JIA）25年賞を受賞
平成29年12月－平成30年4月	施設設備メンテナンス修繕による休館
平成30年4月1日	指定管理業務の拡大（電話交換機保守業務、県外向け広報業務等） 指定管理者：鹿島建物総合管理(株)[H30.4.1-R5.3.31]



# 展覧会事業

## 1. 岡山の美術

岡山県は、室町時代の雪舟以降、浦上玉堂・松岡壽・原田直次郎・鹿子木孟郎・平櫛田中・坂田一男・国吉康雄・小野竹喬・池田遙邨・金重陶陽ら優れた芸術家を現代に至るまで輩出してきた。開館以来収集を続けており、2021年3月現在2,159点（寄託品やその他資料類は除く）を所蔵している。

当館では彼らの卓越した業績を紹介するため「岡山の美術」をメインテーマとして運営している。

### 令和2年度 岡山の美術一覧

展 覧 会 名	会 期	会期日数
第1期	2020年4月10日（金）－4月24日（金） 5月7日（木）－5月24日（日）	29
第2期	5月27日（水）－7月12日（日）	41
第3期	7月16日（木）－8月30日（日）	53
第4期	2021年2月10日（水）－3月14日（日）	30
第1期（令和3年度）	3月20日（土）－3月31日（水）	10

★印の作品には音声ガイドを付した

第1期作品目録 2020年4月10日(金)－4月24日(金)、5月7日(木)－5月24日(日)

NO	作者名	作品名	制作年	材質・技法	員数	所蔵
洋画						
1	渡辺文三郎	松島	制作年不詳 (20世紀)	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
2	松原三五郎	桃	明治時代 (19－20世紀)	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
3	中川堅一	中川雪肖像	明治16 (1883) 年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
4	赤松麟作	水鳥のいる風景	明治36 (1903) 年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
5	松岡壽	凱旋門	明治15 (1882) 年頃	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
6	原撫松	自画像	明治38 (1905) 年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
7	原撫松	老人像 ★	明治39 (1906) 年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
8	原撫松	横向きの裸婦	明治40 (1907) 年	油彩・カンヴァス	1点	個人蔵
9	原田直次郎	風景 ★	明治19 (1886) 年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
10	鹿子木孟郎	海岸	昭和12 (1937) 年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
11	中山巍	画室の男	大正15 (1926) 年頃	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
12	中山巍	鳥を飼う室内	昭和39 (1964) 年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
13	中山巍	窓辺肖像 ★	昭和4 (1929) 年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
14	坂田一男	キュビズム的人物像 ★	大正14 (1925) 年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
15	犬飼恭平	習作 (酔った男) ★	大正10 (1921) 年	油彩・カンヴァス	1点	個人蔵
16	国吉康雄	カーテンを引く子供 ★	大正12 (1923) 年頃	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
17	国吉康雄	ロバのいる風景	昭和3 (1928) 年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
18	国吉康雄	夜明けが来る ★	昭和19 (1944) 年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
19	国吉康雄	鯉のぼり	昭和25 (1950) 年	油彩・カンヴァス	1点	福武コレクション
20	国吉康雄	ミスターエース	昭和27 (1952) 年	油彩・カンヴァス	1点	福武コレクション
21	中津瀬忠彦	田植時	昭和45 (1970) 年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
22	佐竹徳	赤松	昭和48 (1973) 年頃	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
23	岡崎信吾	青い麦	昭和62 (1987) 年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
24	劉生容	焼金 No.6 ★	昭和40 (1965) 年	油彩、コラージュ・カンヴァス	1点	本館蔵
25	工藤哲巳	限定プールに於ける増殖性連鎖反応	昭和35 (1960) 年	ラッカー・板	1点	個人蔵
26	高橋秀	蒼	平成20 (2008) 年	アクリル・金箔・カンヴァス	1点	個人蔵

江戸時代のももたろう 桃太郎絵巻全巻公開

特別展示「令和おとぎ草子 桃太郎 KAMISHI by 松井えり菜」に関連して、当館が所蔵する江戸時代の「桃太郎絵巻」を全巻展覧し、関連作品を展示した。本作は同様の図像系統の桃太郎絵巻のなかで最も早い時期の作例であり、老夫婦が桃を食べて若返り桃太郎を産むという「回春型」のストーリーを描く。今日知られる「果生型」(桃から生まれるパターン)の桃太郎は明治以降、子ども向けに普及したもので、本作に描かれる「回春型」はそれ以前に一般的だった話型である。こうした情報も含め、岡山ゆかりの桃太郎に関してより深く来館者に親んでもらうことを狙いとした。

27	不詳 (狩野派)	桃太郎絵巻 ★	江戸時代 (18世紀)	紙本着色	2巻	本館蔵
28	長沢蘆雪	昔噺図	江戸時代 (18世紀)	絹本墨画淡彩	1幅	個人蔵
29	広瀬臺山	唐人物図	江戸時代 (18－19世紀)	絹本着色	1幅	本館蔵
30	柴田義董	群仙図巻 ★	文化8 (1811) 年	紙本淡彩	1巻	個人蔵

NO	作者名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵	所蔵
31	河鍋曉斎	桃太郎鬼征伐図	江戸－明治時代（19世紀）	絹本着色	1幅	個人蔵
32	柴田是真	桃太郎図	江戸時代（19世紀）	紙本着色	1幅	本館蔵
33	巖谷小波	桃太郎図	制作年不詳（20世紀）	紙本着色	1幅	個人蔵
34	多田香晴	桃太郎図	昭和時代（20世紀）	絹本着色	1幅	個人蔵
35	山本杏園	「桃太郎」と従者「犬」「猿」「雉」	大正7（1918）年	木彫・彩色	4点	本館蔵

### 日本画・工芸 春のよろこび、初夏のおとずれ

春から初夏にかけての季節を描いた作品のなかで、伝統を学びながら新たな技法や表現に挑戦した近代の日本画と近現代の工芸を展示した。作家が工夫した色彩やデザインに、新たな季節の喜びや植物の生命力を感じてもらうことを目的とした。

36	正宗得三郎	故郷早春図	昭和時代（20世紀）	紙本淡彩	1幅	本館蔵
37	小野竹喬	山郵春日	大正3（1914）年	絹本着色	1幅	個人蔵
38	松島白虹	鯉に山吹	昭和10（1935）年	絹本着色	1幅	本館蔵
39	林皓幹	孔雀図 ★	大正9（1920）年頃	絹本着色	4曲1隻	本館蔵
40	高橋秋華	牡丹・秋草図 ★	昭和10（1935）年	絹本着色	2曲1双	個人蔵
41	高橋秋華	五月晴	昭和前期（20世紀）	紙本着色	6曲1双	個人蔵
42	森谷南人子	五月霽	昭和11（1936）年頃	紙本着色	1点	本館蔵
43	稲葉春生	八重桜（スケッチ）	昭和4（1929）年	鉛筆、水彩・紙	1点	本館蔵
44	稲葉春生	筍②（スケッチ）	昭和17（1942）年	墨、水彩・紙	1点	本館蔵
45	稲葉春生	芍薬②（スケッチ）	昭和2（1927）年	鉛筆、淡彩・紙	1点	本館蔵
46	稲葉春生	立葵②（スケッチ）	昭和4（1929）年	鉛筆、一部淡彩・紙	1点	本館蔵
47	稲葉春生	立葵④（スケッチ）	昭和4（1929）年	鉛筆・紙	1点	本館蔵
48	稲葉春生	花葵	昭和6（1931）年	絹本着色	1点	本館蔵
49	岡本欣三	葱翠青花瓶〈蜥蜴〉	昭和35（1960）年	陶土	1点	本館蔵
50	岡本欣三	桃壽光水指	昭和56（1981）年	陶土	1点	本館蔵
51	深田恒弘	紅釉彫花文鉢	昭和－平成時代 （20－21世紀）	陶土	1点	本館蔵
52	深田恒弘	米色流釉丸壺	昭和－平成時代 （20－21世紀）	陶土	1点	本館蔵
53	久保田厚子	青白磁山茶花大皿	平成15（2003）年	磁土	1点	本館蔵
54	久保田厚子	青白磁桜陶匣 ★	昭和62（1987）年	磁土	1点	本館蔵
55	難波仁斎	花と雲の図蒔絵衝立	昭和28（1953）年頃	木製、蒔絵	1点	個人蔵
56	難波仁斎	飾盆 蝶の図	昭和30年代（20世紀）	木製、描蒔醤	1点	個人蔵
57	難波仁斎	描蒔醬色紙管 （かすみ草とカーネーション）	昭和時代（20世紀）	木製、描蒔醤	1点	本館蔵
58	難波仁斎	描蒔醬春風卓	昭和46（1971）年	木製、描蒔醤	1点	個人蔵
59	難波仁斎	うるし蝶文花生	昭和46（1971）年	木製、描蒔醤	1点	個人蔵
60	難波仁斎	蒔絵桜花文雪吹	昭和時代（20世紀）	木製、蒔絵	1点	本館蔵
61	難波仁斎	若鷺蒔絵平棗	昭和時代（20世紀）	木製、蒔絵	1点	本館蔵

NO	作者名	作品名	制作年	材質・技法	員数	所蔵
62	小松原賢次	七子塗り蒔絵盤「草むしろ」	平成24（2012）年	変わり塗り	1点	本館蔵
63	小松原賢次	蒔絵「野の詩」	平成10（1998）年	平文、螺鈿、卵殻	1点	本館蔵
64	小松原賢次	平文箱「麗」	平成20（2008）年	平文、螺鈿	1点	本館蔵
65	小松原賢次	平文蒔絵箱「花笑」	平成22（2010）年	平文、螺鈿、卵殻	1点	本館蔵
66	小松原賢次	中次「夜桜」	平成時代（20-21世紀）	平文、螺鈿	1点	本館蔵
67	小松原賢次	中次「夜韻」	平成時代（20-21世紀）	卵殻、平文	1点	本館蔵
68	山口松太	鈿装延齢草文小箱	平成時代（20-21世紀）	木製、螺鈿、蒔絵	1点	本館蔵
69	岡本欣三	桃壽光香盒	昭和58（1983）年	陶土	1点	本館蔵
70	岡本欣三	おしどり香盒	昭和58（1983）年	陶土	1点	本館蔵
71	小山富士夫	金彩花字文酒盃	昭和49（1974）年	灰白土	1点	本館蔵
72	小山富士夫	白磁香合	昭和時代（20世紀）	磁土	1点	本館蔵
73	小山富士夫	青白磁酒盃	昭和時代（20世紀）	磁土	1点	本館蔵
74	平田郷陽	支度（師匠・藤娘）★	昭和17（1942）年	木彫、着せ込み	1点	本館蔵
(重森三玲書院)						
75	岡本欣三	桃壽光香炉	昭和56（1981）年	陶土	1点	本館蔵
76	山口松太	鷹の羽香枕	平成時代（21世紀）	木彫	1点	本館蔵
77	西村春湖	備前翡翠香盒	昭和時代（20世紀）	備前土	1点	本館蔵



岡山の美術第1期 会場風景

## 第2期作品目録 5月27日(水)－7月12日(日)

NO	作者名	作品名	制作年	材質・技法	員数	所蔵
----	-----	-----	-----	-------	----	----

### 洋画

1-26 第1期と同じ

### 日本画 美術館で日本一周！

コロナ禍で旅行が難しくなったことから、美術館での「日本一周ツアー」として、江戸時代の画家たちが描いた日本各地の風景を中心に展示した。なかでも淵上旭江《五畿七道図》には、蝦夷（北海道）と琉球（沖縄）を除く全国の名勝が計484図取められており、今回は「西海（九州）」「北陸」「五畿（近畿）」「南海（和歌山・四国）」「東海」「東山（本州内陸部・東北）」から数図ずつ取り上げた。画中の点景人物たちのなかには、地域の住民だけでなく旅人も見られる。彼らを自分の分身とみて、画中を自由に旅してみる楽しさを提示した。

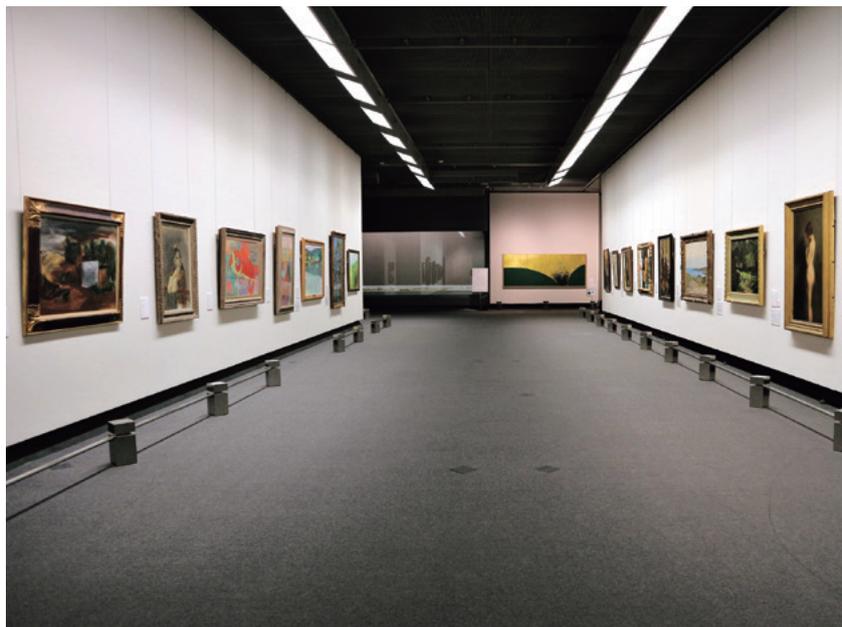
27	淵上旭江	五畿七道図 ★	寛政8（1796）年序	絹本着色	484図のうち	本館蔵
28	淵上旭江	誕生石図	寛政10（1798）年	絹本着色	1幅	個人蔵
29	長沢蘆雪	那智瀧・薩埵峠図	江戸時代（18世紀）	絹本墨画	2幅	個人蔵
30	藤本鉄石	富嶽図	安政4（1857）年	紙本墨画淡彩	1幅	本館蔵
31	浦上玉堂	仙溪訪友図	江戸時代（19世紀）	紙本墨画淡彩	1幅	本館蔵
32	釧雲泉	山荘訪友図	寛政年間（1789－1801）	紙本墨画淡彩	1幅	個人蔵
33	富岡鉄斎	山居静適図	明治時代（19世紀）	紙本墨画	1幅	本館蔵
34	富岡鉄斎	豪溪真景図 ★	明治40（1907）年	紙本淡彩	1幅	本館蔵
35	高橋秋華	海金剛図屏風	大正－昭和時代（20世紀）	紙本墨画	2曲1隻	本館蔵
36	池田遙邨	冬の入海 ★	大正11（1922）年	絹本着色	1点	本館蔵

### 工芸・日本画 初夏旅する文人に寄せて

春から夏への季節の移ろいとあわせて、絵画とともに旅から連想される工芸作品を紹介した。文人たちの語らいに趣を添えた茶道具にも彼らが理想とする豊かな山水が描かれている。江戸時代には中国の伝統的な画題のひとつである瀟湘八景に準え、日本各地で当地の名所を集めた「八景」が選定され、本県にも「虫明八景」がある。煎茶器などに描き込まれたそれら名勝を楽しんでいただいた。

37	岡本英山	虫明山水絵煎茶碗	大正－昭和時代（20世紀）	陶土	1点	個人蔵
38	岡本英山	虫明水注（赤壁詩画）	大正－昭和時代（20世紀）	陶土	1点	個人蔵
39	岡本英山	虫明煎茶器（虫明八景）★	大正－昭和時代（20世紀）	陶土	1点	個人蔵
40	宮川香山	虫明染付手付樽（楠溪下絵）★	明治3（1870）年	陶土	1点	個人蔵
41	宮川香山	虫明染付手付樽	明治3（1870）年	陶土	1点	個人蔵
42	岡本欣三	玳瑁盞天目角花瓶	昭和53（1978）年	陶土	1点	本館蔵
43	岡本欣三	奥入瀬風景大皿	昭和63（1988）年	陶土	1点	本館蔵
44	岡本欣三	染付鉢〈瀬戸内風景〉	昭和－平成時代（20世紀）	陶土	1点	本館蔵
45	岡本欣三	玳瑁盞天目皿〈詩文〉	平成元（1989）年	陶土	1点	本館蔵
46	岡本欣三	玳瑁盞天目花瓶〈渚の鳥〉	平成6（1994）年	陶土	1点	本館蔵
47	岡本欣三	青辰砂水指	昭和42（1967）年	陶土	1点	本館蔵
48	小松原賢次	変塗抜文色紙箱「朝の煌めき」★	平成12（2000）年	変わり塗り、平文	1点	本館蔵
49	小松原賢次	抜文変わり塗箱「海焼」★	平成18（2006）年	変わり塗り、平文	1点	本館蔵
50	小山富士夫	唐津粉引茶碗（銘 白鷺）	昭和48（1973）年	唐津土・灰釉	1点	本館蔵
51	小山富士夫	丹波掛分茶碗（銘 丹波路）	昭和47（1972）年	丹波土	1点	本館蔵
52	小山富士夫	刷毛目茶碗（銘 白雲）	昭和時代（20世紀）	種子島土・灰釉	1点	本館蔵
53	小山富士夫	唐津茶碗（銘 苔衣）	昭和時代（20世紀）	唐津土	1点	本館蔵

NO	作者名	作品名	制作年	材質・技法	員数	所蔵
54	小山富士夫	種子島茶碗(銘 晩鐘)	昭和時代(20世紀)	種子島土	1点	本館蔵
55	小山富士夫	唐津皮鯨大壺	昭和時代(20世紀)	唐津土	1点	本館蔵
56	小山富士夫	書「天地」	昭和時代(20世紀)	紙本墨書	1点	本館蔵
57	小山富士夫	白丹波鉢	昭和時代(20世紀)	丹波土	1点	本館蔵
58	小山富士夫	種子島台鉢	昭和48(1973)年	種子島土	1点	本館蔵
59	小山富士夫	斑唐津大壺	昭和48(1973)年	唐津土	1点	本館蔵
60	小松原賢次	中次「金雨」	平成12(2000)年	卵殻、螺鈿	1点	本館蔵
61	小松原賢次	置平目平盤「遊波」	平成20(2008)年	卵殻、螺鈿、蒔絵	1点	本館蔵
62	小野為郎(二代)	飾り皿 小鳥と露草	昭和時代(20世紀)	三彩彫漆	1点	本館蔵
63	山口松太	平文浪千鳥平棗	昭和-平成時代(20世紀)	平文、蒔絵	1点	本館蔵
64	山口松太	堆錦レンゲザ	平成12(2000)年	堆錦、蒔絵、卵殻	1点	本館蔵
65	柚木玉邨	山水図屏風	大正10(1921)年	紙本金地墨画	6曲1双のうち1隻	本館蔵
66	岡本豊彦	浜松図屏風	江戸時代(19世紀)	紙本淡彩	6曲1双	本館蔵
67	塩出英雄	緑蔭 ★	昭和23(1948)年	紙本着色	1点	本館蔵
68	塩出英雄	池畔	昭和29(1954)年	紙本着色	1点	本館蔵
69	塩出英雄	禅閣	昭和47(1972)年	紙本着色	1点	本館蔵
(重森三玲書院)						
70	小山富士夫	書「天之蒼々」	昭和時代(20世紀)	紙本墨書	1幅	本館蔵
71	西村春湖	備前多宝塔香炉	昭和時代(20世紀)	備前土	1点	本館蔵
72	西村春湖	人物帖鎮	大正-昭和時代(20世紀)	備前土	1点	本館蔵



岡山の美術第2期 会場風景

## 第3期作品目録 7月16日(木)－8月30日(日)

NO	作者名	作品名	制作年	材質・技法	員数	所蔵	新収蔵品
----	-----	-----	-----	-------	----	----	------

### 響きあう表現 Drawing Melodies

新型コロナウイルス感染拡大の影響をうけ、7月21日(火)－9月20日(日)に開催を予定していた特別展示「草間喆雄―美しき色彩のコンポジション」は翌年秋に延期となった。ここでは、同展に先駆けて、洗練された形態と鮮やかな色彩が結びついた草間喆雄氏(1946-)の作品に、当館収蔵品のなかから色彩による表現がユニークな現代作家の作品をあわせて展示した。また作品展示にあわせ、岡山を中心に活動する若手演奏家を迎えてのギャラリーコンサートを実施し、美術と音楽との交感しあう体験の場を提供した。

1	草間喆雄	Horizon-1	平成22(2010)年	錦糸、プラスチック版	1点	個人蔵	
2	草間喆雄	Rainbow	令和2(2020)年	コイリング	1点	個人蔵	
3	アオキスミエ	1983	昭和58(1983)年	油彩、鉛筆、カンヴァス	1点	本館蔵	
4	木原千珂	LUMIERE	平成7(1995)年	アクリル、カンヴァス	1点	本館蔵	
5	東島毅	S-004	平成8(1996)年	ハウスペイント、スプレーペイント、カンヴァス	1点	本館蔵	
6	東島毅	FMF-M	平成12(2000)年	ハウスペイント、スプレーペイント、カンヴァス	1点	本館蔵	
7	児玉知己	温かい絵画	平成24(2012)年	アクリル絵具、塗料、紙、カンヴァス	1点	本館蔵	
8	小野耕石	Hundred Layers of Colors	平成25-26(2013-14)年	スクリーンプリント、油性インク、紙	9点	本館蔵	

### 令和元年度新収蔵品を中心に

※新収蔵作品には○を記載

#### 洋画

9	満谷国四郎	満谷 英三郎像	明治43(1910)年以前	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵	○
10	満谷国四郎	満谷 英三郎像	明治44(1911)年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵	○
11	満谷国四郎	裸婦	明治28(1895)年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵	○
12	満谷国四郎	スペイン コルドバ風景	大正2(1913)年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵	○
13	満谷国四郎	海の風景	大正2(1913)年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵	
14	満谷国四郎	瀬戸内海風景 ★	大正6(1917)年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵	
15	満谷国四郎	病床の父 準一郎	明治38(1905)年	水彩・紙	1点	本館蔵	○
16	満谷国四郎	笹と雪の中を走る兔	制作年不明	紙本淡彩	1点	本館蔵	○
17	満谷国四郎(絵付)	菓子皿(菊)	制作年不明	色絵陶器	1点	本館蔵	○
18	満谷国四郎(絵付)	鉢	制作年不明	染付磁器	1点	本館蔵	○
19	満谷国四郎	鶴図①	制作年不明	紙本墨画淡彩	1点	本館蔵	○
20	満谷国四郎	鶴図②	制作年不明	紙本墨画淡彩	1点	本館蔵	○
21	満谷国四郎	蘇州風景	昭和元(1926)年	絹本金地墨画淡彩	1点	本館蔵	○
22	坂田一男	コンポジション	制作年不明	油彩・板	1点	本館蔵	○
23	坂田一男	コンポジションA	昭和23(1948)年5月3日	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵	○
24	坂田一男	コンポジション	昭和24(1949)年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵	○
25	坂田一男	コンポジション	制作年不明	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵	○
26	坂田一男	コンポジション	制作年不明	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵	○
27	坂田一男	コンポジション	制作年不明	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵	○
28	坂田一男	作品	昭和24(1949)年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵	○
29	坂田一男	コンポジション	制作年不明	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵	○
30	坂田一男	コンポジション	制作年不明	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵	○

NO	作者名	作品名	制作年	材質・技法	員数	所蔵	複製品
31	坂田一男	コンポジション	制作年不明	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵	○
32	坂田一男	グワッシュ・コンポジション	制作年不明	グワッシュ・紙	1点	本館蔵	○
33	坂田一男	グワッシュ・コンポジション	昭和4（1929）年	グワッシュ・紙	1点	本館蔵	○
34	坂田一男	グワッシュ・コンポジション	制作年不明	グワッシュ・紙	1点	本館蔵	○
35	坂田一男	グワッシュ・コンポジション	昭和4（1929）年	グワッシュ・紙	1点	本館蔵	○
36	坂田一男	コンポジション	制作年不明	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵	○
37	坂田一男	デッサン・コンポジション	制作年不明	鉛筆・色鉛筆・紙	1点	本館蔵	○
38	坂田一男	デッサン・コンポジション	制作年不明	鉛筆・紙	1点	本館蔵	○
39	坂田一男	デッサン・コンポジション	制作年不明	鉛筆・紙	1点	本館蔵	○
40	坂田一男	グワッシュ・コンポジション	制作年不明	グワッシュ・紙	1点	本館蔵	○
41	坂田一男	作品	昭和22（1947）年7月27日	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵	○
42	坂田一男	エスキース・コンポジション	制作年不明	グワッシュ・紙	1点	本館蔵	○
43	坂田一男	エスキース・コンポジション	制作年不明	グワッシュ・紙	1点	本館蔵	○
44	坂田一男	エスキース・コンポジション	昭和29（1954）年	グワッシュ・紙	1点	本館蔵	○
45	坂田一男	グワッシュ・コンポジション	昭和30（1955）年	グワッシュ・紙	1点	本館蔵	○

書画

46	(伝) 馬遠	高士探梅図	元時代（14世紀）	絹本墨画淡彩	1幅	本館蔵	
47	吉田百太郎	馬遠「高士探梅図」模写	文化元（1804）年	紙本墨画淡彩	1幅	本館蔵	○
48	黒田綾山	米元章図	天明2（1782）年	絹本着色	1幅	本館蔵	○
49	黒田綾山	鍾馗図	享和元（1801）年	絹本墨画淡彩	1幅	本館蔵	○
50	黒田綾山	関羽張飛図	文化元（1804）年	絹本墨画淡彩	1幅	本館蔵	○
51	黒田綾山	高士漁陰図	寛政10（1798）年	絹本着色	1幅	本館蔵	○
52	黒田綾山	醉翁亭図	文化4（1807）年	絹本着色	1幅	本館蔵	○
53	柴田義董	風雪三顧図	江戸時代（19世紀）	紙本着色	1幅	本館蔵	○
54	柴田義董	飲中八仙図	江戸時代（19世紀）	絹本着色	1幅	本館蔵	○
55	小野雲鵬	郭子儀図	江戸時代（19世紀）	絹本着色	1幅	本館蔵	○
56	小野雲鵬	楊貴妃図	江戸時代（19世紀）	絹本着色	1幅	本館蔵	○
57	小野雲鵬	福寿草図	江戸時代（19世紀）	絹本淡彩	1幅	本館蔵	○
58	釧雲泉	山水図	寛政5（1793）年	紙本墨画淡彩	1幅	本館蔵	○
59	浦上春琴 山本梅逸 小田海僊	花鳥図合作	天保5（1834）年	絹本着色	1幅	本館蔵	○
60	衣笠豪谷	題西王母句	明治時代（19世紀）	紙本墨画	1幅	本館蔵	○
61	衣笠豪谷	桃花鱖魚図	明治時代（19世紀）	絹本着色	1幅	本館蔵	○
62	衣笠豪谷	柳陰小艇図	明治25（1892）年	絹本墨画	1幅	本館蔵	○
63	衣笠豪谷	写生画帖	明治15-29（1882-96）年	紙本着色	1幅	本館蔵	○

NO	作者名	作品名	制作年	材質・技法	員数	所蔵	複製品
64	衣笠豪谷	八仙図	明治時代（19世紀）	絹本着色	1幅	本館蔵	○
65	稲葉春生	萩に小禽図	昭和初期（20世紀）	絹本着色	2曲1隻	本館蔵	○
66	稲葉春生	栢榴図	昭和初期（20世紀）	紙本着色	2曲1隻	本館蔵	○

## 工芸

67	黒井千左	彩色五色象嵌鉢	平成時代（21世紀）	虫明焼	1点	本館蔵	○
68	黒井千左	彩色象嵌線文大皿	平成時代（21世紀）	虫明焼	1点	本館蔵	○
69	黒井千左	コバルト鉄釉線文灰釉壺	平成時代（21世紀）	虫明焼	1点	本館蔵	○
70	黒井一楽	喰籠	昭和時代（20世紀）	虫明焼	1点	本館蔵	○
71	山口松太	油忝堆錦箱「大和」	平成17（2005）年	油忝堆錦・蒔絵・螺鈿	1点	本館蔵	○
72	山口松太	存清錦秋手箱	昭和時代（20世紀）	存清	1点	本館蔵	○
73	山口松太	乾漆堆錦游魚文提盤	平成3（1991）年	堆錦・蒔絵・彫漆	1点	本館蔵	○
74	山口松太	乾漆油忝堆錦筒形箱「アンドロメダ」★	平成14（2002）年	乾漆・油忝堆錦	1点	本館蔵	○
75	兼行誠吾	光の帯 Collapse	平成31（2019）年	磁器	1点	本館蔵	○
76	兼行誠吾	光の帯 Ring	平成31（2019）年	磁器	1点	本館蔵	○
77	兼行誠吾	光の帯 Spiral	平成31（2019）年	磁器	1点	本館蔵	○
78	兼行誠吾	祈り	平成31（2019）年	陶器	1点	本館蔵	○
79	家住利男	F.160201	平成28（2016）年	板ガラス・接着・研磨	1点	本館蔵	○
80	岡本欣三	玳瑁盞天目大皿（花火）★	平成10（1998）年	陶土	1点	本館蔵	○

## 高木聖鶴とその遺愛品

81	千利休	鈎雲軒宛書状	戦国－桃山時代（16世紀）	紙本墨書	1幅	本館蔵	○
82	本阿弥光悦	川辺新四郎宛書状	桃山－江戸時代（16－17世紀）	紙本墨書	1幅	本館蔵	○
83	本阿弥光悦	和歌色紙「たれそのの」	桃山－江戸時代（16－17世紀）	紙本墨書	1幅	本館蔵	○
84	小堀遠州	半井琢庵宛書状	江戸時代（17世紀）	紙本墨書	1幅	本館蔵	○
85	烏丸光広	和歌短冊「しいてまた」	桃山－江戸時代（16－17世紀）	紙本墨書	1幅	本館蔵	○
86	寂庵諦乗	書「逢麴車口流涎」	江戸時代（18世紀）	紙本墨書	1幅	本館蔵	○
87	慈雲	書「生死无中至応化」	江戸時代（18－19世紀）	紙本墨書	1幅	本館蔵	○
88	慈雲	書「嘯月」	江戸時代（18－19世紀）	紙本墨書	1幅	本館蔵	○
89	慈雲	書「寿」	江戸時代（18－19世紀）	紙本墨書	1幅	本館蔵	○
90	大愚良寛	書「籬菊纒残両三枝」	江戸時代（18－19世紀）	紙本墨書	1幅	本館蔵	○
91	大愚良寛	書「はちのこは」	江戸時代（18－19世紀）	紙本墨書	1幅	本館蔵	○
92	大愚良寛	和歌短冊「わがやとを」	江戸時代（18－19世紀）	紙本墨書	1幅	本館蔵	○
93	大愚良寛	短冊「きてみれば」	江戸時代（18－19世紀）	紙本墨書	1幅	本館蔵	○
94	大愚良寛	解良叔問宛書状	江戸時代（19世紀）	紙本墨書	1幅	本館蔵	○

NO	作者名	作品名	制作年	材質・技法	員数	所蔵	新収蔵品
95	太田垣蓮月	和歌短冊「軒ちかき」	慶応3（1867）年	紙本墨書	1幅	本館蔵	○
96	太田垣蓮月	和歌短冊「このきは」	明治8（1875）年	紙本墨書	1幅	本館蔵	○
97	池大雅	山水図	江戸時代（18世紀）	紙本墨書、墨画	1幅	本館蔵	○
98	浦上玉堂	雲山静望図	江戸時代（19世紀）	紙本墨画	1幅	本館蔵	
99	平櫛田中	書「春風春水一時到」	昭和50（1975）年	紙本墨書	1幅	本館蔵	○
100	平櫛田中	書「間房春草深」	昭和54（1979）年	紙本墨書	1幅	本館蔵	○
101	平櫛田中	五浦釣人 ★	昭和38（1963）年	木彫	1点	本館蔵	
102	高木聖鶴	あおによし	平成12（2000）年	紙本墨書	1点	本館蔵	
103	高木聖鶴	こしのうみ	平成4（1992）年	紙本墨書	1点	本館蔵	
104	高木聖鶴	閃電光裏六十年	平成14（2002）年	紙本墨書	1点	本館蔵	
105	高木聖鶴	精神鋭くして（岡倉天心）	平成9（1997）年	紙本墨書	1点	本館蔵	



岡山の美術第3期 会場風景

## 第4期作品目録 2021年2月10日(水)－3月14日(日)

NO	作者名	作品名	制作年	材質・技法	員数	所蔵
洋画						
国吉康雄、犬飼恭平、野木定次郎 ー米国に渡った画家ー						
1	国吉康雄	自画像	大正7(1918)年	油彩・カンヴァス	1点	福武コレクション
2	国吉康雄	カーテンを引く子供 ★	大正12(1923)年頃	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
3	国吉康雄	二人の赤ん坊	大正12(1923)年	油彩・カンヴァス	1点	福武コレクション
4	国吉康雄	水難救助員	大正13(1924)年	油彩・カンヴァス	1点	福武コレクション
5	国吉康雄	ロバのいる風景	昭和3(1928)年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
6	国吉康雄	化粧	昭和3(1928)年	油彩・カンヴァス	1点	福武コレクション
7	国吉康雄	日本の張子の虎とがらくた	昭和7(1932)年	油彩・カンヴァス	1点	福武コレクション
8	国吉康雄	もの思う女 ★	昭和10(1935)年	油彩・カンヴァス	1点	福武コレクション
9	国吉康雄	逆さのテーブルとマスク	昭和15(1940)年	油彩・カンヴァス	1点	福武コレクション
10	国吉康雄	夜明けが来る ★	昭和19(1944)年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
11	国吉康雄	今日はマスクをつけよう	昭和21-22(1946-47)年	ワックス・カンヴァス	1点	福武コレクション
12	国吉康雄	ここは私の遊び場	昭和22(1947)年	油彩・カンヴァス	1点	福武コレクション
13	国吉康雄	祭りは終わった ★	昭和22(1947)年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
14	国吉康雄	鯉のぼり	昭和25(1950)年	油彩・カンヴァス	1点	福武コレクション
15	国吉康雄	ミスターエース	昭和27(1952)年	油彩・カンヴァス	1点	福武コレクション
16	野木定次郎	静物	20世紀	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
17	野木定次郎	婦人像	20世紀	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
18	犬飼恭平	静物	昭和6(1931)年	油彩・ボード	1点	本館蔵
19	犬飼恭平	習作(酔った男)	大正10(1921)年	油彩・カンヴァス	1点	個人蔵
松岡壽、原田直次郎、原撫松 ー明治時代の渡欧画家ー						
20	松岡壽	ピエトロ・ミカの服装の男 ★	明治14(1881)年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
21	松岡壽	父の像(松岡隣)	明治22(1889)年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
22	原田直次郎	男性像	明治19(1886)年	油彩・カンヴァス	1点	個人蔵
23	原田直次郎	裸体習作	明治17-19(1884-86)年頃	油彩・カンヴァス	1点	個人蔵
24	原田直次郎	上野東照宮 ★	明治22(1889)年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
25	原撫松	野崎武吉郎像	明治37(1904)年	油彩・カンヴァス	1点	野崎家塩業歴史館蔵
26	原撫松	老人像 ★	明治39(1906)年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
27	原撫松	横向きの裸婦	明治40(1907)年	油彩・カンヴァス	1点	個人蔵
坂田一男、中山巍 ー1920年代のパリーー						
28	坂田一男	静物	大正13(1924)年	油彩・カンヴァス	1点	個人蔵
29	坂田一男	キュビズム的人物像 ★	大正14(1925)年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
30	中山巍	画室の男	大正15(1926)年頃	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
31	中山巍	黒衣の女	大正15(1926)年頃	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵



岡山の美術第4期 会場風景

第1期(令和3年度)作品目録 3月20日(土)－3月31日(水)

NO	作者名	作品名	制作年	材質・技法	員数	所蔵
洋画						
第1章 国吉康雄、犬飼恭平、野木定次郎 ー米国に渡った画家ー						
1	国吉康雄	自画像	大正7(1918)年	油彩・カンヴァス	1点	福武コレクション
2	国吉康雄	カーテンを引く子供 ★	大正12(1923)年頃	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
3	国吉康雄	二人の赤ん坊	大正12(1923)年	油彩・カンヴァス	1点	福武コレクション
4	国吉康雄	水難救助員	大正13(1924)年	油彩・カンヴァス	1点	福武コレクション
5	国吉康雄	ロバのいる風景	昭和3(1928)年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
6	国吉康雄	化粧	昭和3(1928)年	油彩・カンヴァス	1点	福武コレクション
7	国吉康雄	日本の張子の虎とがらくた	昭和7(1932)年	油彩・カンヴァス	1点	福武コレクション
8	国吉康雄	もの思う女 ★	昭和10(1935)年	油彩・カンヴァス	1点	福武コレクション
9	国吉康雄	逆さのテーブルとマスク	昭和15(1940)年	油彩・カンヴァス	1点	福武コレクション
10	国吉康雄	夜明けが来る ★	昭和19(1944)年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
11	国吉康雄	今日はマスクをつけよう	昭和21-22(1946-47)年	ワックス・カンヴァス	1点	福武コレクション
12	国吉康雄	ここは私の遊び場	昭和22(1947)年	油彩・カンヴァス	1点	福武コレクション
13	国吉康雄	祭りは終わった ★	昭和22(1947)年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
14	国吉康雄	鯉のぼり	昭和25(1950)年	油彩・カンヴァス	1点	福武コレクション
15	国吉康雄	ミスターエース	昭和27(1952)年	油彩・カンヴァス	1点	福武コレクション
16	野木定次郎	婦人像	制作年不詳(20世紀)	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
17	野木定次郎	静物	制作年不詳(20世紀)	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
18	犬飼恭平	静物	昭和6(1931)年	油彩・ボード	1点	本館蔵
19	犬飼恭平	習作(酔った男)	大正10(1921)年	油彩・カンヴァス	1点	個人蔵
第2章 松岡壽、原田直次郎、原撫松 ー明治時代の渡欧画家ー						
20	松岡壽	ピエトロ・ミカの服装の男 ★	明治14(1881)年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
21	松岡壽	凱旋門	明治15(1882)年頃	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
22	松岡壽	父の像(松岡隣)	明治22(1889)年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
23	原田直次郎	男性像	明治19(1886)年	油彩・カンヴァス	1点	個人蔵
24	原田直次郎	裸体習作	明治17-19(1884-86)年頃	油彩・カンヴァス	1点	個人蔵
25	原田直次郎	上野東照宮 ★	明治22(1889)年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
26	原撫松	西井多吉翁肖像	明治36(1903)年	油彩・カンヴァス	1点	野崎家塩業歴史館蔵
27	原撫松	老人像 ★	明治39(1906)年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
28	原撫松	横向きの裸婦	明治40(1907)年	油彩・カンヴァス	1点	個人蔵
第3章 外の光と風景						
29	吉富朝次郎	風景	明治44(1911)年	油彩・カンヴァス	1点	個人蔵
30	赤松麟作	橋のある風景	大正7(1918)年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
31	児島虎次郎	風景	大正2-6(1913-17)年頃	油彩・カンヴァス	1点	個人蔵

NO	作者名	作品名	制作年	材質・技法	員数	所蔵
<b>第4章 松原三五郎に学んだ満谷国四郎と鹿子木孟郎</b>						
32	松原三五郎	桃	明治時代（19-20世紀）	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
33	満谷国四郎	臨江甘露寺（鎮江）	大正13（1924）年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
34	鹿子木孟郎	婦人像	昭和13（1938）年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
<b>第5章 坂田一男と中山巍 ―フランスからの帰国後―</b>						
35	坂田一男	裸婦	昭和29（1954）年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
36	坂田一男	コンポジション（メカニック・エレメント）	昭和30（1955）年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
37	中山巍	緑の窓辺 ★	昭和36（1961）年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
<b>第6章 旅の風景</b>						
38	佐竹徳	清津峡谷 ★	昭和28（1953）年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
39	水野恭子	桜	平成19（2007）年	油彩・画布	1点	本館蔵
40	岡崎信吾	青い麦	昭和62（1987）年	油彩・カンヴァス	1点	本館蔵
<b>第7章 国吉康雄の版画</b>						
41	国吉康雄	乳しぼり	大正11（1922）年	亜鉛版リトグラフ・紙	1点	両備文化振興財団蔵
42	国吉康雄	籐椅子の女	昭和2（1927）年	亜鉛版リトグラフ・紙	1点	本館蔵
43	国吉康雄	カフェ NO.2	昭和10（1935）年	石版リトグラフ・紙	1点	福武コレクション
44	国吉康雄	綱渡りの女	昭和11（1936）年	石版リトグラフ・紙	1点	福武コレクション
45	国吉康雄	彫刻の流し型の上にある葡萄	昭和8（1933）年	石版リトグラフ・紙	1点	福武コレクション
46	国吉康雄	ニューイングランド風景	昭和16（1941）年	石版リトグラフ・紙	1点	本館蔵
47	国吉康雄	仮面	昭和23（1948）年	石版リトグラフ・紙	1点	福武コレクション
48	国吉康雄	カーニバル	昭和24（1949）年	石版リトグラフ・紙	1点	福武コレクション
<b>第8章 宮忠子 墨で描く</b>						
49	宮忠子	風景はただよう雲のようになった	平成元（1989）年	和紙・墨	1点	本館蔵
50	宮忠子	杜鵑啼く	平成2（1990）年	麻紙・墨	1点	本館蔵
51	宮忠子	ここは美しい夏の草原	昭和60（1985）年	和紙・墨	1点	本館蔵
52	宮忠子	レクイエム	昭和51（1976）年	佐治和紙・墨	1点	本館蔵
53	宮忠子	吉備津彦の杜	平成3（1991）年	麻紙・青墨	1点	本館蔵
<b>古書画 雪舟画風の継承と広がり</b>						
特別展「雪舟と玉堂―ふたりの里帰り」に繋げ、室町時代の画僧・雪舟等楊（1420-1506?）から影響を受けた作品を中心に取り上げることで、受け継がれた雪舟画風とその広がりを紹介した。						
54	惟馨周徳	達磨図	室町時代（16世紀）	紙本墨画	1幅	本館蔵
55	雲溪永怡	雪景山水図	室町時代（16世紀）	紙本墨画	1幅	本館蔵
56	雲溪永怡	文殊羅漢図	室町時代（16世紀）	紙本墨画淡彩	1幅	個人蔵
57	秋月等観	芦雁図	室町時代（15-16世紀）	紙本墨画	1幅	本館蔵
58	承虎	山水図	室町時代（15-16世紀）	紙本墨画淡彩	1幅	本館蔵
59	（伝）拙宗等揚	羅漢図	室町時代（15世紀）	紙本墨画淡彩	1幅	本館蔵
60	（伝）雪舟等楊	神農図 ★	室町時代（16世紀）	紙本墨画	1幅	本館蔵

NO	作者名	作品名	制作年	材質・技法	員数	所蔵
61	不詳	花鳥図屏風	室町時代（16世紀）	紙本着色	6曲1隻	本館蔵
62	不詳	千畝周竹像	室町時代（15世紀）	絹本着色	1幅	重玄寺蔵
63	楊富	山水図	室町時代（16世紀）	紙本墨画	1幅	本館蔵
64	雲谷等益	群馬図屏風	江戸時代（17世紀）	紙本墨画淡彩	6曲1双	本館蔵
65	雲谷等益	楼閣山水図屏風	江戸時代（17世紀）	紙本墨画淡彩	6曲1双	本館蔵
66	雲谷等璠	山水図巻	江戸時代（17-18世紀）	絹本墨画淡彩	1巻	本館蔵
67	狩野董川	雪舟筆山水長巻模本	安政3（1856）年	紙本墨画淡彩	1巻	本館蔵

工芸 春のよそおい

68	小野竹喬	田家之春	明治時代（20世紀）	紙本淡彩	1幅	本館蔵
69	小野竹喬	山邨春日	大正3（1914）年	絹本着色	1幅	個人蔵
70	太田儔	籃胎蒔醬小箱 涼風	平成時代（21世紀）	籃胎蒔醬	1点	本館蔵
71	大林千萬樹	胡笳の声 ★	大正2-3（1913-14）年頃	絹本着色	1幅	本館蔵
72	岸田劉生	春日遊戯図 ★	大正6（1917）年	紙本水彩	2曲1隻	本館蔵
73	大林蘇乃	べに	昭和時代（20世紀）	木芯陶塑紙貼	1点	本館蔵
74	河井寛次郎	碧釉貼文扁壺	昭和時代（20世紀）	陶器	1点	個人蔵
75	河井寛次郎	鐵釉花絵蓋物	昭和25（1950）年頃	陶器	1点	個人蔵
76	河井寛次郎	呉洲丸紋四方壺	昭和時代（20世紀）	陶器	1点	個人蔵
77	河井寛次郎	辰砂筒描長角陶筐	昭和時代（20世紀）	陶器	1点	個人蔵
78	河井寛次郎	辰砂筒描文扁壺	昭和25（1950）年頃	陶器	1点	個人蔵
79	河井寛次郎	筒描花紋鉢	昭和28（1953）年頃	陶器	1点	個人蔵
80	河井寛次郎	辰砂菱花筒	昭和時代（20世紀）	陶器	1点	個人蔵
81	河井寛次郎	花扁壺	昭和時代（20世紀）	陶器	1点	個人蔵
82	河井寛次郎	三色手壺	昭和時代（20世紀）	陶器	1点	個人蔵
83	久保田厚子	青白磁桜陶匣 ★	昭和62（1987）年	磁器	1点	本館蔵
84	太田儔	籃胎蒔醬箱 さくら	令和元（2019）年	籃胎蒔醬	1点	本館蔵
85	小松原賢次	平文蒔絵箱「流るゝ」	平成19（2007）年	平文、螺鈿	1点	本館蔵

（重森三玲書院）

86	金谷朱尾子	春という名の神話 ★	平成6（1994）年	紙本着色	1点	本館蔵
87	岡本欣三	桃壽光香炉	昭和時代（20世紀）	陶器	1点	本館蔵

特集 イラストレーター森本美由紀

同時期開催の特別展で取り上げたせなけいこ（1931-）はデビュー前、勤めながらカットや挿絵を描いては出版社をめぐり、やがて武井武雄と出会い弟子入りした。その後、フリーランスとして商業フィルムのコンテを描いたり、幻燈制作に携わる傍ら、長沢節のセツ・モード・セミナーでスタイル画やスケッチを学んだ。

世代こそ違え、森本美由紀（1959-2013）も高校を卒業後、自らカットや挿絵を出版社に売り込み、またセツ・モード・セミナーに学び、イラストレーターとしての造形力を磨いた。絵本作家とイラストレーター、その後の人生は異なるが、絵を志し、行動する姿勢や歩みが共通する。ここでは当館に寄託される森本作品から初期のカラーペン画、カットやイラストを紹介した。

88	森本美由紀	イラストレーション（計30点）	昭和-平成時代（20-21世紀）	紙・着色、ペン、墨	30点	個人蔵
----	-------	-----------------	------------------	-----------	-----	-----

## 2. 岡山の美術 特別企画等

「岡山の美術」に関して、特別企画等としてテーマを絞った企画をおこない、内容を充実させている。

### 令和2年度 特別企画等一覧

展 覧 会 名	会 期	会期日数
令和おとぎ草子 桃太郎 KAMISHI by 松井えり菜	2020年4月10日（金）－4月24日（金） 5月7日（木）－7月12日（日）	70
赤松麟作展	9月26日（土）－11月3日（火・祝）	34
第十回I氏賞受賞作家展 Spur その先にある景色	11月8日（日）－12月20日（日）	39
もっと伝統工芸 技と美の出会い 木工芸 伝統工芸前夜	11月8日（日）－12月20日（日）	39

## 岡山の美術

# 令和おとぎ草子 桃太郎 KAMISHI by 松井えり菜

会 期 2020年4月10日(金)－7月12日(日)  
前期:4月10日(金)－4月24日(金)  
後期:5月7日(木)－7月12日(日)

会 場 岡山県立美術館2階展示室  
主 催 岡山県立美術館  
協 力 若獅子会、公益財団法人 日本文化藝術財団、川上秀行、ANOMALY (順不同)

### 【趣旨】

岡山県倉敷市出身の松井えり菜（1984－、第3回岡山県新進美術家育成「I氏賞」大賞受賞作家）は、大胆な構図と迫真の描写力による自画像を中心に、独自の絵画表現を展開している。本展では、岡山ゆかりの「桃太郎」をテーマに描いた紙芝居原画から、邦楽の若手囃子演奏家が流派を超えて結成した「若獅子会」とのコラボレーションによる映像作品を制作し、迫力ある絵画や、桃に見立てた巨大なウパールーパーのバルーンによるインスタレーションとともに、新たなおとぎ草子の世界を構成した。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、開催を予定していた「若獅子会」による記念演奏会を中止し、緊急事態宣言の対象が全国に拡大されたことを受けて4月25日から5月6日まで臨時休館したが、当館公式サイト「#おうちでミュージアム」で《令和おとぎ草子 桃太郎 KAMISHI by 松井えり菜》の映像を公開し、再開後は、若獅子会とのコラボレーション映像制作を進めている新作《浦島太郎》の原画等の展示を加え、7月12日まで会期を延長するなど、出品作家の協力により、情報発信を継続した。

### 【刊行物】

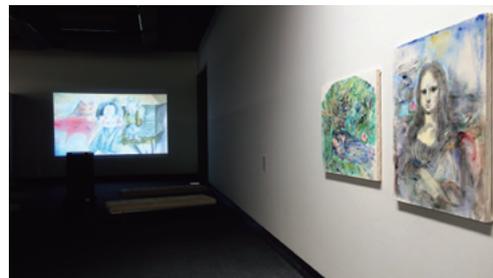
●小冊子



チラシ (A4表)



チラシ (A4裏)



展示風景 (映像・絵画)



展示風景 (インスタレーション)

## 【出品目録】

作品名	制作年	材質・技法	所蔵	備考
紙芝居「桃太郎」原画 (5/7-追加展示：草上のきびだんご)	令和1-2 (2019-20) 年	墨、アクリル、パステル・紙	作家蔵	
令和おとぎ草子「桃太郎」 KAMISHI By 松井えり菜	令和2 (2020) 年	映像 (演奏：若獅子会)	作家蔵	
桃太郎	令和2 (2020) 年	ミクストメディア	作家蔵	
桃太郎 episode 0 No.1	令和2 (2020) 年	アクリル・木製パネル	作家蔵	
桃太郎 episode 0 No.2	令和2 (2020) 年	油彩・カンヴァス	作家蔵	
桃太郎 episode 0 No.3	令和2 (2020) 年	油彩・カンヴァス	作家蔵	
桃太郎のある静物	令和2 (2020) 年	油彩・カンヴァス	作家蔵	
ウパの垂涎 アルティメットオマージュ ～桃太郎推参!～	令和2 (2020) 年	ミクストメディア	作家蔵	
ドコヘデモイケマス ～アマビエを添えて～	令和2 (2020) 年	インスタレーション	作家蔵	
ドコヘデモイケマス ～仲間探しもソーシャルディスタンス～	令和2 (2020) 年	写真 (撮影：青地大輔)	作家蔵	後期展示 (5/7-7/12)
人生のトーテムポール ～見ざる聞かざる言わざる!～	平成28 (2016) 年	油彩・カンヴァス	作家蔵	
悪魔的なかつこよさで	平成27 (2015) 年	アクリル・木製パネル	個人蔵	
かぐや姫	令和1 (2019) 年	油彩・カンヴァス	作家蔵	
Welcome to the world of “うぶ毛プラネット”	令和2 (2020) 年	油彩・カンヴァス	作家蔵	
あなただけDreaming!	平成30 (2018) 年	油彩・カンヴァス	本館蔵	
紙芝居「浦島太郎」原画	令和2 (2020) 年	墨、アクリル、パステル・紙	作家蔵	後期展示 (5/7-7/12)

## 岡山の美術 赤松麟作展

**会 期** 2020年9月26日(土)－11月3日(火・祝)  
**会 場** 岡山県立美術館 2階展示室  
**主 催** 岡山県立美術館  
**助 成** 芸術文化振興基金、(公財)朝日新聞文化財団  
**後 援** 岡山県教育委員会、津山市、(公財)岡山県郷土文化財団、  
 (公社)岡山県文化連盟、RSK山陽放送、OHK岡山放送、  
 TSCテレビせとうち、RNC西日本放送、KSB瀬戸内海放送

### 【趣旨】

赤松麟作(1878－1953)は津山市に生まれた。83年に家族とともに大阪に移り、山内愚僊に油絵を学んだのち、97年に東京美術学校西洋画科に入学した。99年に卒業し、1901年の第6回白馬会展で、風俗画《夜汽車》(東京藝術大学蔵)を出品する。この作品は白馬会賞を受賞し、東京美術学校買上となった。04年に帰阪して、大阪朝日新聞社の挿絵記者を務める。08年には赤松洋画塾を開設し、同年より文展に出品した。関西油彩画界の指導者として尽力した画家である。

1993年の「赤松麟作展」(大阪市立美術館)、2003－04年の「赤松麟作とその周辺」展(東京藝術大学大学美術館)に続く本展では、当館所蔵品と、本県に所蔵される作品を生かしつつ、初期から晩年までの代表作を含めた160点あまりを紹介した。

風俗画、物語や歴史に取材した絵画のほか、風景画、女性像、花と鳥を描いた作品を、画題別に取り上げた。最初の師である山内愚僊、東京美術学校の師である黒田清輝、また赤松が模写したコロ、ルノワールなどの西洋絵画、そして構図や筆致に関連が見られる日本画を視野に入れた。

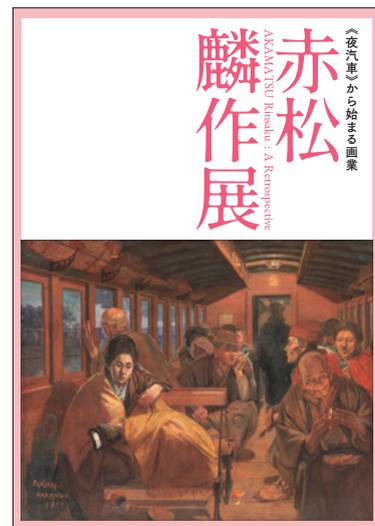
### 【関連事業】

- 記念講演会「赤松麟作と大阪の近代洋画」  
 日 時：10月3日(土) 14:00－15:30  
 講 師：熊田司氏(美術史家、和歌山県立近代美術館前館長)  
 会 場：ホール

- 美術館講座「赤松麟作の歩み」  
 日 時：10月17日(土) 14:00－15:30  
 講 師：廣瀬就久(主任学芸員)  
 会 場：講義室

### 【刊行物】

- 展覧会図録



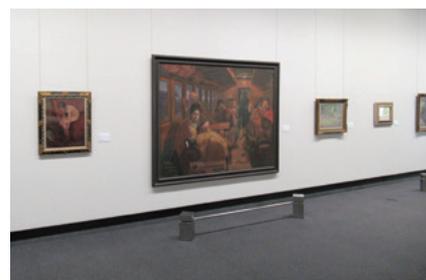
展覧会図録



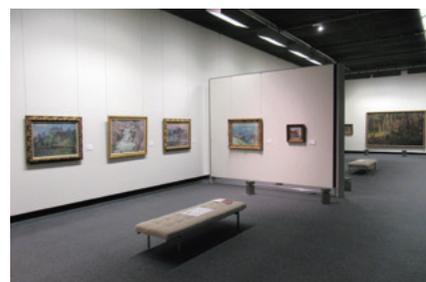
チラシ (A4表)



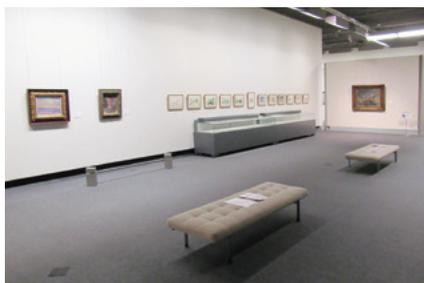
チラシ (A4裏)



展示風景【《夜汽車》(中央)ほか】



展示風景【《翁》(右)ほか】



展示風景【《大阪三十六景》(中央)ほか】

## 【出品目録】

\* 赤松麟作の作品は無表記。ただし他作家の作品が含まれる No.17 については表記。

No. 作家名*	作品名	員数	制作年	材質・技法	形状	所蔵
1	自画像	1点	1944	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
<b>1. 東京美術学校での活動</b>						
2	読書	1点	1898	油彩・キャンバス	額	東京藝術大学
3 黒田清輝	菊圃	1点	1895	油彩・キャンバス	額	東京藝術大学
4	池	1点	1899	油彩・キャンバス	額	東京藝術大学
5	水鳥のいる風景	1点	1903	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
6	風景	1点	1909	油彩・キャンバス	額	菅田株式会社
7	樹（早春）	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
8	裸婦	1点	1900	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
9	（表）婦人像（裏）用水沿いの家 [表面のみ展示]	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
10	（表）裸体男性像（裏）裸体男性像 [表面のみ展示]	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
11	夜汽車	1点	1901	油彩・キャンバス	額	東京藝術大学
<b>2. 大阪に戻る</b>						
<b>（1）大阪における油彩画の始まり 山内愚僊と松原三五郎</b>						
12 山内愚僊	長閑	1点	1908	油彩・キャンバス	額	朝日新聞社
13 山内愚僊	金屏	1点	1909	油彩・キャンバス	額	朝日新聞社
14 山内愚僊	夕陽の風景	1点	1911-12	油彩・キャンバス	額	堺市
15 松原三五郎	静物	1点	1919	油彩・キャンバス	額	大阪市立美術館
16 松原三五郎	海景	1点	1919	油彩・キャンバス	額	大阪市立美術館
<b>（2）大阪朝日新聞社での仕事</b>						
17	阪神名勝図繪	図繪30点組 のうち12点	1917	木版・紙	金尾文淵堂 刊行	芦屋市立美術博物館
	①野田九浦「大和田」、②赤松麟作「尼ヶ崎」（第1冊より）／①水島爾保布「甲山」、②赤松麟作「住吉」（第2冊より）／ ①野田九浦「三ノ宮」、②赤松麟作「神戸波止場」（第3冊より）／①幡恒春「六甲（上）」、②赤松麟作「六甲（下）」（第4冊より）／ ①永井瓢齋「有馬」、②赤松麟作「名塩」（第5冊より）／①赤松麟作「中山」、②永井瓢齋「猪名川」（第6冊より）					
	一覧地図	1点				
	作家・作品一覧	1点				
第1冊 赤松麟作と推定 第2～6冊 赤松麟作	タトウ表紙 第1～6冊	6点				
<b>（3）大阪を描く</b>						
18	大阪築城図	2点	1924	油彩・キャンバス	額	大阪城天守閣
19	大阪落城図	2点	1924	油彩・キャンバス	額	大阪城天守閣
20	夜景	1点	1929	油彩・キャンバス	額	菅田株式会社
21	天王寺公園の池	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	赤松良子
22	四つ橋にて	1点	n.d.	黒インク、淡彩・紙	額	菅田株式会社
23	高津神社エスキース	1点	1952	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
24	夕照の高津神社舞台	1点	1953	油彩・キャンバス	額	大阪府
<b>3. 風景</b>						
<b>（1）時間と季節が移る風景</b>						
25	菜の花畑	1点	1915	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
26	松竹梅	1点	1915	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
27	残雪	1点	1920	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館

No. 作家名*	作品名	員数	制作年	材質・技法	形状	所蔵
28	残雪の庭 (勝山)	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
29	三保の松原 (A)	1点	1938	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
30	三保の松原 (B)	1点	1943	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
31	霧の穂高	1点	1940	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
32	睡蓮	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
33	風景	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
34	水辺の春	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	菅田株式会社
35	風景	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	菅田株式会社
36	風景	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	菅田株式会社
37	波	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	一般財団法人江原積善会
38	藤棚	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	一般財団法人江原積善会
39	水のほとり	1点	n.d.	墨・絹	幅	
40	秋林曳馬図	1点	n.d.	淡彩・絹	幅	菅田株式会社

(2) 人がいる風景

41	翁	1点	1913	油彩・キャンバス	額	大阪市立美術館
42	スフィンクス	1点	1918	油彩・キャンバス	額	東京藝術大学
43	カラー『サン・ニコラ・レ・ザラスの水車小屋』模写	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
44	カラー『突風』模写	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
45	カラー模写	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
46	カラー 大農園	1点	1860-65	油彩・キャンバス	額	山梨県立美術館
47	水遊び	1点	1913	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
48	橋のある風景	1点	1918	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
49	鳩	1点	1928	油彩・キャンバス	額	倉敷市立美術館
50	榎	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
51	天神の境内	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
52	休息	1点	n.d.	淡彩・絹	幅	菅田株式会社

(3) 旅先の風景

53	桜島の風景	1点	1912	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
54	琵琶湖	1点	1929	油彩・キャンバス	額	大阪市立美術館
55	朝鮮 大同江畔	1点	1930	油彩・キャンバス	額	菅田株式会社
56	白糸の滝	1点	1932	油彩・キャンバス	額	一般社団法人 日本綿業倶楽部
57	日本海	1点	1934	油彩・キャンバス	額	大阪府
58	雨後 (芦ノ湖)	1点	1934	油彩・キャンバス	額	大阪市立美術館
59	奈良の春	1点	1936	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
60	奈良の鹿	1点	1936	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
61	海岸風景	1点	1937	油彩・キャンバス	額	
62	串本	1点	1938	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
63	大山	1点	1939	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
64	溪流	1点	1940	油彩・キャンバス	額	津山郷土博物館
65	猿沢の池	1点	1948	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館

No. 作家名*	作品名	員数	制作年	材質・技法	形状	所蔵
66	大王埼	1点	1950	油彩・キャンバス	額	大阪市立美術館
67	大和吉野の桜	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	一般財団法人江原積善会
68	七月 洞爺湖	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	菅田株式会社
69	風景	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	菅田株式会社
70	串本風景	1点	n.d.	パステル・紙		大阪市立美術館

#### 4. 女性像

##### (1) 裸婦

71	裸婦	1点	1912	油彩・キャンバス	額	一般財団法人江原積善会
72	裸婦	1点	1918	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
73	裸婦	1点	1918	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
74	裸婦	1点	1918	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
75	ルノワール『すわる水浴の女』模写	1点	c.1920	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
76	裸婦	1点	1922	油彩・キャンバス	額	一般財団法人江原積善会
77	裸婦	1点	1927	油彩・キャンバス	額	堺市
78	裸婦	1点	1927	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
79	百合の花	1点	1929	油彩・キャンバス	額	一般財団法人江原積善会
80	裸婦	1点	1934	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
81	裸婦	1点	1936	油彩・キャンバス	額	大阪市立美術館
82	裸婦	1点	1939	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
83	裸婦	1点	1950	油彩・キャンバス	額	
84	木影	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	一般財団法人江原積善会
85	裸婦	1点	n.d.	油彩・木版	額	一般財団法人江原積善会
86	つめを切る裸婦	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	菅田株式会社
87	裸婦	1点	n.d.	油彩・厚紙	額	一般財団法人江原積善会
88	温泉場	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
89	裸婦	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
90	裸婦	1点	n.d.	水彩、素描・紙	額	岡山県立美術館
91	裸婦	1点	n.d.	水彩、素描・紙	額	岡山県立美術館
92	裸婦	1点	n.d.	水彩、素描・紙	額	岡山県立美術館
93	裸婦	1点	n.d.	パステル・紙		大阪市立美術館
94	裸婦	1点	n.d.	パステル・紙	額	一般財団法人江原積善会

##### (2) 服装から見た女性像

95	人物（少女）	1点	early1920s	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
96	舞妓	1点	1927	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
97	舞妓	1点	1928	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
98	妓生	1点	1930	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
99	マダムバタフライ（下絵）	1点	1937	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
100	室内コスチューム	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
101	姑娘	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
102	バレリーナ	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	赤松良子
103	バレリーナ	1点	n.d.	油彩、漆・木板	額	菅田株式会社

No. 作家名*	作品名	員数	制作年	材質・技法	形状	所蔵
104	バレリーナ	1点	n.d.	パステル・紙		大阪市立美術館

(3) 娘たちの肖像

105	少女	1点	1925	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
106	良子像	1点	1936	油彩・キャンバス	額	赤松良子
107	白い扇	1点	1941	油彩・キャンバス	額	三重県立美術館
108	婦人像	1点	1941	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
109	赤い着物	1点	1948	油彩・キャンバス	額	倉敷市立美術館
110	友達	1点	1948	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
111	良子像	1点	1950	油彩・キャンバス	額	赤松良子
112	幸子像	1点	1951	油彩・キャンバス	額	大阪市立美術館
113	女性像	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	菅田株式会社
114	頬づえをつく女	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
115	女性像	1点	n.d.	パステル・紙		大阪市立美術館
116	少女	1点	n.d.	パステル・紙	額	岡山県立美術館
117	人物	1点	n.d.	パステル・紙	額	菅田株式会社

5. 静物／花と鳥

(1) 瓶花

118	静物	1点	1930	油彩・キャンバス	額	一般財団法人江原積善会
119	薔薇	1点	1938	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
120	薔薇	1点	1941	油彩・紙	幅	大阪市立美術館
121	枯すすき	1点	1945	油彩・キャンバス	額	
122	鬼ゆり	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
123	牡丹	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
124	蘭	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
125	菊	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	一般財団法人江原積善会
126	静物（花）	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	菅田株式会社

(2) 鳥と昆虫、動植物への関心

127	鶏鳴	1点	1915	著色・絹	額	岡山県立美術館
128	にわとり	1点	1916	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
129	ハンバーク	1点	1918	油彩・キャンバス	額	中島病院
130	駱駝	1点	1918	油彩・キャンバス	額	一般財団法人江原積善会
131	鸚鵡	1点	1919	油彩・キャンバス	額	一般財団法人江原積善会
132	ひよこ	1点	1928	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
133	雀の群	1点	1930	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
134	日本鶏	1点	1937	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
135	水鳥	1点	1938	油彩・キャンバス	額	菅田株式会社
136	算の水	1点	1942	油彩・キャンバス	額	一般財団法人江原積善会
137	きじ	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
138	尾長鶏	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
139	つる	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館
140	蟬とり	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	大阪市立美術館

No. 作家名*	作品名	員数	制作年	材質・技法	形状	所蔵
141	鳥	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	菅田株式会社
142	鯛	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	菅田株式会社
143	寒鮒	1点	n.d.	油彩・キャンバス	額	菅田株式会社
144	百合	1点	n.d.	油彩、漆・木板	扁額	菅田株式会社
145	静物	1点	n.d.	パステル・紙	額	一般財団法人江原積善会
146	冠鶴	2点組	1933	墨、淡彩・紙	双幅	大阪市立美術館
147	鹿	1点	1939	墨、淡彩・紙	幅	菅田株式会社
148	豆廻し	1点	n.d.	墨、淡彩・紙	額	一般財団法人江原積善会
149	子犬	1点	n.d.	墨、淡彩・紙	額	一般財団法人江原積善会
150	洗馬	1点	n.d.	著色・紙	幅	一般財団法人江原積善会
151	チャボ	1点	n.d.	墨、淡彩・紙	幅	一般財団法人江原積善会

### 小章1 日本画との関わり

太平洋戦争で焼失したと考えられる日本画をパネル図版で紹介した。

## 6. 歴史と時事

152	明治天皇津村別院行幸之図	1点	1937	油彩・キャンバス	額	大阪市立美術館
153	陸軍病院（下絵）	1点	1943	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館

### 小章2 ブロンズと木彫

154	鬼ヶ島（煙草セット）	2点	1933	ブロンズ		大阪市立美術館
155	裸婦立像	1点	1939	ブロンズ		大阪市立美術館
156	双鶏図	1点	n.d.	ブロンズ		
157	遊女	1点	n.d.	木彫		菅田株式会社

## 7. 戦後 版画と画卷

158	大阪三十六景 第1集 大阪城、四天王寺の鳩、四天王寺、戎橋、宗右衛門町、道頓堀、愛染堂、天王寺公園、動物園、一心寺、住吉高燈籠、堺大浜 第2集 浜寺公園、住吉神社、本町、なにわ橋、あみだ池、天神橋、大正橋、川口、四ツ橋、心斎橋、高津神社、豊国神社 第3集 中央公会堂、桜の宮、津村別院、大阪大学、御堂筋、天満宮、控訴院、大阪市庁、十三、萩の寺、箕面公園、箕面の滝	36点組	1947	木版・紙		岡山県立美術館
159	「坊っちゃん」 絵巻画稿	1点	1949	水彩・紙	巻	大阪市立美術館
160	「奥の細道」 絵巻画稿 より 蝉の聲 松嶋や 蝉の聲 松嶋や	1点 1点 1点 1点	1949 1949 1949 1949	墨、水彩・紙 墨、水彩・紙 墨・紙 墨・紙		大阪市立美術館
161	夏目漱石「草枕」より	1点	1949	水彩・絹	巻	三重県立美術館
162	自画像	1点	1948	油彩・キャンバス	額	大阪市立美術館
163	海（絶筆）	1点	1953	油彩・キャンバス	額	岡山県立美術館

# 岡山の美術

## 第十回I氏賞受賞作家展

### Spur その先にある景色

会 期 2020年11月8日(日) - 12月20日(日)

会 場 岡山県立美術館2階展示室

主 催 岡山県立美術館

#### 【趣旨】

岡山県にゆかりのある新進気鋭の美術作家を支援し、次代を担う美術家の育成を目指す「I氏賞」の第9回(2015年度)・第10回(2016年度)奨励賞受賞者の作品を紹介した。

このたびは、自然や人の営みの中に潜む感覚を写真により再認識させる小林正秀、陶土の特性を見究め多彩な技法と造形表現に取り組む中原幸治、伝統的な画材への探求から新たな絵画表現に挑む金孝妍、イメージーションによる絵画で独自の世界観を示す吉行鮎子、たゆまぬ深化を続ける四人の創作の軌跡と新たな展開をご覧いただいた。

また、例年観覧会場でやっているアーティストトークについては、コロナ対策のため、2階ホールのスクリーンで作品画像を紹介し、壇上で4人の作家が制作の経緯や作品に込めた思いなどを語る形式で実施した。

#### 【関連事業】

##### ●アーティストトーク

日 時：11月8日(日) 11:00 -

会 場：2階ホール

#### 【刊行物】

##### ●観覧会図録



ケース(表)



チラシ(A4裏)



チラシ(A4裏)



展示風景(書院)



展示風景

## 【出品目録】

### 小林正秀

No.	作品名	制作年	材質・技法
1	美作（20枚）	2018	ピグメントプリント
2	山雪（15枚）	2020	ピグメントプリント
3	土を踏む（16枚）	2017	ピグメントプリント
4	Drifting Clouds	2015	ピグメントプリント

### 中原幸治

No.	作品名	制作年	材質・技法
1	備前土練込花器	2015	手捻り・練込
2	備前土練込象嵌花器	2019	手捻り・練込象嵌
3	備前土練込花器	2020	手捻り・型成形・練込・金彩焼成
4	備前土裾濃金彩花器	2020	手捻り・型成形・練込・金彩焼成
5	備前土裾濃金彩茶碗	2020	型成形・練込・金彩焼成
6	Calling you	2018	型成形・練込
7	Titan feet	2016	型成形・練込
8	Wind	2020	型成形・陶胎漆
9	Flame	2020	型成形・陶胎漆
10	Bone	2020	型成形・練込・金彩焼成

### 金孝妍

No.	作品名	制作年	材質・技法
1	5つの頂点	2020	墨・和紙
2	影が留まる場所	2020	樹脂
3	月と光、そして太陰潮	2020	銀箔・和紙
4	月と光、そして蔭	2020	銀箔・和紙
5	優融曲（ゆうゆうきょく）	2020	ポリエチレン・アクリル

### 吉行鮎子

No.	作品名	制作年	材質・技法
1	崩れる	2020	キャンバス・油彩
2	avalanche	2020	キャンバス・油彩
3	赤に染まる	2020	キャンバス・油彩
4	No spectator	2020	キャンバス・油彩
5	窓辺のサボテンたち	2020	キャンバス・油彩
6	STAY HOME	2020	キャンバス・油彩
7	dawn	2020	キャンバス・油彩
8	頭を抱えた向日葵	2020	キャンバス・油彩
9	ひまわり	2020	キャンバス・油彩
10	sun flower	2020	キャンバス・油彩
11	同じ太陽を見ている	2020	キャンバス・油彩
12	同じ太陽を見ている	2020	キャンバス・油彩
13	ボクの太陽	2020	キャンバス・油彩
14	sunflower	2020	キャンバス・油彩
15	Human self reflection	2020	キャンバス・油彩
16	Human self reflection	2020	キャンバス・油彩
17	Human self reflection	2020	キャンバス・油彩
18	音楽	2019	キャンバス・油彩
19	move freely	2019	キャンバス・油彩
20	あいまいな	2016	キャンバス・油彩
21	あいまいな	2016	キャンバス・油彩

# 岡山の美術

## もっと伝統工芸 技と美の出会い

### 木工芸 伝統工芸前夜

会 期 2020年11月8日(日) - 12月20日(日)

会 場 岡山県立美術館2階展示室

主 催 岡山県立美術館

#### 【趣旨】

日本伝統工芸展(伝工展)の開催に合わせて実施している特別展示「もっと伝統工芸」。本年度は、近年当館に寄贈された大正から昭和期に活躍した木工作家の作品を展示。伝工展は戦後、日本の優れた工芸技術を次世代に継承していくために昭和29(1954)年から始まり、毎年作家が創意工夫した最新の作品を展覧している。寄贈を受けた作品群は、伝工展が始まる頃より少し前に作られたとみられ、伝工展に出品されるものと同じ技術を使っている、伝工展のように「展覧会で見てもらうため」の作品づくりとは異なるコンセプトで制作されている。このことから、「伝統工芸前夜」と名付け、かつて一般家庭でも使われていた木工作品を紹介した。



パンフレット (表)



パンフレット (中)

## 【出品目録】

No. 作品名	作家名	材質・技法
1 茶箒筒	佐官研斎	木
2 松竹梅製巻蓑セット	佐官研斎	木（松、竹、梅）
3 桑玉壺硯箱（紅葉狩）	佐官研斎	桑・漆
4 巻蓑筒盆付き（献上品写）	佐官研斎	木
5 巻蓑筒盆付き	佐官研斎	木
6 香卓	佐官研斎	桑、竹
7 松竹梅銘々菓子盆	佐官研斎	木（松、竹、梅）
8 松竹梅香盆	佐官研斎	木（松、竹、梅）
9 唐黒紋竹香筒	佐官研斎	竹
10 唐紅紋竹香筒	佐官研斎	竹
11 ちさの木 茶杓	佐官研斎	ちさの木
12 竹花生	中川竹仙	竹
12 竹花生（掛花生）	中川竹仙	竹
13 竹籠銘々菓子皿	中川竹仙	竹（籃胎）
14 竹縁香卓	中川竹仙	木
15 竹根水指	中川竹仙	竹
16 竹根茶碗	中川竹仙	竹
17 乾菓子器	中川竹仙	木・漆
18 吸出茶托	中川竹仙	木
19 銘々菓子皿	中川竹仙	木
20 杢目彫栗丸盆	中川竹仙	栗
21 竹コップ台	中川竹仙	竹
22 彫抜珈琲盆	中川竹仙	木
23 朱肉入れ	中川竹仙	木
24 天然木彫抜盆巾入	中川竹仙	木
25 文鎮	中川竹仙	木
26 菊花図	浦上春琴	紙本淡彩
27 鶴棲松樹香盆	平賀石泉	木
28 香風玉露菓子盆	平賀石泉	木
29 君子之交小丸盆	平賀石泉	木
30 小皿（蔬菜）	平賀石泉	木・偏刀彫
31 丸盆（かまきり・きりぎりす）	平賀石泉	木・偏刀彫
32 角盆（あかてがに）	平賀石泉	竹・鎌倉彫
33 偏刀彫蟹之図小角膳	平賀石泉	木
34 茶斗（蘭の絵）	平賀石泉	竹
35 茶合（竹）	平賀石泉	竹・偏刀彫
36 茶合（牡丹）	平賀石泉	竹・偏刀彫
37 茶合（蘭亭序）	平賀石泉	竹・偏刀彫
38 銘々皿	井上仰山	木
39 観世音画茶斗	井上仰山	竹
40 木彫吸物膳花卉魚介之図	松野萬石	木
41 仙媒（蝶）	石井馨堂	竹
42 金明竹香筒	不詳	竹
43 煎茶用具	不詳	竹
44 煎茶用具（茶箸）	不詳	竹、象牙

※ 4・5 は寄託作品、その他は当館蔵



### 3. 特別展

特別展では、国内外の優れた作品を特定のテーマに沿って大規模に集めて紹介している。

#### 令和2年度 特別展一覧

展 覧 会 名	会 期	会期日数
高畑勲展－日本のアニメーションに遺したもの	2020年8月1日（土）－9月8日（火） 9月19日（土）－27日（日）	46
The 備前一土と炎から生まれる造形美－	10月10日（土）－11月8日（日）	26
第67回日本伝統工芸展岡山展	11月13日（金）－11月29日（日）	17
マイセン動物園展	12月5日（土）－2021年1月31日（日）	44
雪舟と玉堂－ふたりの里帰り	2月10日（水）－3月14日（日）	30

# 高畑勲展 —日本のアニメーションに遺したもの—

**会 期** 2020年8月1日(土)－9月27日(日)  
前期:8月1日(土)－9月8日(火)  
後期:9月19日(土)－9月27日(日)

**会 場** 岡山県立美術館 地下展示室

**主 催** 岡山県立美術館、山陽新聞社、RSK山陽放送

**後 援** 岡山県教育委員会、岡山市教育委員会、(公財)岡山県郷土文化財団、(公社)岡山県文化連盟、岡山朝日高校同窓会、岡山大学教育学部附属中学校同窓会



会期変更前ポスター (B2)

## 【趣旨】

「アルプスの少女ハイジ」(1974)や「火垂るの墓」(1988)、「平成狸合戦ぽんぽこ」(1994)や「かぐや姫の物語」(2013)といった誰もが知っている作品を生み出し、1960年代から半世紀以上にわたって日本のアニメーション界を牽引し続けた高畑勲(1935－2018)の創造の軌跡を辿ることを目的とした展覧会。

絵を描かないアニメーション監督である高畑の「演出術」に注目し、宮崎駿や近藤喜文、男鹿和雄ら高畑作品を支えてきた制作者たちによるレイアウトや原画、セル画や背景画とともに、完成形のアニメーション映像や高畑自身による制作ノートや絵コンテなどの多数の貴重な資料をあわせて展示することによって高畑作品の多面的な魅力に迫った。



会期変更前ポスター (B3)



会期変更前チラシ (A3外)



会期変更前チラシ (A3内)

## 【出品リスト】

### 第1章

#### 『安寿と厨子王丸』1961年

- ・制作資料（ライブアクションの写真）
- ・絵コンテ
- ・作画（セル画）
- ・広報・宣伝（ポスター）
- ・場面写真
- ・作品関連資料（人形）

#### 『わんぱく王子の大蛇退治』1963年

- ・脚本
- ・絵コンテ
- ・作画（セル画）
- ・背景（背景画）
- ・広報・宣伝（ポスター）

#### 『狼少年ケン』1963-65年

- ・脚本
- ・絵コンテ
- ・音楽
- ・広報・宣伝（宣伝用セル画）
- ・映像（第72話「誇りたかきゴリラ」より）
- ・作品関連資料（人形）

#### 『太陽の王子ホルスの大冒険』1968年

- ・企画（企画書、企画ノート）
- ・脚本（脚本準備ノート、脚本）
- ・制作資料（スタッフへの覚書、スタッフからの提案、香盤表、テンション・チャート、進行管理、東映動画との交渉記録）
- ・イメージボード
- ・設定（キャラクタースケッチ、キャラクター表、美術設定、色指定）
- ・絵コンテ
- ・作画（原画、動画、セル画）
- ・背景（背景画）
- ・音楽（設計、歌詞、楽譜、振り付けの写真資料）
- ・広報・宣伝（広報計画、ポスター）
- ・映像（予告編、「収穫の唄」シーン）
- ・場面写真
- ・その他（タシケント映画祭関連資料）

#### その他

- \* 「ぼくらのかがや姫」企画ノート
- \* 東映動画で使用されていたアニメーターの机
- \* ジャック・プレヴェール著、高畑勲訳『ことばたち』、ぴあ、2004年
- \* ジャック・プレヴェール著、編・訳：高畑勲、絵：奈良美智『鳥への挨拶』、ぴあ、2006年



展示風景



展示風景



展示風景



展示風景

第2章

『パンダコパンダ』

『パンダコパンダ 雨ふりサーカスの巻』 1972-1973年

- ・企画（企画ノート）
- ・脚本（脚本準備ノート）
- ・絵コンテ
- ・レイアウト
- ・広報・宣伝（ポスター）

『アルプスの少女ハイジ』 1974年

- ・企画（企画ノート）
- ・脚本（脚本準備ノート）
- ・制作資料（ロケハン資料）
- ・設定（キャラクタースケッチ、キャラクター表）
- ・絵コンテ
- ・レイアウト
- ・作画（原画、動画、セル画）
- ・背景（背景画）
- ・映像（オープニング、第1話抜粋）
- ・作品関連資料（関連グッズ）
- ・その他（アルムの山のジオラマ）

『母をたずねて三千里』 1976年

- ・レイアウト
- ・作画（原画）
- ・背景（背景画）
- ・映像（第2話抜粋）
- ・作品関連資料（劇場版ポスター、関連グッズ）

『赤毛のアン』 1979年

- ・脚本（脚本準備ノート）
- ・設定（キャラクター・スケッチ、キャラクター表）
- ・絵コンテ
- ・レイアウト
- ・作画（原画、セル画）
- ・背景（背景画）
- ・映像（オープニング）
- ・作品関連資料（劇場版ポスター、関連グッズ）

その他

- \* 『長くつ下のピッピ』 関連資料
- ・企画（企画ノート、企画書）
- ・高畑勲・宮崎駿・小田部羊一『幻の「長くつ下のピッピ」』 岩波書店、2014年
- \* 『フランダーズの犬』 絵コンテ
- \* 『ペリーヌ物語』 絵コンテ

第3章

『じゃりん子チエ』 1981年

- ・設定（キャラクター表）
- ・レイアウト
- ・背景（背景画）
- ・映像
- ・広報・宣伝（ポスター）

『ゼロ弾きのゴーシュ』 1982年

- ・背景（美術ボード、背景画）
- ・音楽（設計ノート）
- ・広報・宣伝（ポスター）
- ・映像
- ・作品関連資料（『カッコー通信』 オープロダクション、1984年）

『リトル・ニモ』 1982-84年頃

- ・イメージボード

『柳川報割物語』 1987年

- ・企画（企画ノート）
- ・脚本
- ・広報・宣伝（ポスター用イラスト）

『火垂るの墓』 1988年

- ・脚本（脚本準備ノート）
- ・制作資料（ロケハン写真）
- ・イメージボード
- ・設定（色指定）
- ・絵コンテ
- ・レイアウト
- ・作画（セル画）
- ・背景（美術ボード、背景画）
- ・広報・宣伝（ポスター）

『おもひでぼろぼろ』 1991年

- ・設定（キャラクター・スケッチ、キャラクター表）
- ・レイアウト
- ・作画（セル画）
- ・背景（美術ボード、背景画）
- ・広報・宣伝（ポスター）

『平成理合戦ぼんぼこ』 1994年

- ・イメージボード
- ・設定（美術設定）
- ・レイアウト
- ・作画（セル画）
- ・背景（美術ボード、背景画）
- ・映像
- ・広報・宣伝（ポスター）

## 第4章

『ホーホケキョ となりの山田くん』 1999年

- ・ ボード（着彩ボード）
- ・ 映像
- ・ 広報・宣伝（ポスター）

『かぐや姫の物語』 2013年

- ・ イメージボード
- ・ ボード
- ・ 作画（原画）
- ・ 背景（背景画）
- ・ 映像
- ・ 広報・宣伝（ポスター）
- ・ その他（高畑勲が使用していたストップウォッチ）

その他

- \* フレテリック・バック関連資料
- ・ 「クラック」原画
- ・ 「木を植えた男」原画
- ・ 高畑宛私信
- \* 高畑勲『木を植えた男を読む』徳間書店、1990年
- \* 高畑勲「十二世紀のアニメーション」徳間書店、1999年

年譜

- \* 年譜に掲出されるポスターは各フィルム資料として記載した。
- \* 「ルパン三世」絵コンテ
- \* 「ドラえもん」関連資料
- \* 「風の谷のナウシカ」関連資料
- \* 高畑勲解説『話の話』徳間書店、1984年
- \* ユーリー・ノルシュテインの高畑宛私信
- \* 「やぶにらみの暴君」と「王と鳥」関連資料

# The 備前一土と炎から生まれる造形美—

**会 期** 2020年10月10日(土) - 11月8日(日)

**会 場** 岡山県立美術館地下1階展示室

**主 催** 岡山県立美術館、山陽新聞社、NHK岡山放送局、NHKプラネット中国

**後 援** 岡山県教育委員会、岡山市、岡山市教育委員会、備前市、備前市教育委員会、瀬戸内市、瀬戸内市教育委員会、岡山県公民館連合会、岡山県郷土文化財団、公益社団法人岡山県文化連盟、oniビジョン、倉敷ケーブルテレビ、FM岡山、レディオモモ、FMくらしき

**協 賛** 備前自動車岡山教習所

**協 力** 岡山県立博物館、岡山県華道連盟、協同組合岡山県備前焼陶友会、備前陶心会

**助 成** 公益財団法人福武教育文化振興財団

**制作協力** NHKプラネット中部



ポスター (B2)



ポスター (B3)

## 【趣旨】

備前焼は釉薬を施さず、薪窯を主とする焼成によって生まれる「窯変」「緋襷」「牡丹餅」「胡麻」「棧切」などと呼ばれる変化に富んだ景色は他のやきものにはない見どころとして、古くから多くの人に愛されてきた。本展は、桃山時代以降、茶人や数寄者によって茶道具に見立てられた古備前の名品から、それら古備前に魅せられ作陶に取り組んできた近代の作家、さらに先達から受け継いだ技術を生かして現代の備前を確立しようとする若手の作家の作品を集め、東京から栃木(益子)、山口(萩)、滋賀(信楽)、兵庫(丹波)、愛知(瀬戸)と全国の窯業地を巡回。備前焼の本拠地である岡山会場では、巡回作品のほか、各作家の新近作の他、備前焼の歴史を語るに欠かせない作品群を展覧し、長い歴史に裏付けされた備前焼の魅力を紹介した。

## 【関連事業】

### ● 基調講演 & 特別対談

「備前焼の魅力と作風の展開—桃山から現代まで—」

日 時：10月11日(日) 13:30-15:00

講 師：唐澤昌宏氏(国立工芸館長・本展監修者)

隠崎隆一氏(出品作家・岡山県重要無形文化財保持者)

会 場：美術館ホール、定員100名 申し込み制

### ● アーティストトーク

・伊勢崎淳氏(出品作家・重要無形文化財保持者)

日 時：10月17日(土) 11:00-12:00

会 場：美術館ホール、定員100名 申し込み制

・金重晃介氏(出品作家・岡山県重要無形文化財保持者)

日 時：10月31日(土) 11:00-12:00 / 14:00-15:00

・金重有邦氏(出品作家・岡山県重要無形文化財保持者)

日 時：11月1日(日) 11:00-12:00 / 14:00-15:00

・島村光氏(出品作家・岡山県重要無形文化財保持者)

日 時：11月8日(日) 11:00-12:00 / 14:00-15:00

場 所：地下1階講義室

定 員：各回30名 申し込み制



二つ折り (外)



二つ折り (内)

●備前焼フォーラム

日 時：10月25日（日）13:30－16:00

場 所：美術館ホール、定員100名 申し込み制

パネラー：松崎裕子氏（益子陶芸美術館）

市来真澄氏（山口県立萩美術館・浦上記念館）

マルテル坂本牧子氏（兵庫陶芸美術館）

伊勢崎晃一朗氏（出品作家）

伊勢崎創氏（出品作家）

矢部俊一氏（出品作家）

進 行：福富幸（学芸課長）

●お花で楽しむ備前焼 協賛花展

\* 出品作家の器と県内華道流派のコラボレーション作品を展示。

池坊

10月10日（土）－11日（日）

小原流

10月16日（金）－18日（日）

専敬流

10月23日（金）－25日（日）

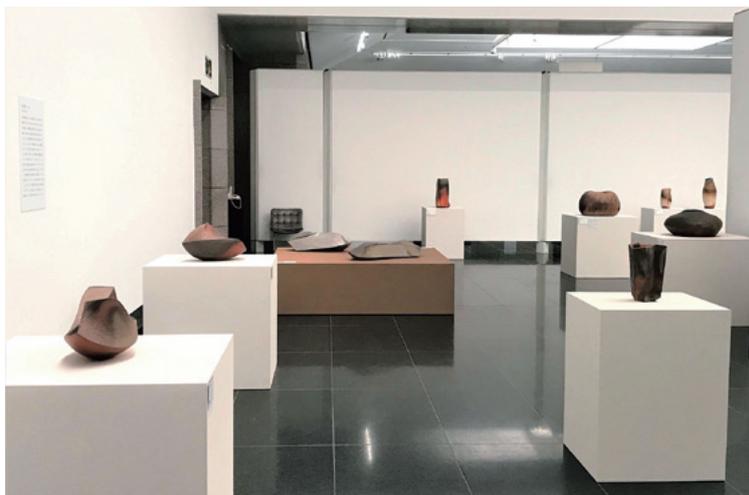
桑原専慶流・華道高野山

10月30日（金）－11月1日（日）

草月流・未生流庵家

11月6日（金）－11月8日（日）

会 場：岡山県立美術館エントランス



会場風景

【出品目録】

図録番号	作家名	作品名	制作年		寸法			所蔵
			和暦or時代	西暦	H	W		
					高さ	w	d	
I-2		耳付花入 銘 太郎庵	桃山時代	16-17c	25.4 × 18.1 × 13.7			個人蔵
I-3		耳付花入 銘 シバノ戸	桃山時代	16-17c	26.3 × 19.4 × 15.1			個人蔵
I-4		耳付花入 銘 深山桜	桃山時代	16-17c	26.5 × 15.8 × 13.1			個人蔵
I-5		旅枕掛花入	桃山時代	16-17c	20.9 × 17.4 × 17.4			個人蔵
I-6		漆桶掛花入	江戸時代	17c	21.6 × 12.6 × 7.9			個人蔵
I-7		舟形花入(薬研)	江戸時代	17-18c	13.6 × 15.0 × 42.7			MIHO MUSEUM
I-8		棒の先水指	桃山時代	16-17c	20.5 × 13.8 × 12.8			個人蔵
I-9		種壺水指	桃山時代	16-17c	12.8 × 14.5 × 14.5			MIHO MUSEUM
I-10		緋襷水指	桃山時代	16-17c	14.4 × 16.1 × 15.5			個人蔵
I-11		矢筈口耳付水指	桃山時代	16c	20.4 × 26.6 × 22.0			林原美術館
I-12		矢筈口耳付水指	桃山時代	16-17c	18.3 × 22.3 × 18.6			個人蔵
I-13		茶碗 銘 只今	桃山時代	16-17c	9.8 × 13.6 × 15.3			岡山後楽園
I-14		茶碗	江戸時代	17c	6.4 × 13.2 × 11.3			個人蔵
I-15		緋襷茶入 銘 形雲	桃山時代	16-17c	7.0 × 7.1 × 6.9			個人蔵
I-16		茶入 銘 横雲	桃山時代	16-17c	7.2 × 5.8 × 5.5			個人蔵
I-17		緋襷茶入 銘 雷神	桃山時代	16-17c	9.1 × 8.7 × 8.7			林原美術館
I-18		緋襷茶入 銘 撫子	桃山時代	16-17c	6.5 × 7.1 × 7.0			個人蔵
I-19		茶入 銘 千歳	桃山-江戸時代	16-17c	7.4 × 6.4 × 6.2			個人蔵
I-20		茶入 銘 翁さ飛	桃山-江戸時代	16-17c	9.8 × 5.8 × 5.8			個人蔵
I-21		広口茶入 銘 恵比須	江戸時代	17c	7.6 × 6.3 × 6.4			個人蔵
I-22		緋襷四耳茶壺	桃山時代	16-17c	30.3 × 27.8 × 27.6			個人蔵
I-23		德利 銘 トシワスレ	桃山時代	16-17c	15.8 × 8.3 × 8.4			個人蔵
I-24		緋襷鶴首德利 銘 一声	桃山時代	16-17c	21.4 × 10.8 × 10.8			狸庵文庫美術館
I-25		緋襷鶴首德利	桃山時代	16-17c	22.0 × 口径5.6 × 胴径10.8			MIHO MUSEUM
I-26		瓢形德利 銘 くくり猿	桃山時代	16-17c	11.9 × 1.7-2.5 × 8.8			MIHO MUSEUM
I-27		緋襷德利	桃山時代	16-17c	11.9 × 8.7 × 8.1			個人蔵
I-28		德利	桃山時代	16-17c	16.3 × 9.8 × 9.7			個人蔵
I-29		船德利	桃山時代	16-17c	27.3 × 22.4 × 22.9			人間国宝美術館
I-30		半月形平鉢	桃山時代	16-17c	6.0 × 33.2 × 28.8			個人蔵
I-31		透文大鉢	桃山~江戸時代	17c	10.8 × 29.0 × 27.3			個人蔵
I-32		半月形手鉢	桃山~江戸時代	17c	11.1 × 21.8 × 19.6			個人蔵
I-33		分銅形手鉢	江戸時代	17c	8.4 × 22.8 × 19.8			個人蔵
I-34		梅枝文額手鉢	江戸時代	17c	8.8 × 22.8 × 12.2			個人蔵
I-35		緋襷大皿	桃山時代	16-17c	9.0 × 50.5 × 49.7			岡山県立博物館
I-36		櫛目波状文壺	室町時代	16c	37.2 × 36.4 × 36.4			人間国宝美術館
I-37		搦鉢	桃山時代	16-17c	12.1 × 34.2 × 30.4			人間国宝美術館
I-38		緋襷水屋甕	桃山時代	16-17c	32.0 × 35.3 × 35.3			林原美術館
I-39		陶板	室町時代	16c	8.8 × 55.6 × 56.7			個人蔵

図録番号	作家名	作品名	制作年		寸法			所蔵
					H	W		
			和暦or時代	西暦	高さ	w	d	
I-40		陶板	室町-桃山時代	16c	3.5 × 46.2 × 47.7			個人蔵
I-41		陶板	室町-桃山時代	16c	7.4 × 50.0 × 50.7			個人蔵
I-42		陶板	桃山時代	16-17c	9.0 × 51.7 ×			MIHO MUSEUM
I-43		陶板	桃山時代	16-17c	6.8 × 52.4 × 51.4			人間国宝美術館
I-44		獅子置物	江戸時代	17-18c	15.7 × 27.8 × 19.0			岡山県立博物館
II-1	金重陶陽	青備前諫鼓鳥香炉	昭和13年	1938	24.1 × 16.5 × 10.2			個人蔵
II-2	金重陶陽	緋襷花器	昭和25年	1950	31.3 × 15.1 × 15.1			個人蔵
II-3	金重陶陽	四方平鉢 銘 冬の月	昭和28年	1953	6.6 × 31.5 × 29.5			個人蔵
II-4	金重陶陽	三角播座花入	昭和28-29年頃	c. 1953-54	24.1 × 12.6 × 14.0			岡山県立美術館
II-5	金重陶陽	緋襷茶盤	昭和31-32年頃	c. 1956-57	9.3 × 12.4 × 12.1			個人蔵
II-6	金重陶陽	耳付水指	昭和33年	1958	19.8 × 21.4 × 18.5			東京国立近代美術館
II-7	金重陶陽	耳付水指	昭和37年	1962	22.6 × 16.0 × 12.7			個人蔵
II-8	金重陶陽	手付向付	昭和39年	1964	9.6 × 17.8 × 16.4			東京国立近代美術館
II-9	藤原啓	緋襷茶盤	昭和25年	1950	10.7 × 13.0 × 12.9			人間国宝美術館
II-10	藤原啓	緋襷水指	昭和25年頃	c. 1950	17.8 × 16.0 × 16.0			人間国宝美術館
II-11	藤原啓	播座壺	昭和30年	1955	23.4 × 27.7 × 27.2			人間国宝美術館
II-12	藤原啓	緋襷水指	昭和34年	1959	15.6 × 25.1 × 24.8			東京国立近代美術館
II-13	藤原啓	窯変水盤	昭和37年	1962	15.5 × 38.6 × 33.1			東京国立近代美術館
II-14	山本陶秀	伊部手花入	昭和17年	1942	24.8 × 11.2 × 11.2			個人蔵
II-15	山本陶秀	鳥の鉢	昭和48年	1973	12.3 × 37.8 × 46.0			個人蔵
II-16	山本陶秀	緋襷あこだ花瓶	昭和50年	1975	22.5 × 23.5 × 23.6			個人蔵
II-17	山本陶秀	深茶盤	昭和51年	1976	8.6 × 11.3 × 11.2			個人蔵
II-18	山本陶秀	大海茶入	昭和53年	1978	7.0 × 9.4 × 9.4			京都国立近代美術館
II-19	山本陶秀	緋色肩衝茶入	昭和57年	1982	8.6 × 7.4 × 7.4			個人蔵
II-20	山本陶秀	緋襷茶入	昭和61年	1986	7.8 × 7.2 × 7.2			個人蔵
II-21	山本陶秀	窯変耳付花入	昭和62年	1987	24.6 × 15.2 × 13.0			個人蔵
II-22	山本陶秀	耳付水指	平成2年頃	c. 1990	17.7	19.2	16.2	個人蔵
II-23	金重素山	伊部茶器	昭和48年	1973	6.6 × 6.5 × 6.0			個人蔵
II-24	金重素山	緋襷茶器	昭和48年	1973	6.8 × 6.3 × 6.2			個人蔵
II-25	金重素山	伊部耳付茶入	昭和49年	1974	9.5 × 6.5 × 6.2			個人蔵
II-26	金重素山	緋襷耳付茶入	昭和49年	1974	9.5 × 6.9 × 6.4			個人蔵
II-27	金重素山	窯変茶器	昭和51年	1976	6.4 × 6.4 × 6.6			個人蔵
II-28	金重素山	伊部耳付花入	昭和59年	1984	22.3 × 18.4 × 14.6			個人蔵
II-29	金重素山	緋襷茶盤	平成元年	1989	8.5 × 14.1 × 13.0			個人蔵
II-30	金重素山	緋襷重餅水指	平成5年頃	c. 1993	21.2 × 20.8 × 20.6			個人蔵
II-31	金重素山	伊部茶盤	平成7年	1995	9.2 × 11.9 × 11.6			個人蔵
II-32	藤原雄	窯変大深鉢	昭和44年	1969	14.4 × 36.4 × 27.6			東京国立近代美術館
II-33	藤原雄	播座大壺		1974	32.3 × 35.1 × 35.1			茨城県陶芸美術館
II-34	藤原雄	播座大壺		c. 1986	27.6 × 38.1 × 38.0			個人蔵

図録番号	作家名	作品名	制作年		寸法			所蔵
			和暦or時代	西暦	H	W		
					高さ	w	d	
II-35	藤原雄	茶入		c. 1990	7.9 × 7.2 × 7.2	個人蔵		
II-36	藤原雄	播座水指		c. 1992	18.0 × 18.4 × 17.6	個人蔵		
II-37	藤原雄	茶盃		c. 1997	8.4 × 11.7 × 11.0	個人蔵		
II-38	伊勢崎満	平安窯德利	昭和35年頃	c. 1960	13.9 × 9.6 × 9.6	個人蔵		
II-39	伊勢崎満	緋襷荒土大壺		c. 1970	39.6 × 42.2 × 42.6	個人蔵		
II-40	伊勢崎満	窯変沓茶盃		c. 1986	8.5 × 15.0 × 12.6	個人蔵		
II-41	伊勢崎満	窯変耳付花入	平成2年頃	c. 1990	24.2 × 15.9 × 12.8	個人蔵		
II-42	伊勢崎満	矢筈口耳付水指		c. 1990	21.2 × 21.6 × 18.6	個人蔵		
II-43	伊勢崎満	窯変肩衝茶入	平成2年頃	c. 1990	8.7 × 6.6 × 6.5	個人蔵		
II-44	伊勢崎満	緋襷阿古陀德利	平成2年頃	c. 1990	16.8 × 9.9 × 9.6	個人蔵		
III-1	伊勢崎満	一重口水指	平成13年	2001	13.9 × 18.2 × 18.4	個人蔵		
III-2	伊勢崎満	壺	平成13年	2001	37.1 × 36.5 × 36.4	個人蔵		
III-3	伊勢崎淳	燕德利	平成13年	2001	26.6 × 22.4 × 22.4	個人蔵		
III-4	伊勢崎淳	角花生	平成20年	2008	53.0 × 18.0 × 27.1	岡山県立美術館		
III-5	伊勢崎淳	風雪	平成27年	2015	64.0 × 32.0 × 21.8	個人蔵		
III-6	伊勢崎淳	茶盃	平成28年	2016	8.4 × 12.6 × 12.9	個人蔵		
III-7	伊勢崎淳	神々の器	平成28年	2016	13.8 × 51.0 × 51.0	個人蔵		
III-8	森陶岳	砂壺	昭和45年	1970	31.9 × 41.5 × 41.3	東京国立近代美術館		
III-9	森陶岳	彩文土器	昭和46年	1971	61.0 × 55.0 × 55.0	京都国立近代美術館		
III-10	森陶岳	丸紋壺	昭和48年	1973	44.0 × 43.0 × 43.0	茨城県陶芸美術館		
III-11	森陶岳	茶入	平成11年	1999	7.1 × 7.4 × 7.3	個人蔵		
III-12	森陶岳	茶椀	平成23年	2011	7.7 × 11.4 × 11.0	個人蔵		
III-13	森陶岳	花入	平成27年	2015	24.5 × 13.6 × 13.6	個人蔵		
III-14	森陶岳	棒の先水指	平成27年	2015	15.8 × 17.8 × 17.8	個人蔵		
III-15	森陶岳	三耳壺	平成27年	2015	41.2 × 40.3 × 40.5	個人蔵		
III-16	森陶岳	播鉢	平成27年	2015	12.3 × 31.6 × 29.6	個人蔵		
III-17	森陶岳	ネズミノカップル	昭和58年	1983	16.5 × 20.2 × 7.4	個人蔵		
III-18	島村光	群雀	平成14年	2002	4.8 × 27.0 × 18.6	個人蔵		
III-19	島村光	大割木香炉	平成24年	2012	13.8 × 61.6 × 16.2	個人蔵		
III-20	島村光	泡瓶 十三支・おくれたきたねこ	平成24年	2012-2018	13.0 × 5.5 × 11.0	個人蔵		
III-21	島村光	煙	平成24年	2012	39.0 × 15.0 × 17.5	個人蔵		
III-22	島村光	午	平成30年	2018	23.6 × 13.6 × 9.2	個人蔵		
III-23	島村光	貌	平成30年	2018	30.1 × 16.1 × 15.8	個人蔵		
III-24	金重晃介	聖衣	平成6年	1994	38.5 × 53.7 × 38.0	岡山県立美術館		
III-25	金重晃介	備前花器 海から	平成11年	1999	40.2 × 44.7 × 35.7	東京国立近代美術館		
III-26	金重晃介	誕生(王妃)	平成12年	2000	59.0 × 70.0 × 45.7	個人蔵		
III-27	金重晃介	緋襷茶盃	平成15年	2003	8.0 × 12.8 × 12.2	個人蔵		
III-28	金重晃介	花器	平成22年	2010	31.2 × 19.9 × 13.5	個人蔵		
III-29	金重晃介	耳付水指	平成28年	2016	16.6 × 27.0 × 21.8	個人蔵		

図録番号	作家名	作品名	制作年		寸法			所蔵
			和暦or時代	西暦	H	W		
					高さ	w	d	
III-30	隠崎隆一	混淆広口花器	平成24年	2012	40.0 × 65.0 × 19.0			個人蔵
III-31	隠崎隆一	混淆花器	平成28年	2016	61.0 × 29.5 × 27.4			個人蔵
III-32	隠崎隆一	混淆白泥壺	平成28年	2016	24.0 × 35.0 × 35.0			個人蔵
III-33	隠崎隆一	混淆三足角皿	平成28年	2016	10.6 × 27.9 × 25.8			個人蔵
III-34	隠崎隆一	混淆陶管	平成28年	2016	30.6 × 19.7 × 19.1			個人蔵
III-35	隠崎隆一	混淆水指	平成30年	2018	22.0 × 22.6 × 19.9			個人蔵
III-36	隠崎隆一	混淆茶碗	平成30年	2018	9.7 × 12.5 × 12.0			個人蔵
III-37	金重有邦	伊部茶入		2003	9.1 × 6.1 × 6.0			グレンバラ美術館
III-38	金重有邦	伊部茶盃	平成24年	2012	8.4 × 11.7 × 11.7			グレンバラ美術館
III-39	金重有邦	伊部茶盃	平成26年	2014	9.3 × 13.6 × 11.9			個人蔵
III-40	金重有邦	伊部茶盃	平成26年	2014	6.7 × 15.3 × 15.3			グレンバラ美術館
III-41	金重有邦	伊部耳付花入	平成28年	2016	25.2 × 17.6 × 14.7			グレンバラ美術館
III-42	金重有邦	伊部茶入		2016	9.2 × 5.8 × 5.8			グレンバラ美術館
III-43	金重有邦	伊部水指	平成30年	2018	19.4 × 17.8 × 18.8			個人蔵
III-44	伊勢崎創	扁壺	平成19年	2007	42.4 × 34.0 × 30.3			個人蔵
III-45	伊勢崎創	三角扁壺	平成28年	2016	44.7 × 32.6 × 32.2			個人蔵
III-46	伊勢崎創	緋襷四方花器	平成29年	2017	41.5 × 22.5 × 23.0			個人蔵
III-47	伊勢崎創	四方水指	平成30年	2018	16.4 × 19.0 × 19.0			個人蔵
III-48	伊勢崎創	緋襷茶盃	平成30年	2018	8.6 × 12.8 × 13.0			個人蔵
III-49	矢部俊一	月山	平成24年	2012	58.0 × 22.3 × 19.0			個人蔵
III-50	矢部俊一	暁月	平成27年	2015	21.9 × 47.4 × 22.4			個人蔵
III-51	矢部俊一	草吹	平成27年	2015	25.0 × 49.4 × 33.6			個人蔵
III-52	矢部俊一	縁樹	平成28年	2016	28.0 × 17.0 × 15.9			個人蔵
III-53	矢部俊一	光風	平成29年	2017	15.1 × 54.3 × 20.4			個人蔵
III-54	矢部俊一	光風	平成29年	2017	17.8 × 92.5 × 26.1			個人蔵
III-55	伊勢崎晃一朗	人鳥	平成29年	2017	32.2 × 16.7 × 16.1			個人蔵
III-56	伊勢崎晃一朗	畝壺	平成29年	2017	33.6 × 52.2 × 52.2			個人蔵
III-57	伊勢崎晃一朗	打文花器	平成30年	2018	31.0 × 15.7 × 12.8			個人蔵
III-58	伊勢崎晃一朗	人鳥	平成30年	2018	49.0 × 22.7 × 20.6			個人蔵
III-59	伊勢崎晃一朗	黒削水指	平成30年	2018	16.4 × 20.5 × 20.5			個人蔵
III-60	伊勢崎晃一朗	緋襷畝水指	平成30年	2018	× 24.4 × 24.6			個人蔵
III-61	伊勢崎晃一朗	茶盃	平成30年	2018	8.8 × 13.4 × 12.9			個人蔵

【追加作品目録 1】

最終番号	図版掲載	指定	作者名等	作品名	員数	サイズ	制作年	備考	所蔵
【岡山県立博物館備前焼優品選】									
博01				須恵器平瓶	1	W18.0×H15.5	飛鳥時代(7世紀)		岡山県立博物館
博02	○			須恵器双耳瓶	1	W20.0×H35.8	平安時代(11世紀)		岡山県立博物館
博03				壺	1	W25.2×H26.4	鎌倉時代(13世紀)		岡山県立博物館
博04	○			壺(大・灰)	1	W32.1×H39.5	室町時代(15世紀)	水ノ子岩 海底遺跡出土	岡山県立博物館
博05	○			壺(大・褐)	1	W32.1×H43.3	室町時代(15世紀)	水ノ子岩 海底遺跡出土	岡山県立博物館
博06				壺(小・貝)	1	W21.6×H21.8	室町時代(15世紀)	水ノ子岩 海底遺跡出土	岡山県立博物館
博07				壺(小)	1	W21.5×H22.1	室町時代(15世紀)	水ノ子岩 海底遺跡出土	岡山県立博物館
博08				壺(雀口)	1	W8.7×H8.1	室町時代(15世紀)	水ノ子岩 海底遺跡出土	岡山県立博物館
博09				壺(15c)	1	W39.5×H49.8	室町時代(15世紀)		岡山県立博物館
博10		重文		壺(古備前四耳大壺)	1	W44.8×H62.8	福(文)安元(1444)年	銘 「石井原山之 橋本坊之 常住物也 歳次 福安元年 三月廿三日 甲子 作者伊部村之 釣井衛門太郎 (花押)」	千光寺 (県博寄託)
博11				壺(16c前)	1	W23.0×H26.0	室町時代(16世紀)		岡山県立博物館
博12				壺(16c中)	1	W25.9×H30.3	室町時代(16世紀)		岡山県立博物館
博13				壺(16c末～17c)	1	W25.9×H32.7	桃山時代(16-17世紀)		岡山県立博物館
博14				壺(慶長)	1	W25.6×H29.8	慶長15(1610)年		岡山県立博物館
博15	○			播鉢(貝殻付)	1	W30.8×H12.4	室町時代(15世紀)	水ノ子岩 海底遺跡出土	岡山県立博物館
博16				播鉢(貝殻半)	1	W30.3×H11.5	室町時代(15世紀)	水ノ子岩 海底遺跡出土	岡山県立博物館
博17				播鉢(口縁狭)	1	W30.8×H11.9	室町時代(15世紀)	水ノ子岩 海底遺跡出土	岡山県立博物館
博18				播鉢(口縁広)	1	W31.0×H11.7	室町時代(15世紀)	水ノ子岩 海底遺跡出土	岡山県立博物館
	写真		写真パネル	水ノ子岩海底遺跡調査風景	1		昭和52(1977)年		岡山県立博物館
	写真		写真パネル	水ノ子岩海底遺跡出土品	1		室町時代(15世紀)		岡山県立博物館
博19				播鉢	1	W24.1×H8.5	室町時代(15世紀)		岡山県立博物館
博20				播鉢	1	W34.8×H13.9	桃山時代(17世紀)		岡山県立博物館
博21				甕	1	W56.0×H61.0	鎌倉時代(13世紀)		岡山県立博物館
博22				甕	1	W58.0×H74.0	室町時代(15世紀)		岡山県立博物館
博23	○			甕	1	W82.5×H104.7	元龜2(1571)年	銘 「参石入 一吉 ひねりつち卯(カ) 月太郎右衛門(カ) 元龜二年」	岡山県立博物館
博24	○			甕	1	W80.4×H104.8	文禄3(1594)年	銘 「文禄三年三月 吉日 太郎右衛門」	岡山県立博物館

最終番号	図版掲載	指定	作者名等	作品名	員数	サイズ	制作年	備考	所蔵
博25	○			甕	1	W81.2×H106.8	慶長18(1614)年	銘 「太御詔也 貳石入ふるひ土 慶長拾八年 七月吉日」	岡山県立博物館
博26	○			緋襷徳利(棗形)	1	W22.5×H30.5	桃山時代(17世紀)		岡山県立博物館
博27				一遍上人絵伝 (部分・複製画)	1		原本・鎌倉時代 (13世紀)	原本・国宝 清浄光寺蔵	岡山県立博物館
【細工物】									
1	○			布袋伏せ香炉	1	W20.4×H18.2	後桃山期		個人蔵
2	○			大布袋香炉	1	W25.6×H21.0	江戸初期		岡山シティミュージアム (木村コレクション)
3	○			達磨香炉	1	W8.8×H11.5	後桃山期		個人蔵
4	○		寺見五郎兵衛	立ち達磨香炉	1	W24.3×H12.0	江戸初期		個人蔵
5	○			大獅子伏せ香炉	1	W28.8×H26.0	江戸中期		岡山シティミュージアム (木村コレクション)
6	○			獅子香炉	1	W16.0×H16.8	江戸中期		個人蔵
7	○			獅子香炉	1	W21.3×H17.0	江戸中期		個人蔵
8	○			鹿寿老人	1	W21.0×H14.0	江戸中期		個人蔵
9	○			牡丹形香炉	1	W9.5×H12.5	江戸中期	金重榎陽旧蔵	野崎家塩業歴史館
10	○			椿に鶴香炉	1	W18.0×H21.5	江戸中期		個人蔵
11	○		渡辺勝政	鬼瓦に鳩香炉	1	W20.5×H22.0	江戸中期		個人蔵
12	○			蟹香炉	1	W31.8×H 7.0	江戸時代		Hコレクション
13	○			猿置物	1	W27.0×H24.0	江戸中期		個人蔵
14	○			山鳥置物	1		江戸中期		個人蔵
15	○			閑古鳥香炉	1	W12.9×H24.3	江戸中期		Hコレクション
16	○			馬香炉	1	W27.0×H20.0	江戸中期		個人蔵
17	○			双鶏香炉	1	W22.5×H30.5	江戸中期		個人蔵
18	○			布袋香炉	1	W22.5×H30.5	江戸末期		個人蔵
19	○			琴高仙人香炉	1	W21.4×H19.0	江戸中期		個人蔵
20	○			馬香炉	1	W26.0×H25.0	江戸中期		個人蔵
21	○			籠に鶏香炉	1	W11.3×H20.5	江戸中期		Hコレクション
22	○			踊り布袋置物	1	W14.0×H11.0	江戸中期		個人蔵
23	○		三村陶景	天平文官像	1	W19.5×H61.0	昭和22(1947)年		個人蔵
24	○		三村陶景	勇駒香炉	1	W34.1×H29.1	大正時代(20世紀)		岡山県立美術館
25	○		真殿左鶴	鶴香炉	1	W27.1×H13.6	昭和10年代(20世紀)		岡山県立美術館
26	○		山本陶秀	糸巻き獅子香炉	1	W9.0×H13.0	昭和時代(20世紀)		個人蔵
27	○		西村春湖	牛と高土置物	1	W35.0×H24.4	昭和13(1938)年		個人蔵
28	○		西村春湖	布袋置物	1	W18.0×H11.0	昭和時代(20世紀)		岡山県立美術館
29	○		大饗仁堂	達磨像	1	W22.0×H43.0	昭和時代(20世紀)		個人蔵
30	○		大饗仁堂	騎獅文殊	1	W29.5×H29.5	昭和時代(20世紀)		個人蔵
31	○		大饗仁堂	黄安仙人	1	W29.8×H23.5	昭和時代(20世紀)		個人蔵
32	○		藤原楽山	籠に鶏香炉	1	W13.5×H24.4	大正時代(20世紀)		岡山県立美術館

最終番号	図版掲載	指定	作者名等	作品名	員数	サイズ	制作年	備考	所蔵
33	○		藤原楽山	志は窯菊彫香炉	1	W14.0×H12.0	昭和時代(20世紀)		個人蔵
34	○		伊勢崎陽山	避難	1	W20.0×H19.0	昭和4(1929)年		個人蔵
35	○		伊勢崎陽山	餓鬼	1	W23.0×H20.0	昭和20年代(20世紀)		個人蔵

【出品作家の新近作】

新			伊勢崎淳	炎の記録	1		令和2(2020)年		個人蔵
新			森陶岳	扁壺	1		令和2(2020)年		個人蔵
新			金重晃介	少年時代・少女時代	1対				個人蔵
新			島村光	獅子	1対		令和元(2019)年		個人蔵
新			金重有邦	伊部平壺	1		令和2(2020)年		個人蔵
新			隠崎隆一	Zoi(白泥混淆)	1		令和2(2020)年		個人蔵
新			矢部俊一	閃光風	1				個人蔵
新			伊勢崎創	備前花器	1		令和2(2020)年		個人蔵
新			伊勢崎晃一郎	聳	1		令和2(2020)年		個人蔵

【The備前展追加展示(県立博物館関係)】

最終番号	指定	作者名等	作品名	員数	制作年	備考
博01			須恵器平瓶	1	飛鳥時代(7世紀)	
博02			須恵器双耳瓶	1	平安時代(11世紀)	
博03			壺	1	鎌倉時代(13世紀)	
博04			壺(大・灰)	1	室町時代(15世紀)	水ノ子岩海底遺跡出土
博05			壺(大・褐)	1	室町時代(15世紀)	水ノ子岩海底遺跡出土
博06			壺(小・貝)	1	室町時代(15世紀)	水ノ子岩海底遺跡出土
博07			壺(小)	1	室町時代(15世紀)	水ノ子岩海底遺跡出土
博08			壺(雀口)	1	室町時代(15世紀)	水ノ子岩海底遺跡出土
博09			壺(15c)	1	室町時代(15世紀)	
博10	重文		壺(古備前四耳大壺)	1	福(文)安元(1444)年	*千光寺 別途寄託作品
博11			壺(16c前)	1	室町時代(16世紀)	
博12			壺(16c中)	1	室町時代(16世紀)	
博13			壺(16c末～17c)	1	桃山時代(16-17世紀)	
博14			壺(慶長)	1	慶長15(1610)年	
博15			播鉢(貝殻付)	1	室町時代(15世紀)	水ノ子岩海底遺跡出土
博16			播鉢(貝殻半)	1	室町時代(15世紀)	水ノ子岩海底遺跡出土
博17			播鉢(口縁狭)	1	室町時代(15世紀)	水ノ子岩海底遺跡出土
博18			播鉢(口縁広)	1	室町時代(15世紀)	水ノ子岩海底遺跡出土
博19			播鉢	1	室町時代(15世紀)	
博20			播鉢	1	桃山時代(17世紀)	
博21			甕	1	鎌倉時代(13世紀)	
博22			甕	1	室町時代(15世紀)	
博23			甕	1	元龜2(1571)年	
博24			甕	1	文禄3(1594)年	
博25			甕	1	慶長18(1614)年	
博26			緋襷徳利(棗形)	1	桃山時代(17世紀)	
博27			一遍上人絵伝(複製)	1	原本・鎌倉時代(13世紀)	

## 第67回日本伝統工芸展岡山展

**会 期** 2020年11月13日(金)－11月29日(日)  
(会期中無休)

**会 場** 岡山県立美術館地下一階展示室

**主 催** 岡山県立美術館、岡山県教育委員会、NHK岡山放送局、朝日新聞社、山陽新聞社、公益社団法人日本工芸会

**助 成** 令和二年度文化庁補助事業

**協 力** (公財)岡山県郷土文化財団、岡山県立大学、(公社)岡山県文化連盟



ポスター (B3)

### 【趣旨】

日本伝統工芸展は、我が国に伝わる優れた工芸技術の保護・育成を目的に昭和29年に創立され、現在全国11会場で開催されている。伝統を正しく受け継ぎ、さらに磨き、現代の暮らしに見合った新しい作品を世に送り出そうという趣旨のもと、厳正な審査を通過した入選作品の中から入賞作品、重要無形文化財保持者（人間国宝）、審・鑑査委員、特待者、中・四国在住者の作品を中心に255点を展覧。会期中には出品作家等による解説会、ワークショップなど普及事業を行った。

### 【関連事業】

#### ●列品解説会

例年開催している審査委員等による列品解説会は、コロナウイルス感染拡大を受け、遠方からの講師を招くこと、また不特定多数の来館者を前に解説することは難しいと判断されたため、地元作家を中心に、別室での申し込み制スライドレクチャーに切り替えて実施した。

日時	部門	講師
11月13日(金)11:00－ 会場:講義室	木工芸	小椋芳之氏、 重松次壽氏
11月15日(日)13:30－ 会場:講義室	漆 芸	小松原賢次氏、 塩津容子氏
11月22日(日)13:30－ 会場:講義室	染 織	佐藤常子氏
11月23日(月・祝)13:30－ 会場:美術館ホール	陶 芸	神農巖氏、 伊勢崎創氏

#### ●映画上映会

日 時：会期中随時上映  
上映映画：「菟醬 太田儔のわざ」、「志野に生きる 鈴木藏」  
会 場：地下1階ホワイトエ



チラシ (A4表)



チラシ (A4裏)



目録

●ワークショップ 協力：岡山県立大学

- ・ミニ登り窯焼成体験

日 時：令和2年11月8日（日）13：30－17：00

会 場：岡山県立大学

- ・草木染め体験

「ハートで触れるワクワク工房～大切な人に特別な手紙を～」

日 時：令和2年11月15日（日）10：00－12：00、

13：30－15：30

会 場：岡山県立美術館

●学校出張講座

授業で制作した成果物を岡山県立美術館地下1階屋内広場に会期中展示した。

〈備前焼〉

日 時：令和2年9月24日（木）

実施校：倉敷市下津井西小学校20名

日 時：令和2年9月25日（金）

実施校：真庭市立北房小学校31名

講 師：伊勢崎紳氏ほか（日本工芸会中国支部陶芸部会）

〈七宝〉

日 時：令和2年9月23日（水）

実施校：美咲町立旭小学校10名

講 師：岩本文子氏（日本工芸会正会員）

〈染織〉

日 時：令和2年9月9日（水）

実施校：岡山市立竹枝小学校6名

講 師：佐藤常子氏ほか日本工芸会中国支部染織部会

	応募出品点数		入選作品数		遺作	岡山展出品作品数
	人数	点数	人数	点数		点数
陶 芸	496	567	200	200		84
染 織	195	205	86	86		33
漆 芸	121	123	79	79	1	36
金 工	76	77	42	42		26
木竹工	127	130	76	76		32
人 形	64	69	29	29		18
諸工芸	107	109	51	51		25
計	1280	1371	576	576	1	254+1

## マイセン動物園展

**会 期** 2020年12月5日(土)－2021年1月31日(日)

**会 場** 岡山県立美術館地下1階展示室

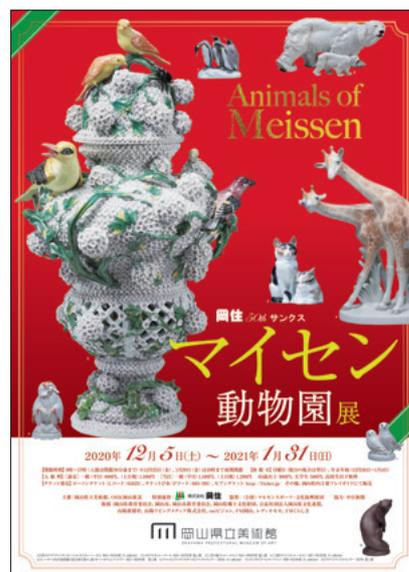
**主 催** 岡山県立美術館、OHK岡山放送

**協 力** 中日新聞社

**特別協賛** 株式会社 岡住

**協 賛** (公財) マルセンスポーツ・文化振興財団

**後 援** 岡山県教育委員会、岡山市、岡山市教育委員会、岡山県郷土文化財団、公益社団法人岡山県文化連盟、山陽新聞社、山陽リビングメディア株式会社、oniビジョン、FM岡山、レディオモモ、FMくらしき



ポスター (B2)



ポスター (B3)

### 【趣旨】

マイセンは、1710年に王室磁器製作所として設立されて以降、今日まで続く西洋磁器のトップブランドである。本展は、最高級の芸術性と品質を誇り世界中の人々から愛されているマイセンの作品群から、重要なアイテムである動物に関連する作品を展示。マイセンでは、創始者であるアウグスト強王がその権力を誇示するために宮廷動物園を磁器で再現しようと大量の動物彫像を作らせて以降、動物をテーマとした作品は各時代の様式を取り入れながら多種多様に生み出されてきた。本展は約120点の作品により、マイセンの魅力、とりわけその高い造形技術を知らしめるものであった。

### 【関連事業】

#### ● 記念講演会「動物表現を通して知るマイセン磁器の様式」

日 時：2020年12月5日 (土) 13:30－15:00

講 師：岩井美恵子氏

(パナソニック汐留美術館学芸員・本展監修者)

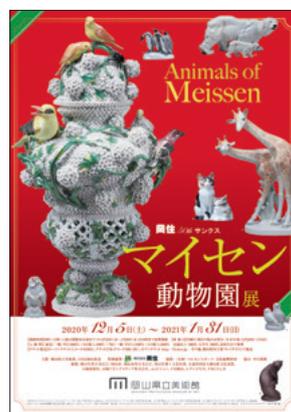
会 場：2階ホール ※申し込み先着順100名

#### ● クリスマスコンサート

日 時：2020年12月25日 (金) 14:00－、18:00－

出 演：上月真子氏、大森由理氏 (オーボエ奏者)

会 場：地下1階展示室



チラシ (A4表)



チラシ (A4裏)

### 【同時開催】

- 特別展示「ワンモア・マイセン」(協力：神谷美術)
  - ・現代のマイセンを手がけたオーラフ・フィーバー氏の作品とマイセンの洋食器によるクリスマス&ニューイヤーに合わせたテーブルコーディネートを紹介
  - ・現代のマイセン工房の様子を映像で紹介



展示風景

## 【出品目録】

No	作品名	作家名	制作年	寸法 (cm)	所蔵
<b>第1章 神話と寓話の中の動物</b>					
1	女性立像「五感の寓意〈視覚〉」	ヨハン・フリードリッヒ・エバーライン	不詳	H28.3×W16.0×D11.0	ロムドシン
2	神話人物群像「ヒポカンポスの引く凱旋車に乗るネプトゥヌス」	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラー	1820－1920年頃	H57.0×W61.3×D29.6	個人蔵
3	神話人物群像「アンフィトリテの勝利」	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラー	1820－1920年頃	H46.2×W57.3×D24.5	個人蔵
4	女性像「四大陸の寓意〈ヨーロッパ〉」	ヨハン・フリードリッヒ・エバーライン	1820－1920年頃	H25.5×W25.6×D21.4	個人蔵
5	女性像「四大陸の寓意〈アジア〉」	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラー、 ヨハン・フリードリッヒ・エバーライン	1820－1920年頃	H31.1×W24.4×D14.4	個人蔵
6	女性像「四大陸の寓意〈アフリカ〉」	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラー	不詳	H29.8×W23.9×D15.0	個人蔵
7	女性像「四大陸の寓意〈アメリカ〉」	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラーなど	1820－1920年頃	H27.9×W28.9×D17.8	個人蔵
8	猿の楽団	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラー、 ペーター・ライニッケ	1820－1920年頃		個人蔵
	[指揮者]			H17.3×W10.5×D7.4	
	[譜面台]			H9.0×W2.5×D2.5	
	[オルガン奏者]			H12.7×W9.7×D7.0	
	[歌手(上着黄・スカート赤)]			H12.0×W5.0×D6.0	
	[歌手(上着紫)]			H12.5×W6.5×D5.2	
	[歌手(上着黄・スカート紫)]			H12.5×W6.0×D7.0	
	[歌手(上着青)]			H12.7×W8.3×D6.0	
	[ハーブ奏者]			H12.2×W7.3×D7.8	
	[ホルン奏者]			H15.0×W6.3×D6.5	
	[チェロ奏者]			H12.3×W6.2×D7.0	
	[オーボエ奏者]			H13.0×W5.6×D6.0	
	[ハーディ・ガーディ奏者]			H14.4×W5.5×D6.0	
	[バグパイプ奏者]			H14.5×W5.5×D6.2	
	[ギター奏者]			H14.3×W6.5×D6.3	
	[ファゴット奏者]			H14.5×W5.2×D6.5	
	[フルート奏者]			H14.3×W7.3×D5.0	
	[ヴァイオリン奏者]			H14.0×W6.0×D6.5	
	[トランペット奏者]			H13.8×W8.9×D5.3	
	[タンブランとガルベ奏者]			H14.7×W6.5×D7.1	
	[ドラム担ぎ]			H14.0×W6.5×D6.0	
	[ドラム奏者]			H14.7×W5.4×D5.0	
	[トライアングル奏者]			H14.4×W5.5×D6.0	
9	山羊に乗る仕立屋	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラー	1820－1920年頃	H42.3×W40.5×D19.3	個人蔵
10	山羊に乗る仕立屋	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラー	1820－1920年頃	H22.6×W17.3×D7.5	個人蔵
11	人物像水注「四大元素の寓意〈地〉」	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラー	1820－1920年頃	H68.0×W43.0×D24.0	個人蔵
12	人物像水注「四大元素の寓意〈空気〉」	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラー	1820－1920年頃	H66.0×W38.5×D20.6	個人蔵
13	人物像水注「四大元素の寓意〈火〉」	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラー	1820－1920年頃	H67.5×W42.2×D25.5	個人蔵
14	人物像水注「四大元素の寓意〈水〉」	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラー	1820－1920年頃	H64.3×W39.0×D21.4	個人蔵
15	神話人物像 「牡鹿の引く凱旋車に乗るディアナ」	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラー	1860年頃	H28.2×W47.7×D22.8	個人蔵
16	ライオンヘッド両手付飾壺	エルンスト・アウグスト・ロイテリッツ	1863年頃	(各) H59.0×W38.0×D27.7	個人蔵

No	作品名	作家名	制作年	寸法 (cm)	所蔵
17	ブット立像「昼と夜の寓意」	ハインリッヒ・シュヴァーベ	1877-1920年頃		個人蔵
	(昼)			H36.3×W13.5×D11.0	
	(夜)			H34.0×W11.5×D12.0	
18	藍地ポブリポット「騎馬人物図」	エルンスト・アウグスト・ロイテリッツ	1880年頃	H30.9×W17.3×D12.5	個人蔵
19	花鳥飾ブット像鏡	ヨハン・ゴッドリーブ・エーダー	19世紀中頃 もしくは後半	H180.0×W102.0× D24.0	個人蔵
20	花鳥飾ブット像シャンデリア	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラー / 19世紀後半 エルンスト・アウグスト・ロイテリッツ	19世紀後半	H103.0×Diam88.0	個人蔵

## 第2章 器に表された動物

21	昆虫鳥図皿	不詳	1763-1773年頃	H3.1×Diam23.5	個人蔵
22	昆虫鳥図皿	不詳	1763-1773年頃	H2.9×Diam23.5	個人蔵
23	白鳥皿	不詳	1820-1920年頃	H3.2×W54.0×D40.4	個人蔵
24	スノーボール貼花装飾「狩猟図」 カップアンドソーサー	不詳	不詳		個人蔵
	(カップ)			H5.2×W10.2×D9.2	
	(ソーサー)			H3.3×Diam14.5	
25	スノーボール貼花装飾蓋付カナリア付 カップアンドソーサー	不詳	1820-1920年頃		個人蔵
	(カップ)			H12.3×W11.0×D9.5	
	(ソーサー)			H3.5×Diam15.2	
26	スノーボール貼花装飾鳥付 カップアンドソーサー	不詳	1820-1920年頃		個人蔵
	(カップ)			H12.3×W11.0×D9.5	
	(ソーサー)			H3.5×Diam15.2	
27	スノーボール貼花装飾カナリア付 カップアンドソーサー	不詳	1820-1920年頃		個人蔵
	(カップ)			(各) H6.7×W10.8×D10.1	
	(ソーサー)			H3.5×Diam14.5	
28	スノーボール貼花装飾ティーポット	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラーに帰属	18 / 19世紀	H28.0×W27.6×D23.1	個人蔵
29	スノーボール貼花装飾 ティーポットアンドトレイ	不詳	1820-1920年頃		個人蔵
	(ポット)			H14.2×W24.7×D19.0	
	(ソーサー)			H4.8×Diam22.5	
30	スノーボール貼花装飾蓋付カナリア付 センターピース	不詳	1820-1920年頃		個人蔵
	(カップ)			H13.0×Diam13.0	
	(ソーサー)			H5.0×Diam22.3	
31	スノーボール貼花装飾カナリア付 二人用ティーサービス	不詳	1820-1920年頃		個人蔵
	(ティーポット)			H11.7×W18.4×D14.6	
	(カップ)			(各) H10.0×W10.0×D9.6	
	(ソーサー)			(各) H3.0×Diam13.2	
	(シュガーポット)			H10.8×Diam9.6	
	(クリーマー)			H9.5×W10.3×D10.5	
32	貼花狩猟図鹿浮彫蓋付パンチボウル	ミシェル・ヴィクトール・アシエなど	1820-1920年頃	H38.0×W41.0×D31.0	個人蔵
33	スノーボール貼花装飾鳥付ジャグ	不詳	不詳	H62.5×W37.5×D33.0	個人蔵

No	作品名	作家名	制作年	寸法 (cm)	所蔵
34	スノーボール貼花装飾小鳥付飾壺	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラー	1820-1920年頃	(各) H34.8×W24.5×D24.0	個人蔵
35	スノーボール貼花装飾蓋付カナリア付鶴首飾壺	不詳	1820-1920年頃	(各) H48.0×W24.5×D28.3	個人蔵
36	スノーボール貼花装飾蓋付大壺	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラー	1820-1920年頃	H50.5×W32.5×D31.0	個人蔵
37	スノーボール貼花装飾蓋付昆虫鳥付透かし壺	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラー	1820-1920年頃	H83.3×W50.0×D46.5	個人蔵
38	ヴァトー風恋人図ポブリポット	ヨハン・ヨアヒム・ケンドラー	1820-1920年頃	(各) H76.0×W42.5×D33.7	個人蔵

### 第3章 アール・ヌーヴオーの動物

39	二匹のウサギ	イヴァール・ティルベルグ	1905-1923年頃	H15.8×W16.0×D15.3	J's collection
40	二頭のグレイハウンド	オットー・ピルツ	1910-1923年頃	H24.5×W25.1×D14.5	J's collection
41	座るコッカースパニエル	エーリッヒ・オスカー・ヘーゼル	1916-1923年頃	H34.0×W38.7×D19.8	J's collection
42	コッカースパニエル	エーリッヒ・オスカー・ヘーゼル	1924-1934年頃	H11.7×W18.6×D7.6	J's collection
43	コリー	エーリッヒ・オスカー・ヘーゼル	1905-1923年頃	H10.0×W14.0×D5.0	J's collection
44	コリーと少年	エーリッヒ・オスカー・ヘーゼル	1905-1923年頃	H16.5×W11.6×D10.9	J's collection
45	救護犬	パウル・ヴァルター	1915-1923年頃	H8.5×W12.2×D5.3	J's collection
46	ジャーマンシェパード	パウル・ヴァルター	1924-1933年頃	H16.5×W17.8×D8.2	J's collection
47	トウモロコシの束の上に立つジャーマンシェパード	エーリッヒ・オスカー・ヘーゼル	1927-1934年頃	H18.0×W20.4×D6.1	J's collection
R-1	『国立マイセン磁器製作所 人物像 および群像1919-1928 2巻』			H30.0×W21.3	個人蔵
48	野ウサギをくわえた猟犬	アルベルト・ゲオルグ・エラス	1898-1923年頃	H10.0×W12.2×D6.6	J's collection
49	二匹のスパニエル	パウル・ヴァルター	1924-1934年頃	H9.7×W13.6×D10.4	J's collection
50	ハンターと二匹の猟犬	オットー・ヤール	1904-1923年頃	H27.5×W19.5×D39.5	J's collection
51	探しものをする台座上のセッター	オットー・ヤール	1904-1923年頃	H7.5×W18.0×D6.0	J's collection
52	二匹のセッター	オットー・ヤール	1924-1934年頃	H10.0×W26.0×D17.5	J's collection
53	セントバーナード	エメリッヒ・フォルクマール・エーラー	1906-1923年頃	H17.5×W27.8×D7.0	J's collection
54	ダックスフント	オットー・ヤール	1924-1934年頃	H8.0×W19.0×D7.7	J's collection
55	座布団に座るチン	エーリッヒ・オスカー・ヘーゼル	1913-1923年頃	H10.5×W14.0×D17.0	J's collection
56	横たわるチン	エーリッヒ・オスカー・ヘーゼル	1913-1923年頃	H10.5×W18.5×D11.0	J's collection
57	座るチン	エーリッヒ・オスカー・ヘーゼル	1924-1934年頃	H13.1×W11.0×D10.0	J's collection
58	ドーベルマン	パウル・ヴァルター	1912-1923年頃	H16.0×W13.3×D5.5	J's collection
59	フレンチブルドッグ	エーリッヒ・オスカー・ヘーゼル	1911-1923年頃	H14.6×W12.5×D9.5	J's collection
60	二匹のフレンチブルドッグ	エーリッヒ・オスカー・ヘーゼル	1924-1934年頃	H15.4×W12.2×D16.4	J's collection
61	ブルドッグ	エーリッヒ・オスカー・ヘーゼル	1908-1923年頃	H6.2×W9.4×D5.3	J's collection
62	コリーと格闘するブルドッグ	エーリッヒ・オスカー・ヘーゼル	1910-1923年頃	H9.5×W7.3×D11.3	J's collection
63	ボールで遊ぶボメラニアン	エーリッヒ・オスカー・ヘーゼル	1907-1923年頃	H4.0×W4.3×D2.6	J's collection
64	猟犬	エーリッヒ・オスカー・ヘーゼル	1924-1933年頃	H12.7×W9.0×D4.7	J's collection
65	猟犬	不詳	1924-1933年頃	H15.4×W11.8×D8.0	J's collection
R-2	『国立マイセン磁器製作所 犬』			H31.3×W25.1	個人蔵
66	二匹の猫	ペーター・ライニッケ	1840-1860年		ロムドシン
	(左)			H9.8×W12.5×D6.8	
	(右)			H8.0×W15.2×D6.4	
67	食する子猫	エーリッヒ・オスカー・ヘーゼル	1917-1923年頃	H7.4×W12.2×D5.4	個人蔵
68	毛糸玉と子猫	エーリッヒ・オスカー・ヘーゼル	1917-1923年頃	H8.5×W9.7×D7.0	個人蔵

No	作品名	作家名	制作年	寸法 (cm)	所蔵
69	毛づくろいする子猫	エーリッヒ・オスカー・ヘーゼル	1917-1923年頃	H7.6×W7.8×D5.7	個人蔵
70	警戒する子猫	エーリッヒ・オスカー・ヘーゼル	1924-1934年頃	H9.3×W8.0×D5.5	個人蔵
71	二匹の猫	オットー・ピルツ	1934-1940年頃	H19.8×W17.0×D17.7	個人蔵
72	座る子猫	エーリッヒ・オスカー・ヘーゼル	1934-1940年頃	H10.3×W7.5×D6.0	個人蔵
73	子猫	エーリッヒ・オスカー・ヘーゼル	1956年	H11.0×W13.1×D6.0	個人蔵
74	子猫	エーリッヒ・オスカー・ヘーゼル	1956年	H6.8×W14.0×D6.0	個人蔵
75	木の幹に横たわるオオヤマネコ	パウル・ヴァルター	1912-1923年頃	H25.9×W9.4×D19.5	J's collection
76	屈むユキヒョウ	オットー・ピルツ	1912-1923年頃	H11.0×W39.3×D19.5	J's collection
77	シマウマを襲うヒョウ	オットー・ピルツ	1911-1923年頃	H30.0×W34.5×D13.0	J's collection
78	格闘する二頭のヒョウ	ルドルフ・レーナー	1913-1923年頃	H15.2×W37.4×D22.5	J's collection
R-3『芸術』、1913年14号			1913年	H29.8×W21.8	個人蔵
79	ヒョウの親子	オットー・ピルツ	1913-1923年頃	H21.8×W18.2×D20.4	J's collection
80	ライオンのつがい	エーリッヒ・オスカー・ヘーゼル	20世紀	H16.4×W22.5×D15.5	J's collection
R-4『野生大型ネコ科動物のスケッチ』				H31.2×W37.5	個人蔵
81	ゾウとインド人	パウル・ヴァルター	1906-1923年頃	H27.2×W30.3×D10.8	J's collection
82	二頭のキリン	オットー・ピルツ	1907-1923年頃	H33.5×W32.7×D15.5	J's collection
83	格闘するガゼル	オットー・ピルツ	1912-1923年頃	H28.0×W32.7×D27.9	J's collection
84	二頭のリヤマ	オットー・ピルツ	1905-1923年	H27.5×W36.0×D24.0	J's collection
85	二匹のフェネック	オットー・ピルツ	20世紀	H15.5×W19.5×D16.1	J's collection
86	シルバーフォックス	エーリッヒ・オスカー・ヘーゼル	1924-1934年頃	H18.6×W16.0×D8.5	J's collection
87	シルバーフォックス	エーリッヒ・オスカー・ヘーゼル	1925-1934年頃	H16.8×W26.5×D10.4	J's collection
88	二頭のクマ	エーリッヒ・オスカー・ヘーゼル	1904-1923年頃	H14.0×W8.2×D8.9	J's collection
89	シロクマ	オットー・ヤール	1903-1923年頃	H26.0×W53.3×D32.0	個人蔵
90	シロクマ	オットー・ヤール	1903-1923年頃	H11.2×W23.0×D10.2	個人蔵
91	曲芸をするアシカ	ルドルフ・レーナー	1929-1934年頃	H25.8×W15.0×D9.0	J's collection
92	四羽のオウサマペンギン	エーリッヒ・オスカー・ヘーゼル	1924-1933年頃	H23.7×W26.5×D13.6	J's collection
93	カモとカエル	アーサー・ランゲ	1901-1923年頃	H14.7×W47.5×D14.4	J's collection
R-5『ドイツの狩猟』				H31.7×W37.4	個人蔵
94	ツバメ	不詳	1820-1920年頃	(各) H10.5×W13.1×D4.6	個人蔵
95	クジャク	コンラート・ヘンチェル	1898-1923年頃	H7.8×W18.2×D6.7	J's collection
96	シロフクロウ	ヘルマン・フリッツ	1908-1923年頃	H20.6×W22.6×D18.0	J's collection
97	果実をくわえたオオハシ	パウル・ヴァルター	1924-1934年頃	H46.5×W24.5×D19.5	個人蔵
98	ヒヨコと雌鶏	パウル・ヴァルター	1926-1934年頃	H37.5×W17.0×D20.3	J's collection
99	カメ	フリッツ・クレッツマー	1904-1923年頃	H9.3×W19.7×D11.0	J's collection
100	蓋物「コイ」	不詳	1850-1870年頃	H5.5×W30.5×D11.1	ロムドシン

No	作品名	作家名	制作年	寸法 (cm)	所蔵
<b>第4章 マックス・エッサーの動物</b>					
101	クモザル	パウル・ヴァルター	1928 - 1934年頃	H29.0×W18.0×D11.0	個人蔵
102	騎乗用ヒトコブラクダ	エーリッヒ・オスカー・ヘーゼル	1939年	H41.0×W46.0×D17.5	個人蔵
103	マントヒヒのマスク	マックス・エッサー	1924 - 1934年頃	H40.0×W54.7×D16.8	個人蔵
104	トラのマスク	マックス・エッサー	1925年以降	H40.0×W47.7×D15.5	個人蔵
105	マンドリルのマスク	マックス・エッサー	1926 - 1934年頃	H33.5×W22.2×D18.8	個人蔵
106	オランウータンのマスク	マックス・エッサー	1929 - 1934年頃	H64.0×W41.5×D14.0	個人蔵
107	クマのマスク	マックス・エッサー	1929 - 1934年頃	H43.3×W38.0×D20.5	個人蔵
108	カワウソ	マックス・エッサー	1927年	H44.1×W26.0×D23.0	個人蔵
109	オシドリ	マックス・エッサー	1921 - 1923年頃	H36.6×W18.6×D15.3	J's collection
110	ライネケのキツネ	マックス・エッサー	1924 - 1934年頃	H92.5×W30.4×D30.5	個人蔵
111	アナグマ (ライネケのキツネ)	マックス・エッサー	1922年	H27.3×W13.5×D14.2	J's collection
112	犬 (ライネケのキツネ)	マックス・エッサー	1924 - 1934年頃	H24.5×W15.5×D10.5	J's collection
113	マントヒヒ (ライネケのキツネ)	マックス・エッサー	1925年	H24.5×W12.7×D17.0	J's collection
114	マントヒヒ (ライネケのキツネ)	マックス・エッサー	20世紀	H25.8×W14.2×D13.0	J's collection
115	オオカミ (ライネケのキツネ)	マックス・エッサー	20世紀	H26.7×W13.9×D12.3	J's collection
116	ボタンインコ付モンキーボウル (ライネケのキツネ)	マックス・エッサー	1924 - 1934年頃	H43.0×W48.5×D37.8	個人蔵
R-6	『国立マイセン磁器製作所 人物像 および群像1919 - 1928 1巻』			H30.0×W21.3	個人蔵

【特別展示貸出作品】

No.	工房名	作品名	寸法 (cm)	制作年
1	ペーター・シュトラング	描かれていない板	H64.5×W49.0×D38.0	1991年
2	オーラフ・フィーバー	クラウン	H9.5×W10.0×D3.7	1996年
3	オーラフ・フィーバー	ミセスイエロー	H8.3×W10.0×D4.8	1996年
4	オーラフ・フィーバー	エバ	H7.8×W11.5×D3.2	1996年
5	オーラフ・フィーバー	ジャズバンド歌手1番 赤	H37.0×W8.7×D8.6	1996年
6	オーラフ・フィーバー	ジャズバンド歌手2番 青	H36.8×W8.7×D8.5	1996年
7	オーラフ・フィーバー	ジャズバンド歌手3番 緑	H36.8×W8.5×D8.5	1996年
8	オーラフ・フィーバー	ジャズバンド歌手	H37.5×W12.0×D12.0	1996年
9	オーラフ・フィーバー	白いヘラキン	H50.7×W38.0×D9.0	1996年
10	オーラフ・フィーバー	捕らえられた鳥	H42.0×W22.5×D22.5	1998年
11	オーラフ・フィーバー	男性	H46.5×W15.5×D13.0	1998年
12	オーラフ・フィーバー	にわとり	H47.5×W15.7×D12.3	1998年
13	オーラフ・フィーバー	アクト1	H43.0×W13.0×D13.0	1999年
14	オーラフ・フィーバー	O.T. (無題)	H40.5×W13.0×D14.0	1999年
15	オーラフ・フィーバー	カラス	H40.7×W13.0×D15.3	1999年
16	オーラフ・フィーバー	女性	H36.0×φ15.5	2000年
17	オーラフ・フィーバー	O.T. (無題)	H31.0×φ16.5	2000年
18	マジョレル	チコリ文キャビネット	H200.0×W222.5×D55.0	1900年頃
19	マジョレル	チコリ文ダイニングテーブル	H70.5×W149.0×D120.0×W331.0	1900年頃
20	マジョレル	チコリ文カップボード	H142.0×W133.0×D47.0	1900年頃
21	ポール・ゴーチェ	サロンチェア(肘掛付)	H107.0×W74.0×D67.0	1900年頃
22	ポール・ゴーチェ	サロンチェア(肘掛付)	H107.0×W74.0×D67.0	1900年頃
23	ポール・ゴーチェ	サロンチェア	H96.0×W52.0×D57.0	1900年頃
24	ポール・ゴーチェ	サロンチェア	H96.0×W52.0×D57.0	1900年頃
25	マイセン	コーヒーセット		20世紀
26	マイセン	コンポート	H40.5×φ24.5	20世紀
27	マイセン	燭台(一対)	H38.3×W26.1×D14.3	19世紀
28	ルネ・ラリック	ひなぎく文皿	H.6.6×φ36.0	1940年頃
29	テレジェンタール	グラスセット		
30	クリストフル	銀食器セット		
31	アハマディ工房(クム)	ベルシャ絨毯	W345×D239	
32		クリスマスデコレーション	可変	
33	マイセン	貼花装飾テーブル「音楽」	H77.0×φ59.0	1840年頃
34	マイセン	樹の下のバックス	H25.2×W21.7×D14.0	19世紀後半
35	マイセン	雄鶏と庭師	H10.3×W8.2×D7.5	1815 - 1923年頃

No.	工房名	作品名	寸法 (cm)	制作年
36	マイセン	紳士とパグ	H13.2×W7.4×D7.4	19世紀
37	マイセン	仮面で遊ぶプット	H13.8×W12.9×D9.8	19世紀
38	マイセン	チェンバロを弾く狐と歌手	H15.3×W25.8×D16.6	19世紀
39	マイセン	金彩飾り皿	H4.8×φ28.0	1924-1934年
40	マジョレル	クレマチス文テーブル	H75.0×φ75.0	1900年頃
41	マジョレル	花文サイドテーブル	H76.0×φ48.0	1900年頃
42	ガレ	はしぼみ文花瓶	H36.0×φ11.5	1895年頃
43	ガレ	蘭文花瓶	H20.7×φ12.8	1900-1904年頃
44	ガレ	鷺文花瓶	H28.9×φ10.7	1900年頃
45	ガレ	あやめ文花瓶	H19.8×W15.5×D13.5	1900年頃
46	ガレ	堆朱屈輪文花瓶	H27.0×φ9.0	1895年頃
47	ガレ	鳥文花瓶	H43.7×φ22.5	1900年頃
48	ドーム	とんぼ文ランプ	H50.2×φ32.0	1904年頃
49	ドーム	木立文花瓶	H49.0×φ14.3	1900-1910年頃
50	ドーム	雪景文花瓶	H49.1×φ18.8	1900-1910年頃
51	デジレ・クリスチャン	孔雀文花瓶	H31.0×φ11.9	1899年

## 雪舟と玉堂一ふたりの里帰り

**会 期** 2021年2月10日(水)－3月14日(日)  
**会 場** 岡山県立美術館2階展示室、地下展示室  
**主 催** 岡山県立美術館、山陽新聞社、RSK山陽放送  
**特別協賛** 東洋重機工業株式会社  
**後 援** 岡山県教育委員会、公益財団法人岡山県郷土文化財団、  
 公益社団法人岡山県文化連盟

### 【趣旨】

雪舟等楊(1420－1506?)は、室町時代の備中赤浜(現・岡山県総社市)出身で、明時代の中国へ渡った画僧である。浦上玉堂(1745－1820)は、江戸時代の岡山城下天神山(現・岡山市北区)に生まれ、琴を奏で書画を制作した文人である。雪舟は10代頃、玉堂は50歳で岡山を離れ、多くの出会いを得ながら日本各地で活躍し、両者とも日本美術史上に巨匠として大きく名を残している。本展は、雪舟生誕600年と玉堂没後200年を記念したものであり、故郷岡山の地で彼らの作品群を紹介する初めての試みであった。

本展では、毛利博物館(山口県防府市)が所蔵する国宝の雪舟《四季山水図巻》全巻を全期間にわたり特別に展示するとともに、国宝7点を含む160点を展観した。これら名品の数々によって、雪舟と玉堂の創意工夫や時代に先駆けた強烈な個性、共通点などを紐解き、来館者に彼らの魅力と水墨画の真髄に触れていただく機会とした。

### 【関連事業】

- 記念講演会「わかってあげよう雪舟と玉堂」  
 日 時：2月13日(土) 13:30－15:00  
 講 師：島尾新氏(学習院大学教授)  
 会 場：2階ホール ※定員180名(事前予約制)
- 講座
  - ・「担当学芸員の語る雪舟」  
 日 時：2月19日(金) 13:30－15:00  
 講 師：八田真理子(学芸員)  
 会 場：2階ホール ※定員180名
  - ・「担当学芸員の語る玉堂」  
 日 時：2月26日(金) 13:30－15:00  
 講 師：守安收(館長)  
 会 場：2階ホール ※定員180名
- 「澆墨ライブパフォーマンス―舞痕淋漓」  
 日 時：2月28日(日)  
 11:00－11:20 / 14:00－14:20  
 出 演：岸本寿男氏(尺八)、  
 環太平洋大学ダンス部(即興ダンス)  
 会 場：中庭 ※椅子45席



ポスター (B2)



ポスター (B3)



パンフレット (A4外)



パンフレット (A4内)

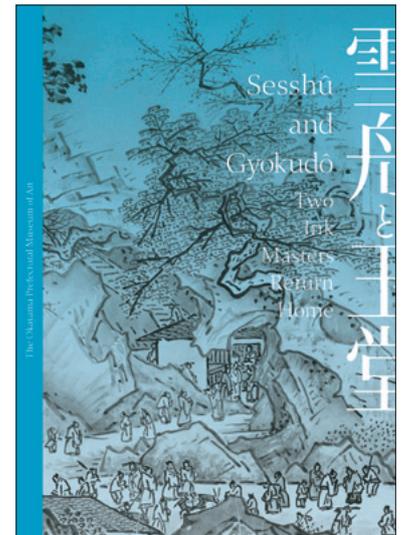
- 創作舞踊公演「旅路の果て—雪舟《山水図》より—」  
&WS「雪舟・玉堂エクササイズ」  
日 時：3月6日（土）10:00-、11:00-、14:00-、  
15:00-  
会 場：2階ホール ※定員70名  
出 演：環太平洋大学ダンス部

【刊行物】

- 展覧会図録
- 玉堂・雪舟キャラクター



玉堂・雪舟キャラクター



展覧会図録 (A4)



会場風景 (地下展示室)



会場風景 (2階展示室)

## 【出品目録】

番号	指定	作家名	賛者ほか	作品名	員数	制作年	所蔵	前期	後期
1		拙宗等揚		山水図	1幅	室町時代（15世紀）	根津美術館	前期	
2		（伝）雪舟等楊	天與清啓賛	湖亭春望図	1幅	室町時代（15世紀）	吉川史料館	前期	
3		拙宗等揚		潑墨山水図	1幅	室町時代（15世紀）	根津美術館		後期
4	重文	拙宗等揚	以参周省・ 伯充寿棟・ 春湖清鑑賛	山水図	1幅	室町時代（15世紀）	正木美術館		後期
5		国宝（伝）周文		水色巒光図	1幅	文安2（1445）年5月賛	奈良国立博物館	前期	
6		拙宗等揚		出山积迦図	1幅	室町時代（15世紀前半）	岡山県立美術館		
7	重文	雪舟等楊		四季山水図	4幅	成化4、5（1468、69）年頃	東京国立博物館	春夏	秋冬
8		孫君沢		劉阮天台図	1幅	元時代（14世紀）	菊屋家住宅保存会		
9		戴進		春冬山水図	2幅	明時代（15世紀）	菊屋家住宅保存会		
10		（伝）雪舟等楊		唐土勝景図巻	1巻	不詳	京都国立博物館		後期
11		岡琴嶽	政和跋	唐土勝景図巻模本	1巻	文政2（1819）年3月序	京都国立博物館	前期	
12		（伝）雪舟等楊		国々人物図巻	1巻	文亀元（1501）年落款	京都国立博物館		
13	重文	雪舟等楊		山水図巻	1巻	文明6（1474）年正月	山口県立美術館	前期	
14	重文	（伝）雪舟等楊		四季山水図巻	1巻	室町時代（15世紀後半）	京都国立博物館		後期
15		雪舟等楊		傲夏珪山水図	1幅	室町時代（15世紀後半）	個人蔵		
16	重文	雪舟等楊		傲梁楷黄初平図	1幅	室町時代（15世紀後半）	京都国立博物館		
17	重文	雪舟等楊		傲玉澗山水図	1幅	室町時代（15世紀後半）	岡山県立美術館		
18	重文	雪舟等楊		傲李唐牧牛図（牧童）	1幅	室町時代（15世紀後半）	山口県立美術館	前期	
19	重文	雪舟等楊		傲李唐牧牛図（渡河）	1幅	室町時代（15世紀後半）	山口県立美術館		後期
20		狩野常信		流書手鑑	1巻	江戸時代中期（17～18世紀）	東京国立博物館	前半	後半
21		（伝）雪舟等楊		山水図（円窓形）	2幅	桃山時代（16世紀）	岡山県立美術館		
22	重文	雪舟等楊	竹心周鼎賛	益田兼堯像	1幅	文明11（1479）年11月15日賛	益田市立 雪舟の郷記念館		
23		（伝）雪舟等楊		束帯天神図	1幅	明応2（1493）年落款	山口県立美術館		
24		雪舟等楊		渡唐天神図	1幅	文亀元（1501）年落款	岡山県立美術館		
25	国宝	雪舟等楊		慧可断臂図	1幅	明応5（1496）年	愛知県・齊年寺		
26	国宝	雪舟等楊		秋冬山水図	2幅	室町時代（15世紀後半）	東京国立博物館	前期	
27	国宝	雪舟等楊	月翁周鏡ほか 5僧賛	破墨山水図	1幅	明応4（1495）年3月自序	東京国立博物館		後期
28		雪舟等楊		宗淵宛書状・山水図	1幅	書状—明応9（1500）年 11月22日、山水図—不詳	梅澤記念館		
29		如水宗淵		山水図	1幅	室町時代（15～16世紀）	岡山県立美術館		
30	重文	（伝）雪舟等楊		四季花鳥図屏風	6曲1双	室町時代（15世紀後半）	京都国立博物館	前期	
31		雲谷等益		花鳥図屏風	6曲1双	江戸時代初期（17世紀前半）	京都府・東福寺		後期
32	国宝	雪舟等楊	以参周省・ 了庵桂悟賛	山水図	1幅	永正4（1507）年3月2日賛	個人蔵		
33	国宝	雪舟等楊		四季山水図巻	1巻	文明18（1486）年12月	毛利博物館		
34	重文	玉澗		廬山図	1幅	南宋時代末～元時代初（13世紀）	岡山県立美術館		
35		秋月等観		山水図	1幅	室町時代（15～16世紀）	岡山県立美術館		
36		惟馨周徳		破墨山水図	1幅	室町時代（16世紀）	岡山県立美術館		
37		富岡鉄斎		雪舟像	1幅	明治時代（19世紀後半）	岡山県立美術館		
38	重文	（伝）高然暉		山水図	2幅	朝鮮王朝時代（15～16世紀）	京都府・金地院		

番号	指定	作家名	賛者ほか	作品名	員数	制作年	所蔵	前期	後期
39		雪村周継		瀟湘八景図屏風	6曲1双	室町時代～桃山時代（16世紀）	岡山県立美術館		
40		浦上玉堂		山廻路轉図屏風	4曲1隻	文化12（1815）年秋	個人蔵		
41		浦上玉堂		幽谷訪隠図	1幅	江戸時代後期（19世紀初期）	個人蔵		
42		浦上玉堂		山水図（飛驒山中作）	1幅	文化5（1808）年	個人蔵		
44		浦上玉堂		山霊出雨図	1幅	江戸時代後期（19世紀初期）	個人蔵		
45	重文	浦上玉堂		煙霞帖	1帖	文化8（1811）年頃	梅澤記念館		
46		浦上春琴		凍雲欲雪図	1幅	文化14（1817）年10月	岡山県立美術館		
47		浦上春琴		山水図（春琴帖）	2帖	天保2（1831）年6～7月	岡山県立美術館		
48		浦上玉堂製		七絃琴	1張	天明6（1786）年1月	財団法人 正宗文庫		
49		浦上玉堂製		七絃琴	1張	寛政元（1789）年2月	林原美術館		
50		浦上玉堂		三字「音一発」	1面	江戸時代後期（18世紀末期）	岡山県立博物館		
51		浦上春琴		浦上玉堂像	1幅	文化10（1813）年	岡山県立美術館		
52		浦上玉堂		玉堂琴譜	1冊	寛政3（1791）年	財団法人 正宗文庫		
53		浦上玉堂		書状（梶川七郎兵衛・鹿本屋吉左衛門宛）	1紙	寛政元、2（1789、90）年頃	個人蔵		
54		浦上玉堂		玉堂琴譜後集草稿	1冊	江戸時代後期（18世紀末期～19世紀初期）	岡山県立美術館		
55		浦上玉堂		玉堂雜記草稿	1冊	江戸時代後期（18世紀末期～19世紀初期）	岡山県立美術館		
56		浦上玉堂		玉堂琴士集前集	1冊	寛政6（1794）年	財団法人 正宗文庫		
57		浦上玉堂		玉堂琴士集後集	1冊	寛政9（1797）年	財団法人 正宗文庫		
58		浦上玉堂		溪行覓句図・七言絶句	2幅	江戸時代後期（19世紀初期）	個人蔵		
59		浦上玉堂		鳳兮君贈琴記・夏山欲雨図	1幅	文化12（1815）年2月	個人蔵		
60		浦上玉堂		南山壽卷	1卷	天明7（1787）年10月	個人蔵		
61		浦上玉堂		南村訪雪図	1幅	江戸時代後期（18世紀末期）	岡山県立博物館		
62		浦上玉堂		二字「草亭」	1面	天明元（1781）年3月	個人蔵		
63		浦上玉堂		天秋古泉響図	1幅	江戸時代後期（18世紀末期）	個人蔵		
64		浦上玉堂		二字「心静」	1面	江戸時代後期（18世紀末期）	岡山県立美術館		
65		浦上玉堂		北遊草	1帖	寛政元（1789）年5月	個人蔵		
66		浦上玉堂		山水図（扇面形）	1幅	寛政元（1789）年秋	個人蔵		
67		浦上玉堂		秋山晚釣図・隸書南風歌	1面	江戸時代後期（18世紀末期）	個人蔵		
68	重文	浦上玉堂		山中結廬図	1幅	寛政4（1792）年	東京国立博物館		
69		浦上玉堂		書状（梶原藍渠宛）	1幅	寛政4、5（1792、93）年頃	岡山県立博物館		
70		浦上玉堂		秋山返景図	1幅	寛政6（1794）年頃	個人蔵		
71		浦上玉堂		墨石図	1幅	寛政6（1794）年頃	個人蔵		
72		浦上玉堂		層巒浦秋図	1幅	寛政6（1794）年頃	個人蔵		
73		浦上玉堂		仙山鳴鶴図	1幅	江戸時代後期（18世紀末期）	個人蔵		
74		浦上玉堂・浦上秋琴		山水画帖	1帖	寛政8（1796）年頃	個人蔵		
75		浦上秋琴	浦上玉堂賛	山水図	1幅	寛政7（1795）年	個人蔵		
76		浦上玉堂・浦上春琴・浦上秋琴他		諸家寄書 玉堂琴囊	2幅	寛政10（1798）年	岡山県立美術館		

番号	指定	作家名	賛者ほか	作品名	員数	制作年	所蔵	前期	後期
77		浦上玉堂		山郵読書図	1幅	江戸時代後期（19世紀初期）	個人蔵		
78	重美	浦上玉堂		深林絶壁図	1幅	江戸時代後期（19世紀初期）	個人蔵	前期	
79		浦上玉堂		遠隔人關図	1幅	江戸時代後期（19世紀初期）	個人蔵		
80		浦上玉堂		寒巖林松図	1幅	江戸時代後期（19世紀初期）	個人蔵	前期	
81		浦上玉堂添書		器局	1台	文化元（1804）年夏書	林原美術館		
82		浦上玉堂		書状（大塚荷溪宛）	1幅	江戸時代後期（19世紀初期）	個人蔵		
83		浦上玉堂		耽佳亭	1幅	享和2（1802）年秋	個人蔵		
84		浦上玉堂		緑陰亭	1面	江戸時代後期（19世紀初期）	梅澤記念館		
85		浦上玉堂		絵入詩書 山光濃澹図	1幅	文化3（1806）年春	個人蔵		
86		浦上玉堂		七絃琴および関連資料	1帳ほか	文化3（1806）年夏、 文化13（1816）年3月ほか	個人蔵		
87		浦上玉堂		風雨釣艇図	1幅	文化5（1808）年頃	個人蔵		
88		浦上玉堂		幽泉自琴聲図	1幅	江戸時代後期（19世紀初期）	個人蔵		
89		浦上玉堂		雲蒸寒潭図	1幅	江戸時代後期（19世紀初期）	個人蔵		後期
90	重美	浦上玉堂		寒林間處図	1幅	江戸時代後期（19世紀初期）	個人蔵		
91		浦上玉堂		窟室蕭然図	1幅	江戸時代後期（19世紀初期）	個人蔵		
92		浦上玉堂		野橋可立図	1幅	江戸時代後期（19世紀初期）	個人蔵		
93		浦上玉堂		關日微陰図	1幅	江戸時代後期（19世紀初期）	愛知県美術館 （木村定三コレクション）		後期
94	重文	浦上玉堂		山雨染衣図	1幅	江戸時代後期（19世紀初期）	個人蔵		
95	国宝	浦上玉堂		東雲篩雪図	1幅	江戸時代後期（19世紀初期）	公益財団法人 川端康成記念会		
96		浦上玉堂		静見秋山図	1幅	江戸時代後期（19世紀初期）	個人蔵		
97		浦上玉堂	武元登々庵賛	林中読易図	1幅	江戸時代後期（19世紀初期）	個人蔵		
98		浦上玉堂		山澗読易図	1幅	江戸時代後期（19世紀初期）	岡山県立美術館		
99	重美	浦上玉堂		山翁嘯咏図	1幅	江戸時代後期（19世紀初期）	個人蔵	前期	
100		浦上玉堂		幽林間適図	1幅	江戸時代後期（19世紀初期）	個人蔵	前期	
101		浦上玉堂		山月抱琴図	1幅	江戸時代後期（19世紀初期）	個人蔵		後期
102		浦上玉堂		雲山静望図	1幅	江戸時代後期（19世紀初期）	個人蔵		後期
103		浦上玉堂		山高水長図	1幅	文化9（1812）年頃	岡山県立美術館		
104		浦上玉堂		秋山晚晴図	1幅	江戸時代後期（19世紀初期）	個人蔵		
105		浦上玉堂		青松丹壑図	1幅	江戸時代後期（19世紀初期）	東京藝術大学		
106		浦上玉堂		雲結莫陰図	1幅	江戸時代後期（19世紀前半）	個人蔵		
107		浦上玉堂		担雲閣雨図	1幅	文化11（1814）年3月	個人蔵		
108		浦上玉堂		欲雨欲晴図	1幅	文化11（1814）年頃	個人蔵		
109		浦上玉堂		春山染雨図	1幅	江戸時代後期（19世紀前半）	岡山県立美術館		
110		浦上玉堂		卓然精明図	1幅	江戸時代後期（19世紀前半）	個人蔵		
111	重美	浦上玉堂		疎松曲水図	1幅	江戸時代後期（19世紀前半）	岡山県立美術館		後期
112		浦上玉堂		琴写澗泉図	1幅	文化12（1815）年秋	岡山県立美術館	前期	
113		浦上玉堂		野橋曳杖図	1幅	文化12（1815）年	個人蔵		
114		浦上玉堂		奇峰秋色図	1幅	文化12（1815）年頃	林原美術館		
115		浦上玉堂		秋山吟嘯図	1幅	江戸時代後期（19世紀前半）	個人蔵		

番号	指定	作家名	賛者ほか	作品名	員数	制作年	所蔵	前期	後期
116	重文	浦上玉堂		山紅於染図	1幅	江戸時代後期（19世紀前半）	愛知県美術館 （木村定三コレクション）		後期
117		浦上玉堂		月晴山更静・ 独望平遠図	1幅	江戸時代後期（19世紀前半）	愛知県美術館 （木村定三コレクション）	前期	
118		浦上玉堂		平遠奇峯図	1幅	江戸時代後期（19世紀前半）	岡山県立美術館		後期
119		浦上玉堂		白雲横秋図	1幅	文化11（1814）年頃	東京黎明アート ルーム		
120		浦上玉堂		高下数家図	1幅	江戸時代後期（19世紀前半）	愛知県美術館 （木村定三コレクション）		後期
121		浦上玉堂		雲山模糊図	1幅	江戸時代後期（19世紀前半）	個人蔵		
122		浦上玉堂		雲山模糊図	1幅	江戸時代後期（19世紀前半）	愛知県美術館 （木村定三コレクション）	前期	
123		浦上玉堂		晴夏晚雲図	1幅	江戸時代後期（19世紀前半）	個人蔵		後期
124		浦上玉堂		煙波釣徒図	1幅	江戸時代後期（19世紀前半）	個人蔵		後期
125		浦上玉堂		白雲半断図	1幅	江戸時代後期（19世紀前半）	個人蔵		後期
126		浦上玉堂		圓中書画 （雲烟模糊図ほか）	1幅	江戸時代後期（19世紀前半）	個人蔵		
127		浦上玉堂		圓中書画 （恣動得魚図ほか）	1幅	文政2（1819）年頃	個人蔵		
128	重文	浦上玉堂		秋色半分図	1幅	文政元（1818）年	愛知県美術館 （木村定三コレクション）	前期	
129	重文	浦上玉堂		醉雲醒月図	1幅	文政元（1818）年	愛知県美術館 （木村定三コレクション）	前期	
130	重文	浦上玉堂		深山渡橋図	1幅	文政元（1818）年	愛知県美術館 （木村定三コレクション）	前期	
131	重文	浦上玉堂		隸體章句	1幅	文政元（1818）年	愛知県美術館 （木村定三コレクション）	前期	
132		浦上玉堂		耳得為聲図 （風月帖のうち）	1帖	文政2（1819）年	財団法人 河田病院 狸庵文庫美術館		
133		浦上玉堂		懸崖絶壁図	1幅	文政2（1819）年	個人蔵		
134		浦上玉堂		草書掃俗語句	1幅	文化11（1814）年頃	個人蔵		
135		浦上玉堂絵付		提重	1具	江戸時代後期（19世紀）	岡山県立美術館		
136		浦上玉堂所用		印章	6顆	江戸時代後期（18～19世紀）	岡山県立美術館		
137		浦上春琴		前山図	1幅	文化4（1807）年6月	一般財団法人 文人画研究会		
138		浦上春琴		花鳥図	1幅	文化5（1808）年夏	個人蔵		
139		浦上春琴		江上漁楽図	1幅	文化6（1809）年2月	個人蔵		
140		浦上春琴		山水画帖	2帖	文化6（1809）年夏	岡山県立美術館		
141		浦上春琴		唐美人図 （浦上春琴・武元 登々庵等詩画卷のうち）	1巻	文化11(1814)年か	岡山県立博物館		
142		浦上春琴	武元登々庵賛	養老観瀑図	1幅	文化14（1817）年12月	個人蔵		
143		浦上春琴	後藤漆谷・ 頼春水・ 頼山陽賛	平安第一楼会集図	1幅	文化10（1813）年4月	個人蔵		

番号	指定	作家名	贄者ほか	作品名	員数	制作年	所蔵	前期	後期
144		浦上春琴		高雄紅葉画賛卷	1卷	天保4(1833)年10月	個人蔵		
145		浦上春琴		四時草花図	1幅	文政10(1827)年3月	岡山県立博物館		
146		浦上春琴		名華鳥蟲図	1幅	文政4(1821)年2月	岡山県立美術館		
147		浦上春琴		果蔬海客図	1幅	天保3(1832)年以前	個人蔵		
148		浦上春琴		花鳥図	1幅	天保8(1837)年6月	東京藝術大学		
149		浦上春琴		秋艶野禽図	1幅	天保15(1844)年4月	個人蔵		
150		浦上春琴		僊山清暁図	1幅	天保15(1844)年4月	岡山県立美術館		
151		浦上春琴所用		印章	56顆のうち	江戸時代後期(18~19世紀)	岡山県立美術館		
152		浦上秋琴		山水図	1紙	寛政9(1797)年	個人蔵		
153		浦上秋琴		三伏涼語山水図	1幅	江戸時代後期(19世紀前半)	個人蔵		
154		浦上秋琴		小禽蹴花図扇	1柄	江戸時代後期(19世紀)	岡山県立美術館		
155		浦上秋琴		椿に鶏図	1幅	安政3(1856)年3月	岡山県立美術館		
156		浦上春琴		蜀栈道図	1幅	江戸時代後期(19世紀前半)	一般財団法人 文人画研究会		
157		浦上秋琴		蜀栈道図	1幅	安政3(1856)年秋	一般財団法人 文人画研究会		
158		浦上秋琴		白衣観音山水図	1幅	安政2(1855)年夏	岡山県立美術館		
159		浦上秋琴		寒窓清興図	1幅	慶応3(1867)年8月	一般財団法人 倉敷 山田コレクション		
160		浦上秋琴		山水図(散歩多勝遊)	1幅	明治3(1870)年3月	岡山県立美術館		
特別 出品		浦上玉堂		江村雪晩図	1幅	江戸時代後期(19世紀初期)	個人蔵		
書院		秋月等観		白鷺図	2幅	室町時代(15~16世紀)	岡山県立美術館		



## 4. 館蔵品貸出状況

(古書画・日本画)

作者名	作品名	貸出先	展覧会名	会期
浦上 玉堂	山澗読易図	東京都江戸東京博物館 山口県立美術館 あべのハルカス美術館	奇才 ―江戸絵画の冒険者たち―	2020年 4月25日(土) - 6月21日(日) 2020年 7月 7日(火) - 8月30日(日) 2020年 9月12日(土) - 11月 8日(日)
浦上 玉堂	山高水長図	東京都江戸東京博物館 山口県立美術館 あべのハルカス美術館	奇才 ―江戸絵画の冒険者たち―	2020年 4月25日(土) - 6月21日(日) 2020年 7月 7日(火) - 8月30日(日) 2020年 9月12日(土) - 11月 8日(日)
小野 竹喬	ヨウシュヤマゴボウ	京都府立堂本印象美術館	小野竹喬・春男 ―父と息子の切ない物語―	2020年10月 6日(火) - 11月23日(月)
小野 竹喬	一本の木	京都府立堂本印象美術館	小野竹喬・春男 ―父と息子の切ない物語―	2020年10月 6日(火) - 11月23日(月)
小野 竹喬	夕茜	京都府立堂本印象美術館	小野竹喬・春男 ―父と息子の切ない物語―	2020年10月 6日(火) - 11月23日(月)
岸田 劉生	春日遊戯図	一般財団法人調布市武者 小路実篤記念館	『白樺』創刊110年 美術への情熱 ―160冊に込めた思い―	2020年10月17日(土) - 11月29日(日)

(洋画)

作者名	作品名	貸出先	展覧会名	会期
原田 直次郎	上野東照宮	香川県立ミュージアム 久留米市立美術館 高梁市成羽美術館	白馬のゆくえ： 小林萬吾とたどる日本洋画50年	2020年 4月11日(土) - 6月 7日(日) 2020年 6月20日(土) - 8月23日(日) 2020年 9月 5日(土) - 11月29日(日)
満谷 国四郎	木々の秋	香川県立ミュージアム 久留米市立美術館 高梁市成羽美術館	白馬のゆくえ： 小林萬吾とたどる日本洋画50年	2020年 4月11日(土) - 6月 7日(日) 2020年 6月20日(土) - 8月23日(日) 2020年 9月 5日(土) - 11月29日(日)
松岡 壽	ピエトロ・ミカの服装の男	兵庫県立美術館	兵庫県立近代美術館→兵庫県立美術館 開館50周年 超・名品展	2020年 4月11日(土) - 6月 7日(日)
国吉 康雄	祭りは終わった	兵庫県立美術館	兵庫県立近代美術館→兵庫県立美術館 開館50周年 超・名品展	2020年 4月11日(土) - 6月 7日(日)
佐藤 一章	陶工	やかげ郷土美術館	佐藤一章の軌跡 ―代表作から新収蔵作品まで―	2020年 8月29日(土) - 10月25日(日)
佐藤 一章	静物	やかげ郷土美術館	佐藤一章の軌跡 ―代表作から新収蔵作品まで―	2020年 8月29日(土) - 10月25日(日)
佐藤 一章	伊豆山風景	やかげ郷土美術館	佐藤一章の軌跡 ―代表作から新収蔵作品まで―	2020年 8月29日(土) - 10月25日(日)
原田 直次郎	素戔鳴尊八岐大蛇退治画稿	群馬県立館林美術館 島根県立石見美術館	生誕150年 大下藤次郎と水絵の系譜	2020年10月10日(土) - 12月13日(日) 2020年12月25日(金) ―2021年 2月20日(土)―
原田 直次郎	庭	群馬県立館林美術館 島根県立石見美術館	生誕151年 大下藤次郎と水絵の系譜	2020年10月10日(土) - 12月13日(日) 2020年12月25日(金) ―2021年 2月20日(土)―
満谷 国四郎	フランス風景	群馬県立館林美術館 島根県立石見美術館	生誕152年 大下藤次郎と水絵の系譜	2020年10月10日(土) - 12月13日(日) 2020年12月25日(金) ―2021年 2月20日(土)―
満谷 国四郎	竹林	群馬県立館林美術館 島根県立石見美術館	生誕153年 大下藤次郎と水絵の系譜	2020年10月10日(土) - 12月13日(日) 2020年12月25日(金) ―2021年 2月20日(土)―
高山 始	牛のいる家	勝央美術文学館	生誕100年 高山始展	2020年10月10日(土) - 11月 8日(日)
原田 直次郎	風景	徳島県立近代美術館	開園30周年記念 「ドイツ 20世紀 アート」 ―人・対話・みらい― ～フロイデ! ドイツ・ニーダーザクセン州友好展覧会～	2020年10月17日(土) - 12月 6日(日)
岡本 唐貴	夜の静物	倉敷市立美術館	画家・岡本唐貴の誕生 100年記念	2020年11月14日(土) - 12月20日(日)
岡本 唐貴	神戸灘風景	倉敷市立美術館	画家・岡本唐貴の誕生 100年記念	2020年11月14日(土) - 12月20日(日)

(彫刻・工芸)

作者名	作品名	貸出先	展覧会名	会期
金重 陶陽	三角播座花入	兵庫陶芸美術館 愛知県陶磁美術館	The備前一土と炎から生まれる造形美—	2020年 3月 7日(土)－ 7月26日(日) 2020年 8月 8日(土)－ 9月27日(日)
伊勢崎 淳	角花生	兵庫陶芸美術館 愛知県陶磁美術館	The備前一土と炎から生まれる造形美—	2020年 3月 7日(土)－ 7月26日(日) 2020年 8月 8日(土)－ 9月27日(日)
金重 晃介	聖衣	兵庫陶芸美術館 愛知県陶磁美術館	The備前一土と炎から生まれる造形美—	2020年 3月 7日(土)－ 7月26日(日) 2020年 8月 8日(土)－ 9月27日(日)
金重 陶陽	備前緋襷花器	兵庫陶芸美術館 愛知県陶磁美術館	The備前一土と炎から生まれる造形美—	2020年 3月 7日(土)－ 7月26日(日) 2020年 8月 8日(土)－ 9月27日(日)
金重 陶陽	四方平鉢 銘 冬の月	兵庫陶芸美術館 愛知県陶磁美術館	The備前一土と炎から生まれる造形美—	2020年 3月 7日(土)－ 7月26日(日) 2020年 8月 8日(土)－ 9月27日(日)
金重 陶陽	閑谷焼伏せ獅子香合	備前市立 備前焼ミュージアム	閑谷ゆかりのやきもの	2020年 9月30日(水)－11月23日(月)
金重 陶陽	閑谷写紅葉銘々皿	備前市立 備前焼ミュージアム	閑谷ゆかりのやきもの	2020年 9月30日(水)－11月23日(月)
金重 陶陽	中央アジアスザニ(刺繍布)03	広島県立美術館	中央アジアの刺繍 ～スザニ #乙嫁たちの手仕事	2020年10月 1日(木)－12月24日(木)
金重 陶陽	中央アジアスザニ(刺繍布)07	広島県立美術館	中央アジアの刺繍 ～スザニ #乙嫁たちの手仕事	2020年10月 1日(木)－12月24日(木)

## 5. 入館者数一覧

### (1) 令和2年度月別入館者数

令和3年3月31日現在

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
岡山の美術展のみ		13	21	25	25	0	2	8	3	4	0	0	10	111
企画展		0	0	0	0	31	27	19	25	20	24	18	12	176
小計(A)		13	21	25	25	31	29	27	28	24	24	18	22	287
休館日数		17	10	5	6	0	1	4	2	7	7	10	9	78
岡山の美術展のみ	有料	103	250	373	496	227	71	502	285	137	0	27	90	2,561
	無料	106	160	312	376	119	39	423	709	209	0	41	159	2,653
	小計	209	410	685	872	346	110	925	994	346	0	68	249	5,214
特別展のみ	有料	0	0	0	0	8,965	7,085	2,960	3,990	1,577	2,827	8,866	8,713	44,983
	無料	0	0	0	0	3,724	2,817	3,549	3,924	863	1,706	2,458	3,017	22,058
	小計	0	0	0	0	12,689	9,902	6,509	7,914	2,440	4,533	11,324	11,730	67,041
(両方)	無料	(0)	(0)	(0)	(0)	(1,994)	(873)	(2,348)	(2,184)	(714)	(0)	(11,009)	(11,446)	(30,568)
総計	有料	103	250	373	496	9,192	7,156	3,462	4,275	1,714	2,827	8,893	8,803	47,544
	無料	(106) 106	(160) 160	(312) 312	(376) 376	(5,837) 3,843	(3,729) 2,856	(6,320) 3,972	(6,817) 4,633	(1,786) 1,072	(1,706) 1,706	(13,508) 2,499	(14,622) 3,176	(55,279) 24,711
	合計(B)	(209) 209	(410) 410	(685) 685	(872) 872	(15,029) 13,035	(10,885) 10,012	(9,782) 7,434	(11,092) 8,908	(3,500) 2,786	(4,533) 4,533	(22,401) 11,392	(23,425) 11,979	(102,823) 72,255
平均(B/A)		(16) 16	(20) 20	(27) 27	(35) 35	(485) 420	(375) 345	(362) 275	(396) 318	(146) 116	(189) 189	(1,245) 633	(1,065) 545	(358) 252
累計		(209) 209	(619) 619	(1,304) 1,304	(2,176) 2,176	(17,205) 15,211	(28,090) 25,223	(37,872) 32,657	(48,964) 41,565	(52,464) 44,351	(56,997) 48,884	(79,398) 60,276	(102,823) 72,255	(102,823) 72,255

( ) は両方を含めた人数

新型コロナウイルス緊急事態宣言に伴い4/26-5/6臨時休館

(2) 令和2年度特別展入館者一覧表

展覧会の名称	会期 日数 (日)	開館 日数 (日)	休館 日数 (日)	有料 入館者数 (人)	無料 入館者数 (人)	合計 (人)	累計 (人)	1日平均 (人)
高畑勲展 —日本のアニメーションに遺したもの 前期:2020年8月1日(土)–9月8日(火) 後期:9月19日(土)–27日(日)	46	46	0	16,050	6,541	22,591	22,591	491
The 備前—土と炎から生まれる造形美— 10月10日(土)–11月8日(日)	29	26	3	4,588	6,130	10,718	33,309	412
第67回日本伝統工芸展岡山展 11月13日(金)–11月29日(日)	17	17	0	2,362	1,343	3,705	37,014	218
マイセン動物園展 12月5日(土)–2021年1月31日(日)	58	44	14	4,404	2,569	6,973	43,987	158
雪舟と玉堂—ふたりの里帰り 2月10日(水)–3月14日(日)	33	30	3	17,579	5,475	23,054	67,041	768
合 計	183	163	20	44,983	22,058	67,041		

# 教育普及事業

## 1. こんにちは美術館事業

本事業は「展示室へ誘い、作品や美術に対する理解を深める」「美術館の機能や役割に対する理解を促す」ことを目的としている。「つくる（制作）」「みる（鑑賞）」に関わる活動を中心に実施し、美術や美術館に親しんでもらえるよう努めている。

本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4-6月の事業は中止し、7月以降に感染防止対策を講じて順次再開した。

### 1-1 各種講座等

#### (1) 令和2年度 美術館講座

当館学芸員が講師となり、美術や展覧会に関して一步踏み込んだ講座を実施している。

日程	展覧会名	題目	講師	会場	参加人数
10月17日(土) 14:00-15:30	岡山の美術 赤松麟作展	赤松麟作の歩みについて	廣瀬就久(主任学芸員)	地下1階講義室	19人

#### (2) 令和2年度 美術の夕べ/音楽の夕べ

仕事や学校帰りの方に立ち寄ってもらえるよう、夜間開館日にフロアレクチャーやギャラリーコンサート等の事業を実施している。

日程	題目、テーマ等	講師	会場	参加人数
4月24日(金) 18:30-19:00	美術の夕べ 「令和おとぎ草子 桃太郎 KAMISHI by 松井えり菜」 フロアレクチャー ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	古川文子(学芸員)	2階展示室	
8月28日(金) 18:00-18:30	音楽の夕べ 「Drawing Melodies ～響き合う表現～」	トヤマタケオ氏(ピアノ) 当真伊都子氏(ピアノ、ボーカル)	2階展示室他	70人
12月25日(金) 18:00-	音楽の夕べ 「クリスマスミュージアムコンサート」	上月真子氏・大森由理氏(オーボエ奏者)他	地下1階展示室	40人



Drawing Melodies ～響き合う表現～



クリスマスミュージアムコンサート

#### (3) 令和2年度 展覧会関連講座・講演会・フロアレクチャー

外部講師や当館学芸員によって、各展覧会をより深く理解してもらうことをねらいとして実施している。

日程	展覧会名	題目、テーマ等	講師	会場、定員等	参加人数
4月12日(日) 14:00-15:30	特別展 高畑勲展	記念講演会 「高畑勲の革新的アニメーション演出術—『火垂るの墓』を中心に」 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	叶精二氏 (映画研究家・亜細亜大学講師)	2階ホール 定員210人 (当日先着順)	
4月25日(土) 14:00-	岡山の美術 令和おとぎ草子 桃太郎 KAMISHI by 松井えり菜	記念演奏会feat.若獅子会 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	若獅子会(囃子演奏家)	2階ホール 定員210人 (当日先着順)	
8月7日(金) 16:00-16:30	岡山の美術 第3期	ミュージアムコンサート	上月真子氏(オーボエ)、 岡山城東高等学校管弦楽部 (指揮:定金麻衣子氏)	中庭	30人
8月14日(金) 16:00-16:30	岡山の美術 第3期	ミュージアムコンサート	次松大助氏(ピアノ)	2階展示室他	60人

日程	展覧会名	題目、テーマ等	講師	会場、定員等	参加人数
8月21日(金) 16:00-16:30	岡山の美術 第3期	ミュージアムコンサート	都カルテット: 西室伸也氏(ソプラノサクソフォン)、 細川由佳氏(アルトサクソフォン)、 水川史織氏(テナーサクソフォン)、 今田学氏(バリトンサクソフォン)	2階展示室他	60人
10月3日(土) 14:00-15:30	岡山の美術 赤松麟作展	記念講演会 「赤松麟作と大阪の近代洋画」	熊田司氏(美術史家、和歌山県立 近代美術館前館長)	2階ホール 105人 (当日先着順)	36人
10月11日(日) 13:30-16:00	特別展 The 備前一土と炎から 生まれる造形美一	基調講演&特別対談 基調講演「備前焼の魅力と作風の 展開—桃山から現代まで—」	基調講演:唐澤昌宏氏(国立工芸 館館長・本展監修者) 特別対談:隠崎隆一氏(出品作家・ 岡山県重要無形文化財 保持者)、唐澤昌宏氏	2階ホール 100人 (事前申込制)	122人
10月17日(土) 11:00-12:00	特別展 The 備前一土と炎から 生まれる造形美一	アーティスト・トーク	伊勢崎淳氏(出品作家・重要無形 文化財保持者)	2階ホール 100人 (事前申込制)	120人
10月25日(日) 13:30-16:00	特別展 The 備前一土と炎から 生まれる造形美一	備前焼フォーラム 第1部「各窯業地からみた備前焼」 第2部「備前焼のこれからを考える」	第1部・第2部パネリスト: 松崎裕子氏(益子陶芸美術館学芸員)、 市来真澄氏(山口県立萩美術館・浦 上記念館学芸員)、 マルテル坂本牧子氏(兵庫陶芸美 術館学芸員) 第2部パネリスト: 伊勢崎創氏、矢部俊一氏、伊勢崎晃 一朗氏(出品作家) 進行:福富幸(学芸課長)	2階ホール 100人 (事前申込制)	110人
10月31日(土) 11:00-12:00、 14:00-15:00	特別展 The 備前一土と炎から 生まれる造形美一	アーティスト・トーク	金重晃介氏(出品作家・岡山県重 要文化財保持者)	地下1階講義室 各回30人 (事前申込制)	11:00-/43人 14:00-/32人
11月1日(日) 11:00-12:00、 14:00-15:00	特別展 The 備前一土と炎から 生まれる造形美一	アーティスト・トーク	金重有邦氏(出品作家・岡山県重 要無形文化財保持者)	地下1階講義室 各回30人 (事前申込制)	11:00-/50人 14:00-/60人
11月8日(日) 11:00-12:00、 14:00-15:00	特別展 The 備前一土と炎から 生まれる造形美一	アーティスト・トーク	島村光氏(出品作家・岡山県重要 無形文化財保持者)	地下1階講義室 各回30人 (事前申込制)	11:00-/55人 14:00-/60人
11月8日(日) 11:00-	岡山の美術 第十回I氏賞受賞作家展 Spur その先にある風景	アーティスト・トーク	小林正秀氏、中原幸治氏、金孝妍 氏、吉行鮎子氏(出品作家)	2階ホール	40人
11月13日(金) 11:00-12:00	特別展 第67回日本伝統工芸 展岡山展	伝統工芸に親しむ(協力:日本工芸 会中国支部) 「木工芸についてのお話」	小椋芳之氏・重松次壽氏 (木工作家)	地下1階講義室 50人 (当日先着順)	31人
11月15日(日) 13:30-14:30	特別展 第67回日本伝統工芸 展岡山展	伝統工芸に親しむ(協力:日本工芸 会中国支部) 「漆芸についてのお話」	小松原賢次氏・塩津容子氏 (漆芸作家)	地下1階講義室 50人 (当日先着順)	47人
11月22日(日) 13:30-14:30	特別展 第67回日本伝統工芸 展岡山展	伝統工芸に親しむ(協力:日本工芸 会中国支部) 「染織についてのお話」	佐藤常子氏(染織作家)	地下1階講義室 50人 (当日先着順)	47人
11月23日(月・祝) 13:30-	特別展 第67回日本伝統工芸 展岡山展	特別作品解説会(陶芸)	神農巖氏(本展監査委員) 伊勢崎創氏(備前焼作家)	2階ホール 200人 (当日先着順)	50人
12月5日(土) 13:30-15:00	特別展 マイセン動物園展	記念講演会 「動物表現を通して知るマイセン 磁器の様式」	岩井美恵子氏(パナソニック汐留 美術館学芸員)	2階ホール 100人 (事前申込制)	51人
12月25日(金) 14:00-	特別展 マイセン動物園展	クリスマスコンサート	上月真子氏 大森由理氏(オーボエ奏者)	地下1階展示室	60人
2021年 1月10日(日) 14:00-	第2回みんなの参観日 図工の時間・美術の時 間—子どもの学び—	座談会 「地域社会と連携した“学校、そし て美術の時間”」	杉本正章氏(瀬戸内市立邑久中学 校指導教諭) 平田朝一氏(玉野市立宇野中学校 指導教諭) 進行:岡本裕子(主任学芸員)	屋内広場 10人 (事前申込先着順)	10人

日程	展覧会名	題目、テーマ等	講師	会場、定員等	参加人数
2月13日(土) 13:30-15:00	特別展 雪舟と玉堂一ふたりの里帰り	記念講演会 「わかってあげよう雪舟と玉堂」	島尾新氏(学習院大学教授)	2階ホール 180人 (事前申込制)	180人
2月19日(金) 13:30-15:00	特別展 雪舟と玉堂一ふたりの里帰り	講座 「担当学芸員が語る雪舟」	八田真理子(学芸員)	2階ホール 180人 (当日先着順)	100人
2月26日(金) 13:30-15:00	特別展 雪舟と玉堂一ふたりの里帰り	講座 「担当学芸員が語る玉堂」	守安収(館長)	2階ホール 180人 (当日先着順)	115人
2月28日(日) 11:00- 14:00-	特別展 雪舟と玉堂一ふたりの里帰り	「澆墨ライブパフォーマンス—舞痕淋漓—」	岸本寿男氏(尺八奏者) 環太平洋大学ダンス部	屋外広場 各回椅子席45席	11:00-/100人 14:00-/100人
3月6日(土) 10:00- 11:00- 14:00- 15:00-	特別展 雪舟と玉堂一ふたりの里帰り	創作舞踊公演 「旅路の果て—雪舟《山水図》より—」&WS「雪舟・玉堂エクササイズ」	環太平洋大学ダンス部	2階ホール 各回70人 (当日先着順)	10:00-/50人 11:00-/35人 14:00-/60人 15:00-/55人



「『夜汽車』から始まる画業 赤松麟作展」  
記念講演会



「The備前—土と炎から生まれる造形美—」  
基調講演&特別対談



「第十回I氏賞受賞作家展Spur その先にある風景」  
アーティスト・トーク



「第67回日本伝統工芸展岡山展」  
伝統工芸に親しむ/漆芸についてのお話



「マイセン動物園展」  
記念講演会



「雪舟と玉堂一ふたりの里帰り」  
記念講演会

## 1-2 ワークショップ等

### (1) 令和2年度 ワークショップ

「つくる（制作）」「みる（鑑賞）」に関わるプログラムによって、参加者が美術館に親しみ、作品や美術に対する理解が深まることをねらいとしている。

また、プレ・ミュージアム事業として「きつず&じゅにあ・ミュージアム・Lab」を開催した。同事業は、ファミリー層による段階的な美術館へのアクセスが可能となることを目的としたもの。「きつず・Lab」は、就学前児童から小学校中学年までを対象として「遊びを通して美術や美術館と出会う場」をコンセプトにプログラムを実施した。「じゅにあ・Lab」は、小学校中学年から中学生を対象として「思考と試行を通して美術や美術館と出会う場」をコンセプトにプログラムを実施した。

日程	会場	プログラム名	講師、担当者等	対象、定員	参加人数
4月11日(土) 10:30-12:00、 14:00-15:30	研修室	じゅにあ・ミュージアム・Lab(4月) 「形を動かしてみよう／パラパラまんが」 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	岡本裕子 (主任学芸員)	小学校中学年さんから 中学生ぐらいまで 各回10人程度 事前申込先着順	
4月18日(土) 10:30-12:00、 13:00-14:30、 14:00-16:30	研修室& ホワイエ	きつず・ミュージアム・Lab(4月) 「ちょきちよき ペたぺたー巨大こいのぼりー」 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	岡本裕子	年中さんから小学校中 学年さんぐらいまで 各回10人程度 事前申込先着順	
5月16日(土) 10:30-12:00、 13:00-14:30、 15:00-16:30	研修室&2階 展示室	きつず・ミュージアム・Lab(5月) 「桃太郎's フェイスペインティング」 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	岡本裕子	年中さんから小学校中 学年さんぐらいまで 各回8人 事前申込先着順	
6月13日(土) 10:30-12:00、 14:00-15:30	研修室	じゅにあ・ミュージアム・Lab(6月) 「涼を味わう／団扇」 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	岡本裕子	小学校中学年さんから 中学生ぐらいまで 各回10人程度 事前申込先着順	
6月20日(土) 10:30-12:00、 13:00-14:30、 15:00-16:30	研修室	きつず・ミュージアム・Lab(6月) 「てるてる坊主～♪てる坊主～(^.^♪」 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	岡本裕子	年少さんから小学校中 学年さんぐらいまで 各回10人程度 事前申込先着順	
7月18日(土) 10:30-12:00、 14:00-15:30 19日(日) 10:30-12:00	研修室	きつず・ミュージアム・Lab(7月) 「水の中にできる"もよう"であそぼう!」	岡本裕子、三井麻央 (学芸員)、中西ひかる (魅力発信スタッフ)	年中さんから小学校中 学年さんぐらいまで 各回6人 事前申込先着順	18日AM/6人 PM/6人 19日AM/6人
8月8日(土) 10:00-12:00、 14:00-16:00 9日(日) 10:00-12:00	研修室	じゅにあ・ミュージアム・Lab(8月) 「“えのぐ”って何?」	小川美菜子氏 (株式会社クサカベ技 術開発部次長)	小学校中学年さんから 中学生さん 各回8人 事前申込先着順	8日AM/7人 PM/8人 9日AM/8人
8月15日(土) 10:30-12:00、 14:00-15:30 16日(日) 10:30-12:00	研修室	きつず・ミュージアム・Lab(8月) 「しゅわしゅわ～♪じゅわじゅわ～(^.^♪ ーグラデーションで遊ぼう!グラデーションを楽 しもう!」	岡本裕子、三井麻央、 中西ひかる	スポイトが使える幼児から 小学校中学年さんぐらい 各回6人 事前申込先着順	15日AM/6人 PM/5人 16日AM/6人
9月19日(土) 10:30-12:00、 14:00-16:00 20日(日) 10:30-12:00	研修室	きつず・ミュージアム・Lab(9月) 「きらきら～ゆらゆら～色水にチャレンジ!!」	岡本裕子、三井麻央、 中西ひかる	スポイトが使える幼児から 小学校中学年さんぐらい 各回6人 事前申込先着順	19日AM/6人 PM/4人 20日AM/5人
10月10日(土) 10:00-12:00、 14:00-16:00 11日(日) 10:00-12:00	研修室	じゅにあ・ミュージアム・Lab(10月) 「“油絵”のひみつ」	後藤晋氏(東光会会 員・審査員)	小学校中学年さんから 中学生さん 各回8人 事前申込先着順	10日AM/8人 PM/8人 11日AM/8人
10月17日(土) 10:30-12:00、 14:00-15:30 18日(日) 10:30-12:00	研修室	きつず・ミュージアム・Lab(10月) 「光る絵の具?!をつくって、筆で遊ぼう!!」	岡本裕子、三井麻央、 中西ひかる	幼児から小学校中学年 さんぐらい 各回6人 事前申込先着順	17日AM/6人 PM/6人 18日/6人

日程	会場	プログラム名	講師、担当者等	対象、定員	参加人数
11月8日(日) 13:30-17:00	研修室	第67回日本伝統工芸展岡山展関連事業 「世界に一つだけの焼き物体験」	岡山県立大学デザイン学部造形デザイン学科	小学生以上 9組(1組2名まで) 事前申込先着順	16人
11月15日(日) 10:00-12:00、 13:30-15:30	研修室	第67回日本伝統工芸展岡山展関連事業 「ハートで触れるワクワク工房—大切な人に特別な手紙を一草木染め体験」	岡山県立大学デザイン学部造形デザイン学科	小学生以上 各回10人 (事前申込先着順)	AM/8人 PM/7人
11月21日(土) 10:30-12:00、 14:00-15:30 22日(日) 10:30-12:00	研修室	きっず・ミュージアム・Lab(11月) 「和紙+水+色⇒?」	岡本裕子 中西ひかる	幼児から小学校中学年 さんぐらい 各回6人 事前申込先着順	21日AM/6人 PM/6人 22日AM/3人
12月5日(土) 10:00-12:00、 14:00-16:00 6日(日) 10:00-12:00	研修室	じゅにあ・ミュージアム・Lab(12月) 「画面の表情を楽しんでみよう」	岡本裕子 中西ひかる	小学校中学年さんから 中学生さん 各回8人 事前申込先着順	5日AM/8人 PM/7人 6日AM/6人
12月13日(日) 10:30-11:30、 13:30-14:30	研修室	みんなの参観日関連事業「“図工の時間”に チャレンジ—アートゲーム—」	高橋和亮氏(倉敷市 立庄小学校教諭)	小学校1年生さん～6年 生さん&保護者 各回小学生8人&保護 者4人 事前申込先着順	AM/8人 PM/7人
12月19日(土) 10:30-12:00、 14:00-16:00 20日(日) 10:30-12:00	研修室	きっず・ミュージアム・Lab(12月) 「びりびり、ペタペタ…何ができるかなあ ～?」	岡本裕子 中西ひかる	幼児から小学校中学年 さんぐらい 各回6人 事前申込先着順	19日AM/6人 PM/6人 20日AM/5人
2021年 1月16日(土) 10:30-12:00、 14:00-15:30 17日(日) 10:30-12:00	研修室	みんなの参観日×きっず・ミュージアム・ Lab 「ひらひら ゆれて」	16日:赤木美貴恵氏 (新見市立西方小学 校教諭) 17日:岡本裕子、中西 ひかる	幼児から小学校中学年 さんぐらい 各回6人 事前申込先着順	16日AM/6人 PM/6人 17日AM/6人
1月23日(土) 10:00-12:00、 14:00-16:00	研修室	みんなの参観日関連事業 「“美術の時間”にチャレンジ—色にこだわっ てみよう ○○味?!—」	尾堂雅子氏(瀬戸内 市立長船中学校・牛 窓中学校講師)	年長さん以上、どなたでも 各回8人 事前申込先着順	AM/8人 PM/7人
1月24日(日) 10:00-12:00、 14:00-16:00	研修室	みんなの参観日関連事業 「“美術の時間”にチャレンジ—和傘アトラ イター—」	杉本正章氏(瀬戸内 市立邑久中学校指導 教諭)	小学校1年生さん以上、 どなたでも 各回8人 事前申込先着順	AM/9人 PM/8人
2月13日(土) 10:00-12:00、 14:00-16:00	研修室	じゅにあ・ミュージアム・Lab(2月) 「日本の画/岡山の画」	森山知己氏(日本画 家・倉敷芸術科学大 学教授)	小学校中学年さんから 中学生 各回8人 事前申込先着順	AM/6人 PM/7人
2月20日(土) 10:30-12:00、 14:00-16:00 21日(日) 10:30-12:00	研修室	きっず・ミュージアム・Lab(2月) 「雪舟さんと玉堂さんになって墨で遊んで みよう」	岡本裕子 中西ひかる	幼児から小学校中学年 さんぐらい 各回6人 事前申込先着順	20日AM/6人 PM/6人 21日AM/6人
3月20日(土) 10:30-12:00、 14:00-16:00 21日(日) 10:30-12:00	研修室	きっず・ミュージアム・Lab(3月) 「ちぎってはって、きってはって—My・わ～ るど—」	岡本裕子 中西ひかる	幼児から小学校中学年 さんぐらい 各回6人 事前申込先着順	20日AM/6人 PM/4人 21日AM/6人



「世界に一つだけの焼き物体験」



「大切な人に特別な手紙を—草木染め体験」



「きつず・ミュージアム・Lab /  
きらきら～ゆらゆら～色水にチャレンジ!!」



「じゅにあ・ミュージアム・Lab /  
“えのぐ” って何？」



「みんなの参観日×きつず・ミュージアムLab /  
ひらひら ゆれて」



「みんなの参観日“美術の時間”にチャレンジ/  
色にこだわってみよう」

## (2) 令和2年度 対話型鑑賞体験ツアー（毎月第3日曜日14:00 - ）

参加者が美術に対する理解を深め、作品とふれあってもらうことを目的に、「対話を用いた鑑賞」を実施している。「対話を用いた鑑賞」とは、ナビゲーターと呼ばれるスタッフ（当館ボランティア専門班のうちVTスタッフ）が参加者に寄り添い、対話とともに「みる・考える」を繰り返すことで、参加者の主体的な鑑賞を促す方法である。

本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施していない。

## (3) 令和2年度 「岡山の美術」 観察日記

参加者と学芸員との交換日記形式の1年間継続プログラムである。まず、当館から本事業参加者に対し、各期の「岡山の美術」展にあわせて案内ハガキ「KanKan通信」を郵送する。ハガキを受け取った参加者は作品を鑑賞し、その感想や質問を「観察日記」に記入して、学芸員がそれに答える。

令和元年度末から新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施不能だったこと、本年度も同様の状況であることを鑑みて、本年度は2年間（令和元-2年度）の継続プログラムとして実施した。

日程および回数	参加（登録）人数
2020年7月～12月 〈3回〉	21人

## 2. 博学連携事業

### 2-1 美術館学習・研修等での活用

学校授業（図画工作・美術・総合的な学習の時間・校外学習等）や教職員研修（教科別研修、初任者研修等）の場として、美術館を多くの団体に提供している。

団体対応プログラムには以下一覧表A-Dの4種があり、学校や教育センターと授業・研修の目的を話し合い、プログラムを随時検討しながら対応を行っている。本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ABは中止し、CDは学芸員が対応可能な限り実施した。

#### (1) 団体対応プログラムと令和2年度の実施状況

コース名	令和2年度の実施状況
A：自由見学コース ボランティアによるマナーガイダンス・美術館の概要説明(15分程度)のあと、自由に鑑賞を行う。	実施せず
B：グループ案内コース 団体をグループに分け、グループごとにボランティアが解説を交えながら岡山の美術展を案内する(40分程度)。	実施せず
C：対話を用いた鑑賞ヴィジュアル・シンキングコース 学芸員及びボランティアと共に、対話を用いた鑑賞(ヴィジュアル・シンキング=VT)で岡山の美術展を案内する(60-120分程度)。時間に余裕がある場合は、ゲームを通して鑑賞を深める「アートゲーム」等を組み合わせる。	29団体767人 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、VTをベースにした変則的C対応で実施した。
D：特別展解説コース 特別展担当学芸員が簡単な解説(15分程度)を行ったあと、自由に鑑賞する。	5団体65人
A-D以外の活用等 美術館インタビュー、職場体験学習、大学との協働授業等。	26団体548人
対応なし(フリー)	12団体801人

#### (2) 令和2年度 美術館学習・研修等活用実績

日程	団体名等	参加人数(引率者)	コース
6月19日(金)	岡山市立岡山中央中学校1年8班(4班×2)、支援学級(8人)「総合的な学習の時間」	56人(4人)	インタビュー等
6月25日(木)	倉敷高等学校	10人(1人)	フリー
7月9日(木)	岡山大学医学部医学科6年	8人(3人)	岡山大学医学部教育プログラム×県美教育プログラム(プレ1)「ビジュアルアート教育プログラム」
7月11日(土)	岡山大学1・2年 教養科目「ユニバーサルデザイン」学外授業	13人(2人)	UD「ユニバーサル・ミュージアム」「ダイバーシティと人づくり・まちづくり」「社会の中に見つけるやさしさ」
7月12日(日)	岡山大学大学院教育学専攻PBL「博物館(美術館)チーム〈仮〉」	5人	第1回「個人と博物館(美術館)」(意見交換)
7月19日(日)	岡山大学大学院教育学専攻PBL「博物館(美術館)チーム」	6人	第2回「展示室/作品/鑑賞(対話を用いた鑑賞)」
7月28日(火)	岡山大学医学部医学科6年	7人(2人)	岡山大学医学部教育プログラム×県美教育プログラム(プレ2)「ビジュアルアート教育プログラム」
8月1日(土)	吉備高原学園高等学校1年まんがアニメーション基礎 選択者有志	7人(1人)	フリー ※高畑展期間中は団体対応なし
8月18日(火) -22日(土)	博物館実習	9人	博物館実習プログラム
8月31日(月)	岡山県立瀬戸高等支援学校3年5クラス 班別自主活動(8-9人×6班)	39人(11人)	フリー ※高畑展期間中は団体対応なし
9月1日(火)	岡山大学大学院教育学専攻PBL「博物館(美術館)チーム〈仮〉」	5人	第3回「美術館の常識を考えるWS+意見交換」
9月23日(水)	岡山県立岡山東支援学校(高等部)	7人(3人)	フリー、1回6人×2回 ※高畑展期間中は団体対応なし ※ネットでの完全予約制
9月25日(金)	兵庫県揖保郡太子町立太子西中学校2年5クラス	176人(12人)	フリー、1回6人×32回 ※高畑展期間中は団体対応なし ※ネットでの完全予約制
9月25日(金)	倉敷市立第一福田小学校6年 班別自主活動(5-6人×6班)	29人(1人)	フリー、1回6人×5回 ※高畑展期間中は団体対応なし ※ネットでの完全予約制

日程	団体名等	参加人数(引率者)	コース
10月2日(金)	瀬戸内市立邑久小学校4年①	67人(4人)	変則Cコース ・事前出前授業 ・スライドトーク&セルフVTワークシート
10月2日(金)	瀬戸内市立邑久小学校4年②	68人(3人)	変則Cコース ・事前出前授業 ・VT(スライドトーク)&セルフVTワークシート
10月3日(土)	岡山大学 教養教育科目「実践知・感性(実践知)」	13人(5人)	地域社会と博物館(美術館) 「オリエンテーション2 博物館(美術館)の現状と課題」
10月7日(水)	岡山市立吉備中学校2年 班別自主活動(5-6人×7班)	37人	フリー
10月8日(木)	岡山大学医学部医学科5年、研修医	6人	岡大(医)×県美プログラム 「ビジュアルアート教育プログラム」
10月9日(金)	倉敷市立倉敷支援学校中学部2年	14人(9人)	本物をみる! 作家さんのお話を聞く&質問してみよう!
10月13日(火)	倉敷市立茶屋町小学校5年6クラス 班別自主活動(6人×34班)	203人(9人)	フリー
10月14日(水)	赤磐市立山陽北小学校3年3クラス	82人(5人)	変則Cコース ・事前授業 ・VT(待ち受け型)&セルフVTワークシート
10月15日(木)	岡山市立大野小学校3年2クラス	65人(5人)	変則Cコース ・事前授業 ・VT(待ち受け型)&セルフVTワークシート
10月16日(金)	久米南町立誕生寺小学校4-6年	31人(5人)	変則Cコース ・VT&セルフVTワークシート
10月20日(火)	倉敷天城中学校1年 班別自主活動	48人(3人)	フリー(鑑賞文の記入)
10月22日(木)	岡山大学医学部医学科5年	5人	岡大(医)×県美プログラム 「ビジュアルアート教育プログラム」
10月23日(金)	岡山大学教育学部附属小学校5年(い組)	34人(3人)	変則Cコース ・VT&セルフVTワークシート
10月23日(金)	岡山大学教育学部附属小学校5年(ろ組)	34人(2人)	変則Cコース ・VT&セルフVTワークシート
10月23日(金)	岡山大学教育学部附属小学校5年(は組)	34人(2人)	変則Cコース ・VT&セルフVTワークシート
10月24日(土)	京都造形教育大学(通信教育部)	26人(3人)	オプション・プログラム 「美術館における教育普及活動」(90分程度)
10月25日(日)	岡山大学 教養教育科目「実践知・感性(実践知)」	12人(3人)	岡山県立美術館での実地研修 ユニバーサル・ミュージアム —ミュージアムの“常識”って本当?!—
10月31日(土)	就実大学博物館学芸員課程クラス	23人(1人)	フリー
11月4日(水)	岡山大学医学部医学科5年	5人(1人)	岡大(医)×県美プログラム 「ビジュアルアート教育プログラム」
11月5日(木)	就実短期大学生活実践科学科2年1クラス	10人(1人)	Dコース
11月6日(金)	岡山市立岡山後楽館高等学校2年	4人(1人)	Dコース
11月10日(火)	岡山県立岡山操山中学校1年①	40人(3人)	変則Cコース ・VT(スライドトーク)&フリー
11月10日(火)	岡山県立岡山操山中学校1年②	40人(3人)	変則Cコース ・VT(スライドトーク)&フリー
11月10日(火)	岡山県立岡山操山中学校1年③	40人(3人)	変則Cコース ・VT(スライドトーク)&フリー
11月10日(火) -12日(木)	岡山市立岡北中学校2年 職場体験学習	3人	職場体験学習プログラム
11月11日(水)	岡山市立大元小学校5年5クラス 班別自主活動(4-5人×35班)	157人(11人)	フリー
11月11日(水)	就実大学3年「表現文化学科アドバンスゼミナール」	4人(1人)	鑑賞教育/Visual Thinkingプログラム
11月12日(木)	岡山市立香和中学校2年 班別自主活動(4-5人×30班)	125人(1人)	福祉学習(バリアフリー/ユニバーサルデザイン)
11月14日(土)	岡山大学文学部3-4年 人文系博物館実習	30人(1人)	オプション・プログラム

日程	団体名等	参加人数(引率者)	コース
11月19日(木)	岡山大学医学部医学科5年	5人(1人)	岡大(医)×県美プログラム「ビジュアルアート教育プログラム」
11月25日(水)	岡山市立香和中学校1年 班別自主活動(6-7人×16班)	110人(2人)	福祉学習(バリアフリー/ユニバーサルデザイン)
11月27日(金)	吉備高原学園高等学校2・3年クラフトデザインコース	16人(3人)	Dコース
12月3日(木)	岡山市立福渡小学校5年	11人(2人)	Cコース
12月3日(木)	岡山大学医学部医学科5年	5人	岡大(医)×県美プログラム「ビジュアルアート教育プログラム」
12月6日(日)	岡山市立芳田中学校美術部	11人(1人)	フリー
12月6日(日)	岡山大学 教養教育科目「実践知・感性(実践知)」	21	学生からの提案「プレゼン」
2021年 1月13日(水)	岡山学芸館高等学校2年	21人(1人)	Dコース
1月14日(木)	岡山大学医学部医学科5年	5人	岡大(医)×県美プログラム「ビジュアルアート教育プログラム」
1月14日(木)	岡山大学医学部医学科4年	5人	岡大(医)×県美プログラム「ビジュアルアート教育プログラム」
1月28日(木)	岡山大学医学部医学科4年、ドクターゼ取材(記者)	5人	岡大(医)×県美プログラム「ビジュアルアート教育プログラム」
2月24日(水)	吉備中央町立上竹荘小学校6年	6人(2人)	Dコース
3月3日(水)	就実小学校2年①	21人(2人)	変則Cコース スライドトーク&セルフワークシート
3月3日(水)	就実小学校2年②	21人(2人)	変則Cコース スライドトーク&セルフワークシート
3月4日(木)	就実小学校1年①	25人(2人)	変則Cコース スライドトーク&セルフワークシート
3月4日(木)	就実小学校1年②	25人(2人)	変則Cコース スライドトーク&セルフワークシート
3月11日(木)	岡山大学医学部医学科4年	5人(2人)	岡大(医)×県美プログラム「ビジュアルアート教育プログラム」

※学校団体観覧連絡票の提出をもとに作成

### (3) 職場体験学習(岡山キャリアスタート・ウィーク)

令和2年度 職場体験学習 受入れ実績

学校	学年	参加人数	プログラム	日程
岡山市立岡北中学校	2年	3人	①監視員、総合受付、清掃の体験 ②ミニ学芸員実習(美術館の役割についての講義、バックヤードツアー、書画の取扱、児童作品の展示、ワークショップ準備)	2020年11月10日(火)～12日(木)

## 2-2 学校出前講座

### (1) 令和2年度 日本伝統工芸展関連事業 実施実績

内容	講師	日程	学校	学年	参加人数	備考
陶芸	伊勢崎紳氏 (日本工芸会正会員)	9月24日(木) 14:05～15:45	倉敷市立下津井西小学校	5年1クラス	10人	協力:中国支部陶芸部会
				6年1クラス	10人	
		9月25日(金) 13:50～15:30	真庭市立北房小学校	4年1クラス	31人	
七宝	岩本文子氏 (日本工芸会正会員)	9月23日(水) 13:50～15:25	美咲町立旭小学校	4年1クラス	10人	
染織	佐藤常子氏 (日本工芸会正会員)	9月9日(水) 13:25～14:55	岡山市立竹枝小学校	3・4年1クラス	6人	協力:中国支部染織部会

(2) 令和2年度 岡山の美術鑑賞出前授業 実施実績

内容	講師	日程	学校	学年	参加人数
美術館鑑賞学習の事前学習 (アートゲーム)	岡本裕子	9月23日(水) 13:50-14:35 9月24日(木) 8:40-9:25、 9:35-10:20、 10:40-11:25	瀬戸内市立邑久小学校	4年4クラス	135人 (1クラス33-34人)

2-3 教員研修出張講座

令和2年度 岡山県総合教育センター研修講座 実施実績

種別	題目	講師	日程	会場	参加人数
公立学校初任者研修講座	郷土理解・伝統と文化 —美術館ってあなたにとって どんなところ? / 県美と学校 との連携について—	岡本裕子	12月10日(木) 9:00-16:00	岡山県青少年教育 センター閑谷学校	96人 ※32人×3グループを各90 分で実施した。

2-4 令和2年度 第2回 みんなの参観日「図工の時間・美術の時間—子どもの学び—」事業

(1) 令和2年度 ワーキンググループ・メンバー

氏名	所属	職名	備考
上岡弘明	岡山市教育委員会事務局 学校教育部 指導課/教育支援室	副主幹	岡山県小学校教育研究会図画工作部会会長(2020年5 月まで) ※令和2年度みんなの参観日ワーキンググルー プ・メンバー(アドバイザー)
岡根誠	倉敷市立二万小学校	校長	岡山県小学校教育研究会図画工作部会会長(2020年6 月から)
谷許智子	岡山市立御南小学校	教諭	
高橋和亮	倉敷市立庄小学校	教諭	
下川愛子	赤磐市立山陽西小学校	教諭	
赤木美貴恵	新見市立西方小学校	教諭	
川西隆	倉敷市立多津美中学校	校長	岡山県中学校教育研究会美術部会会長
松浦藍	岡山市立福浜中学校	教諭	
藤井雅美	倉敷市立多津美中学校	教諭	
杉本正章	瀬戸内市立邑久中学校	指導教諭	
大谷良子	津山市立津山西中学校	教諭	
田井良和	岡山県総合教育センター 研修部/義務教育班	指導主事	
守安収	岡山県立美術館	館長	
梶谷隆行	岡山県立美術館	管理者	
岡本裕子	岡山県立美術館	主任学芸員	
福富幸	岡山県立美術館	学芸課長	
八田真理子	岡山県立美術館	学芸員	
中西ひかる	岡山県立美術館	魅力発信スタッフ	

(2) 令和2年度 ワーキンググループによる準備・検討会

回次	日程	会場	議題
第1回	6月1日(月) 14:30-16:00	岡山県立美術館研修室	開催に向けて(コロナ禍での現状をふまえて)
第2回	7月17日(金) 14:30-16:30	岡山県立美術館研修室	開催に向けて(説明会を終えて、事業骨格の再確認、参加校 打合せ会に向けて等)
第3回	2021年 2月16日(火) 14:30-16:30	岡山県立美術館研修室	展覧会報告(進め方、成果と課題等)、次年度開催に向けて(ス ケジュール、事業内容等の検討)

## (3) 令和2年度 説明会

回次	日程	会場	出席者	参加人数
第1回(県南会場)	5月19日(火) 14:00-15:30	岡山県立美術館研修室	岡本	1人(玉野市内中学校教員)
第2回(県南会場)	6月12日(金) 14:00-15:30	岡山県立美術館研修室	谷許、高橋、赤木、川西、 松浦、杉本、岡本	3人(岡山県内中学校教員)
第3回(津山会場)	6月16日(火) 15:00-16:30	津山市中央公民館2階会議室3	杉本、大谷、岡本	4人(津山市内小学校校長・中学校教員)

## (4) 令和2年度 参加校打合せ会

日程	会場	出席者	参加人数
8月20日(木) 14:00-16:15	岡山県生涯学習センター 情報・創作棟2階ミーティング室 ①②③	上岡、岡根、谷許、下川、高橋、赤木、川西、杉本、 藤井、田井、守安、梶谷、福富、岡本、八田、 中西	8人(岡山県内小中学校教員)

## (5) 令和2年度 ワーキンググループ・メンバーおよび参加校教員による参加校授業見学

学校	日程	見学者
瀬戸内市立邑久中学校	9月2日(水) 10:55-11:45、10月15日(木) 13:40-14:25、 11月5日(木) 14:00-14:50	岡本、八田+α
瀬戸内市立長船中学校	9月7日(月) 12:00-12:50、8日(火) 9:00-9:50、10:00-10:50、 15日(火) 9:00-9:50	岡本
瀬戸内市立牛窓中学校	9月11日(金) 11:00-11:50、12:00-12:50	岡本
津山市立津山東中学校	9月17日(木) 13:35-14:25	大谷、守安、岡本
倉敷市立庄小学校	10月12日(月) 14:00-15:40、19日(月) 14:00-15:40、 26日(月) 14:00-15:40+α	杉本、梶谷、岡本
和気町立和気中学校	10月27日(火) 12:00-12:50	杉本、岡本
玉野市立宇野中学校	10月28日(水) 10:40-11:25、11月16日(月) 10:50-11:40+α	上岡、松浦、尾堂、田井、岡本
倉敷市立二万小学校	11月18日(水) 13:10-13:55+α ※同日は令和元・2年度岡山県小学校教育研究会図画工作部研究指定公開授業 研究会(図画工作科)開催日	岡本
新見市立西方小学校	11月26日(木) 13:40-15:15、12月2日(水) 10:35-12:10	杉本、梶谷、岡本

## (6) 令和2年度 展示事業

前後期	日程	準備日程	撤収日程	参観者数
前期	12月13日(日)-27日(日)	12月12日(土) 9:00-	12月27日(日) 17:00-、29日(火) 9:00-	1,111人
後期	2021年1月10日(日)-24日(日)	1月9日(土) 9:00-	1月24日(日)、25日(月)、26日(火)各日17:00-	1,772人

## (7) 令和2年度 前期参加校一覧

学校名	代表者名	授業者名	参加学年	題材名
倉敷市立庄小学校	千葉照久	高橋和亮	4年	みんなで作る 庄の色アート
倉敷市立二万小学校	岡根誠	青野智氣	6年	あんな自分になりたいな —最高のワンシーン—
和気町立和気中学校	小林健	後藤杏	3年	“立体模写”に挑戦!!
津山市立津山東中学校	植月慎二	谷元裕治	3年	コロナ禍のいまだからこそ津山をArtで応援しよう!



前期展示会場（全体）



前期展示／参観者－その1－



前期展示／参観者－その2－

(8) 令和2年度 後期参加校一覧

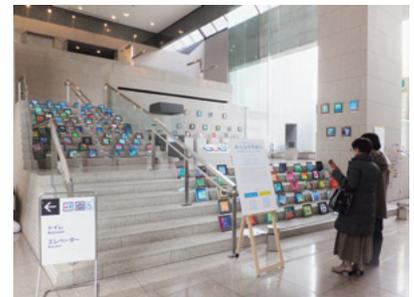
学校名	代表者名	授業者名	参加学年	題材名
新見市立西方小学校	西岡宏	赤木美貴恵	1年	ひらひら ゆれて
瀬戸内市立牛窓中学校	小田洋子	尾堂雅子	1年	色にこだわり、色を知り、色から広がるイメージの世界
			3年	このくつを履いて 未来へ踏み出す一歩
瀬戸内市立邑久中学校	藤森卓麻	杉本正章	1年	竹久夢二の世界—和傘アートライトー
瀬戸内市立長船中学校	松田典久	尾堂雅子	1年	色にこだわり、色を知り、色から広がるイメージの世界
玉野市立宇野中学校	福本泰久	平田朝一	2年	わがまちのよさを伝える 玉野・宇野 観光PRのぼり —玉野元気化計画—
			3年	私たちが考える 玉野活性化夢プラン —私たちの「玉野」を盛り上げよう—
倉敷市立南中学校	岡田直利	穂田崇	1年	『印象派風絵画』—三原色を使った絵画制作—



後期展示会場（一部）



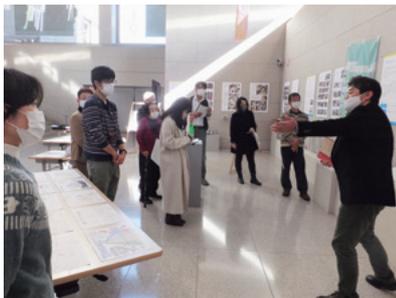
後期展示／参観者－その1－



後期展示／参観者－その2－

(9) 令和2年度 教育普及事業(アクティビティ)

回次	内容	講師および登壇者	日程	会場
第1弾(前期)	“図工の時間”にチャレンジ —アートゲーム—	高橋和亮	12月13日(日) 午前の部10:30—、 午後の部13:30—	岡山県立美術館屋内広場 (展覧会会場)
第2弾(後期)	座談会—地域社会と連携した “学校、そして美術の時間”	杉本正章、平田朝一、 岡本裕子	2021年1月10日(日) 14:00—	岡山県立美術館屋内広場 (展覧会会場)
第3弾(後期)	図工の時間×きつず・ミュージアム・LAB —ひらひら ゆれて—	16日：赤木美貴恵 17日：岡本裕子、中西ひかる	1月16日(土) 午前の部10:30—、 午後の部14:00—	岡山県立美術館研修室
第4弾(後期)	“美術の時間”にチャレンジ —色にこだわってみよう ○○味?!—	尾堂雅子	1月23日(土) 午前の部10:00—、 午後の部14:00—	岡山県立美術館研修室
第5弾(後期)	“美術の時間”にチャレンジ —和傘アートライトー	杉本正章	1月24日(日) 午前の部10:00—、 午後の部14:00—	岡山県立美術館研修室



“美術の時間” 座談会



“図工の時間” にチャレンジ/アートゲーム



“美術の時間” にチャレンジ/和傘アートライト

(10) 令和2年度 広報物

ポスター：B3

フライヤー：100×148mm（表／裏）

プロモーション・ビデオ（PV）：25秒

岡山県立美術館 教育普及展 第2回  
**みんなの参観日**  
「図工の時間・美術の時間—子どもの学び—」

みんなが小学校の授業でしている「図工の時間」、  
みんなが中学校の授業でしている「美術の時間」を、  
みんなが参観することができ教育普及展—それが、  
みんなの参観日「図工の時間・美術の時間—子どもの学び—」です。

今、図工の時間で学んでいる小学生、  
今、美術の時間で学んでいる中学生、  
未来の小学生や中学生であるちびっこ、  
かつて小学生・中学生だった高校生・大学生（卒業生）のみなさん、  
そして、社会人のみなさん、保護者のみなさん、おじいちゃん、おばあちゃん、先生——  
《みんなの参観日》です。

**後期**  
2020年12月13日(日)～12月27日(日)

**前期**  
2021年1月10日(日)～1月24日(日)

会期中の土・日・祝日は、ワークショップやトークなどの関連事業を開催します。  
（詳しくは岡山県立美術館ホームページで随時更新いたします）

開館時間 9:00～17:00（入館は開館前30分まで、17:00閉館）  
休館日 月曜日（祝日の場合は除く） 会場「岡山県立美術館 屋内広場」観覧料無料

岡山県立美術館  
〒700-0808 岡山県岡山市北区大倉山1-1-1  
TEL:086-225-4000 FAX:086-224-0048  
E-mail:kenbi@okayama-kenbi.jp  
https://okayama-kenbi.jp

ポスター（B3）

岡山県立美術館 教育普及展 第2回  
**みんなの参観日**「図工の時間・美術の時間—子どもの学び—」  
観覧無料

みんなが小学校の授業でしている「図工の時間」、  
みんなが中学校の授業でしている「美術の時間」を、  
みんなが参観することができ教育普及展—それが、  
みんなの参観日「図工の時間・美術の時間—子どもの学び—」です。

**後期**  
2020年12月13日(日)～12月27日(日)

**前期**  
2021年1月10日(日)～1月24日(日)

参加校  
倉敷市立小学校、倉敷市立二小中学校、美作市立長久保中学校、津山市立津山南中学校

観覧校  
倉敷市立小学校、倉敷市立二小中学校、美作市立長久保中学校、津山市立津山南中学校、津山市立長久保中学校、津山市立津山南中学校、津山市立津山南中学校

開館時間 9:00～17:00（入館は開館前30分まで、17:00閉館）  
休館日 月曜日（祝日の場合は除く） 会場「岡山県立美術館 屋内広場」観覧料無料

岡山県立美術館  
〒700-0808 岡山県岡山市北区大倉山1-1-1  
TEL:086-225-4000 FAX:086-224-0048  
E-mail:kenbi@okayama-kenbi.jp  
https://okayama-kenbi.jp

フライヤー（100×148mm表）

岡山県立美術館 教育普及展 第2回  
**みんなの参観日**「図工の時間・美術の時間—子どもの学び—」  
観覧無料

みんなが小学校の授業でしている「図工の時間」、  
みんなが中学校の授業でしている「美術の時間」を、  
みんなが参観することができ教育普及展—それが、  
みんなの参観日「図工の時間・美術の時間—子どもの学び—」です。

**後期**  
2020年12月13日(日)～12月27日(日)

**前期**  
2021年1月10日(日)～1月24日(日)

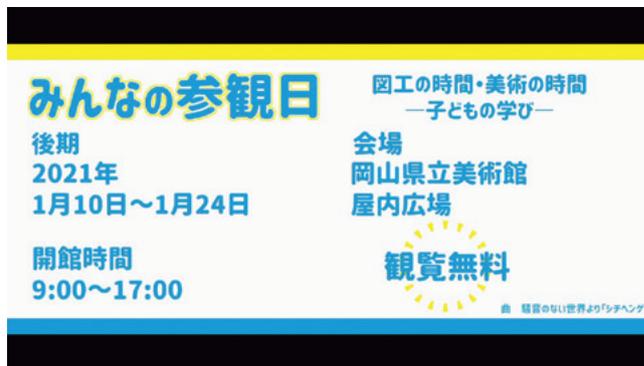
参加校  
倉敷市立小学校、倉敷市立二小中学校、美作市立長久保中学校、津山市立津山南中学校

観覧校  
倉敷市立小学校、倉敷市立二小中学校、美作市立長久保中学校、津山市立津山南中学校、津山市立長久保中学校、津山市立津山南中学校、津山市立津山南中学校

開館時間 9:00～17:00（入館は開館前30分まで、17:00閉館）  
休館日 月曜日（祝日の場合は除く） 会場「岡山県立美術館 屋内広場」観覧料無料

岡山県立美術館  
〒700-0808 岡山県岡山市北区大倉山1-1-1  
TEL:086-225-4000 FAX:086-224-0048  
E-mail:kenbi@okayama-kenbi.jp  
https://okayama-kenbi.jp

フライヤー（100×148mm裏）



プロモーション・ビデオ

(11) 令和2年度 刊行物

記録集

A4変形 (95ページ)

2021年3月29日発行



記録集／みんなの参観日

2-5 高等学校との連携事業—カルチャーゾーン・プロジェクト「岡山カルチャーゾーン三十六景」

(1) カルチャーゾーン・プロジェクト概要

2019年度（令和元年度）から3年計画で実施した岡山県立岡山芳泉高等学校美術部との協働プロジェクト。岡山カルチャーゾーンの魅力を高校生視点から伝えるアート作品を制作し、広く一般に周知することを狙いとした。初年度より毎年中間報告会を開催して広く一般にプレゼンし、意見交換しながらブラッシュアップを図り、最終年度末には、完成お披露目会（最終報告会）を開催した。

・担当者：平尾教人氏（岡山県立岡山芳泉高等学校教諭）、岡本裕子

(2) 令和2年度 カルチャーゾーン・プロジェクト「報告会」 実施実績

回次	日程	会場	報告者	内容
中間報告会(その2) ※2020年3月19日(木)実施予定だったが、緊急事態宣言発令のため延期したもの。	7月23日(木・祝) 13:30—(80分程度)	岡山県立美術館講義室	岡山県立岡山芳泉高等学校美術部	①令和元年度の取り組みについて(太郎プロジェクトからカルチャーゾーン・プロジェクトに至る経緯) ②「岡山カルチャーゾーン三十六景」2019年度中間発表 ③意見交換等
最終報告会	2021年3月23日(火) 15:00—(90分程度)	岡山県立美術館講義室、 並びにオンライン開催	岡山県立岡山芳泉高等学校美術部	①3年間の取り組みの概要 ②「岡山カルチャーゾーン三十七景」発表 ③意見交換等

## 2-6 大学との連携事業—博物館実習

## (1) 令和2年度 博物館実習 受入れ状況

日程	参加人数	参加大学（人数内訳）
8月18日(火)～8月22日(土)	9人	愛知県立芸術大学(1人)、岡山大学(3人)、甲南女子大学(1人)、就実大学(1人)、ノートルダム清心女子大学(3人)

## (2) 令和2年度 実習日程およびプログラム

日程	8月18日(火)				8月19日(水)			
	AM 9:30-10:30	AM 10:40-12:00	PM 13:00-14:25	PM 14:35-16:00	AM 9:00-10:25	AM 10:35-12:00	PM 13:00-14:25	PM 14:35-16:00
内容 & 担当者	オリエンテーション 橋村	バックヤード・ツアー 橋村	ユニバーサル・ミュージアム ① 岡本	ユニバーサル・ミュージアム ② 岡本	工芸概説 福富	工芸実習(A班) 福富 資料の取り扱い(B班) 中村	工芸実習(B班) 福富 資料の取り扱い(A班) 中村	文化財ネットワークについて 福富
日程	8月20日(木)							
	AM 9:00-10:25	AM 10:35-12:00	PM 13:00-14:25	PM 14:35-16:00	AM 9:00-10:25	AM 10:35-12:00	PM 13:00-14:25	PM 14:35-16:00
内容 & 担当者	日本画実習(A班) 八田・河野・中村 新しい生活様式にそくした美術館の在り方について(B班) 福富	日本画実習(B班) 八田・河野・中村 新しい生活様式にそくした美術館の在り方について(A班) 福富	洋画実習(A班) 橋村・三井 博物館相互の連携(B班) 中村	洋画実習(B班) 橋村・三井 博物館相互の連携(A班) 中村				
日程	8月21日(金)				8月22日(土)			
	AM 9:00-10:25	AM 10:35-12:00	PM 13:00-14:25	PM 14:35-16:00	AM 9:00-10:25	AM 10:35-12:00	PM 13:00-14:25	PM 14:35-16:00
内容 & 担当者	印刷物の制作について 中西	新進美術家育成事業について 古川	洋画・彫刻・現代美術・写真の展示について① 廣瀬	洋画・彫刻・現代美術・写真の展示について② 廣瀬	ユニバーサル・ミュージアム ③ 岡本	コロナ禍における美術館の取り組み 橋村	SNS、ウェブ広報について 三井	総括 橋村

## 2-7 大学との連携事業—協働授業・連携プログラム

## (1) 令和2年度 岡山大学連携事業

科目	講師	題目及び内容	日程	会場	参加学生数	備考
教養科目「ユニバーサル・デザイン」学外授業	清田哲男氏(岡山大学教授)、徳田恭子氏(NPO法人まちづくり推進機構理事)、岡本裕子	①バリアフリーを超えるユニバーサル・ミュージアムを目指して(岡本) ②ダイバーシティと人づくり・まちづくり 車いすから見つめる(徳田) ③社会の中に見つけるやさしさ(清田) ④まちのなかのやさしさ発見(グループワーク・調査)	7月11日(土) 13:00-17:00	岡山県立美術館 研修室、館内、館外	13人	担当教員:清田哲男氏
地域社会と博物館(美術館)	教員:大橋功氏(同学教授)、桑原敏典氏(同学教授)、赤木里香子氏(同学教授) ミュージアム:野田繭子氏(岡山県立博物館学芸員)、須藤寛氏(岡山市立オリエント美術館副主査学芸員)、橋本龍氏(林原美術館主任学芸員)、岡本裕子	①各ミュージアム施設の現状と課題 ②各ミュージアム施設でのワークショップ ③提案に向けて ④提案プレゼンテーション	9月23日(水)～12月6日(日) 合計6回	①岡山県立美術館講義室 ②各ミュージアム ③大学等 ④岡山県立美術館講義室	12人	大学と岡山カルチャーゾーン内ミュージアム(岡山県立博物館、岡山市立オリエント美術館、林原美術館、岡山県立美術館)の連携授業

科目	講師	題目及び内容	日程	会場	参加学生人数	備考
医学部医学科生に対する「ビジュアルアート教育」プロジェクト	美術館…福富幸(学芸課長)、三井麻央(学芸員)、岡本裕子	①ブラインド・トーク—聴くワークショップ— ②対話を用いた鑑賞 ③振り返り(共有の時間)	2020年7月～ 2021年3月 (各月原則2回 実施、各回13: 30-15:30)	岡山県立美術館講義室&展示室 ※県美プログラム実施日が展示替え等で休館の場合は、岡山大学(医局)にて実施。	医学部 医学科5年 各回5-6人	担当教員等：木股敬裕氏(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科形成再建外科分野教授)、小比賀美香子氏(同研究科総合内科学分野講師)、松本洋氏(同研究科形成再建外科学分野助教)、久保卓也氏(岡山大学医学部医学科生)、大塚益美氏(株式会社大塚デザイン会長)

## (2) 令和2年度 ノートルダム清心女子大学連携事業

科目	講師	題目及び内容	日程	会場	参加学生人数	備考
博物館情報・メディア論	岡本裕子	岡山県立美術館の教育普及とアクセス—美術館って何をするといい?美術館ってどんなところ?— ※レクチャー、ワークショップ、ディスカッションを行った。	9月15日(火) 14:45-16:15、 16:30-18:00	ノートルダム清心女子大学	博物館情報・メディア論(学芸員課程)履修生 23人	担当教員：村田麻里子氏(関西大学社会学部教授) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため出前講座として実施。

## (3) 令和2年度 京都芸術大学連携事業

科目	講師	題目及び内容	日程	会場	参加学生人数	備考
公開講座—収穫祭—	岡本裕子	ユニバーサル・ミュージアム—ミュージアムの常識って本当?! ※レクチャー、ワークショップ、ディスカッションを行った。	10月24日(土) 13:10-14:40	岡山県立美術館講義室	通信教育部在学学生、卒業生 26人	奥田輝芳(教授)、加藤志織(准教授)等

### 3. 交流事業

研究成果や事業報告など、他の博物館施設や地域等と交流事業を行っている。

#### 3-1 令和2年度 交流事業実施実績

題目	日程	講師	主催	会場
きろくる岡山ゼミナール 「画家・衣笠豪谷と明治の倉敷」	10月4日(日)	八田真理子 (学芸員)	岡山県立記録資料館	岡山県立記録資料館
きつず☆ユニバ/スペシャル☆ユニ日 きつず☆ユニバ連携施設コラボイベント 「触れる自然/アートで伝える/照らし出されるもの—光 によってたくさんの情報を得ていることを意識しよう」	1月30日(土)	岡本裕子 (主任学芸員)	岡山県生涯学習センター	岡山県自然保護センター
文化芸術交流vol.31 「訪問実験室② 飾る、仕舞う、運ぶ～作品や道具類 をコンディション良く楽しむために～」	2月18日(木)	福富幸 (学芸課長)	おかやま文化芸術アソシエイツ	岡山県立美術館

## 4. ボランティア活動

地域に親しまれる開かれた美術館を目指し、来館者と美術館の橋渡しをするとともに、美術館活動の円滑な運営を目的として、開館以来ボランティア制度を導入している。

本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年の事業を実施しない場合が多かった。以下には本年度実施内容を記載する。

### 4-1 登録者数

95人（2021年3月末時点）

### 4-2 活動内容

#### (1) 令和2年度 各班の活動内容

班名	内容	日程・担当	
当番班	来館者に対する館内施設の案内・誘導、美術館の概要や展示品の解説、新聞の切り抜き等の活動をする。 臨時作業および自主活動としては、展覧会等のポスター・チラシ発送作業、美術館講座等の受付や対応、各種研修やワークショップ、出前講座等のサポートをおこなった。	毎週火～日曜日 16の当番班(各曜日および土日の午前・午後、隔週)の担当者	
館事務補助	学芸課の事務補助を中心として、チラシ等の整理、ポスター掲示等の諸作業、新聞切り抜き記事や図書資料情報のPC入力作業等の活動をおこなった。	毎週火～日曜日 曜日毎の担当者	
専門班	図書整理班	館の購入本や他館からの寄贈本・ビデオ等の登録をし、さらに登録済みや閲覧済みの図書を書庫に収納した。	月1回程度
	資料整理班	当番班による切り抜きと館事務補助によるPC入力が済んだ新聞記事を整理・分類し、スクラップブックに貼付し保管した。	月1回程度
	VT班	「対話を用いた鑑賞」のナビゲーターを務める。	毎月第3日曜日に実施する予定であったが、本年度は実施できなかった。

#### (2) 令和2年度 研修等

研修名	内容	日程・回数
新人研修	第34期新人ボランティアを対象とした、美術館ボランティアにとって必要なことを考え、理解してもらうための事前研修。	1月16日(土)、23日(土)、2月14日(日)、27日(土)、3月6日(土)、14日(日)の計6回

#### (3) 令和2年度 ボランティア代表者会議、総会、懇親会

会名	内容	対象	日程・回数
ボランティア代表者会議	当月の活動内容を確認、先月の反省などを話し合った。	各当番班、専門班からの代表者各1名(計約20名)	毎月中旬
ボランティア総会	本年度の報告や議題をまとめ、館員とボランティアとの意見交換をおこなった。また、館員から次年度の事業説明をおこなった。	全ボランティアおよび当館学芸課、総務課	3月14日(日)

## 5. ホールイベント実施状況

月 日	曜日	催物	演題〔演目〕	講師・出演者	主催者
7月 8日	水	講演	令和2年度 岡山県博物館協議会総会記念講演会	岡山市教育委員会事務局 副主幹 上岡弘明	岡山県博物館協議会
7月24日	金・祝	コンサート	ピティナピアノステップ 岡山夏期	会員	全日本指導者協会 岡山白桃ステーション
8月 7日	金	コンサート	ミュージアムコンサートリハーサル	上月真子ほか	岡山県立美術館
8月21日	金	コンサート	ミュージアムコンサートリハーサル	都カルテット	岡山県立美術館
10月 3日	土	講演	記念講演会 「赤松麟作と大阪の近代洋画」	美術史家 熊田司	岡山県立美術館
10月 4日	日	コンサート	ピアノ発表会	会員	小川陽美
10月10日	土	コンサート	JOY MUSIC SCHOOL 第20回ピアノコンサート	会員	JOY MUSIC SCHOOL
10月11日	日	講演	基調講演「備前焼の魅力と作風の展開 - 桃山から現代まで -」 & 特別対談	国立工芸館館長 唐澤昌宏ほか	岡山県立美術館
10月17日	土	講演	特別展 The備前 アーティスト・トーク	重要無形文化財保持者・ 備前焼作家 伊勢崎淳	岡山県立美術館
10月18日	日	コンサート	ピアノ発表会	会員	リトキッズ
10月25日	日	講演	備前焼フォーラム	益子陶芸美術館学芸員 松崎裕子ほか	岡山県立美術館
11月 1日	日	コンサート	オータムコンサート2020	会員	音楽教室!arte(ラルテ)
11月 3日	火・祝	コンサート	ベートン音楽コンクール	会員	ベートン音楽協会
11月 7日	土	コンサート	ベートン音楽コンクール	会員	ベートン音楽協会
11月 8日	日	講演	岡山の美術 第十回I氏賞受賞作家展 アーティスト・トーク	小林正秀ほか	岡山県立美術館
11月 8日	日	コンサート	All This Time ～この時がすべて～	久保木純湖	久保木純湖
11月15日	日	コンサート	小さな秋のコンサート	会員	村上由美子
11月22日	日	コンサート	ごきげんコンサート	会員	大賀しづか
11月23日	月・祝	講演	特別展 第67回日本伝統工芸展 特別作品解説会(陶芸)	本展監査委員 神農巖ほか	岡山県立美術館
11月27日	金	コンサート	「第15回ふれあいコンサート」 withアンサンブル リハーサル・準備	会員	大阪音楽大学同窓会(幸楽会) 岡山県支部

月 日	曜日	催物	演題〔演目〕	講師・出演者	主催者
11月28日	土	コンサート	「第15回ふれあいコンサート」 withアンサンブル	会員	大阪音楽大学同窓会〈幸楽会〉 岡山県支部
12月 5日	土	講演	記念講演会「動物表現を通して知る マイセン磁器の様式」	パナソニック汐留美術館学芸員 岩井美恵子	岡山県立美術館
12月12日	土	講演	鉄生産の始まりと展開	愛媛大学東アジア古代鉄文化研究 センター 教授 村上恭通 ほか	岡山県古代吉備文化財センター
1月23日	土	その他	古希記念 おかやま南光亭	桂南光 ほか	米朝事務所
1月24日	日	コンサート	上森佳枝 ピアノリサイタル	上森佳枝	瀬戸内アーツカウンシル
1月30日	土	その他	早期避難周知動画作成事業	岡山操山高校演劇部生徒	備前県民局
2月11日	木・祝	コンサート	上野星矢 フルトリサイタル	上野星矢 ほか	パウエル・フルート・ジャパン
2月13日	土	講演	記念講演会 「わかってあげよう雪舟と玉堂」	学習院大学教授 島尾新	岡山県立美術館
2月14日	日	コンサート	ミュゼット発表会	会員	ミュゼットの会
2月19日	金	講演	講座「担当学芸員が語る雪舟」	当館学芸員 八田真理子	岡山県立美術館
2月20日	土	コンサート	第20回道コンサート(箏曲)リハーサル	会員	道広美智恵
2月21日	日	コンサート	第20回道コンサート(箏曲)	会員	道広美智恵
2月26日	金	講演	講座「担当学芸員が語る玉堂」	当館館長 守安收	岡山県立美術館
3月 6日	土	コンサート	創作舞踊公演 「旅路の果て—雪舟《山水図》より—」 &WS「雪舟・玉堂エクササイズ」	環太平洋大学ダンス部	岡山県立美術館

## 6. 刊行物

## (1) 美術館ニュース

**第129号** (2020年7月発行)

- 表紙「美術館の紹介vol.29」
- 令和おとぎ草子 桃太郎 KAMISHI by 松井えり菜 古川文字子 (学芸員)
- 特別展「坂田一男 捲土重来」を振り返って 橋村直樹 (学芸員)
- 地下展示室のLED照明工事、完了！！ 中村麻里子 (副管理者)
- 新収蔵品紹介 File16  
吉田百太郎《伝馬遠「高士探梅図」模写》 八田真理子 (学芸員)
- 展覧会スケジュール
- 館長コラム 牡丹と芍薬 守安收 (館長)
- 編集後記 三井麻央 (学芸員)

**第130号** (2020年9月発行)

- 表紙「収蔵品の紹介 Vol.1」  
赤松麟作《串本》(部分)
- 赤松麟作展へのいざない 廣瀬就久 (主任学芸員)
- コロナ禍で断たれたこと／繋がっていたこと  
—博学連携編— 岡本裕子 (主任学芸員)
- 画の歓び 古川文字子 (学芸員)
- 新収蔵品紹介 File17 虫明焼 福富幸 (学芸課長)
- 展覧会スケジュール
- 館長コラム コロナ禍の美術館 守安收 (館長)
- 編集後記 三井麻央 (学芸員)

**第131号** (2020年12月発行)

- 表紙「収蔵品の紹介 Vol.2」  
浦上玉堂《山澗読易図》(部分)
- マイセン動物園展 福富幸 (学芸課長)
- 雪舟の里帰りに寄せて 八田真理子 (学芸員)
- 新収蔵品紹介 File18  
坂田一男のフランス留学時代の水彩画 橋村直樹 (学芸員)
- 展覧会スケジュール
- 館長コラム 玉堂さん 守安收 (館長)
- 編集後記 中西ひかる

**第132号** (2021年3月発行)

- 表紙「収蔵品の紹介 Vol.3」  
有永浩太《net》(部分)
- 肉筆浮世絵の世界 アナザーワールド発見！  
中村麻里子 (副管理者)
- きっず・ミュージアム・Lab /じゅにあ・ミュージアム・Lab 岡本裕子 (主任学芸員)
- 玉島の柚木家と父子孫三代の絵画  
橋村直樹 (学芸員)
- 展覧会スケジュール
- 館長コラム 「玉堂展」の頃に 守安收 (館長)
- 編集後記 中西ひかる

## (2) 展覧会リーフレット



内 容 令和2年度展覧会の紹介  
 版型サイズ 210×420mm  
 発 行 2020年3月

## (3) 岡山県立美術館 研究紀要



第11号

内 容 橋村直樹

研究ノート 新収蔵の坂田一男作品・関連資料の紹介

一坂田一男研究序説

福富幸

特別展「The 備前一土と炎から生まれる造形美」を終えて

附：令和元年度備前焼実態調査報告

岡本裕子

コロナ禍における学校との連携

——鑑賞ワークショップの実践報告

版型サイズ A4 (76ページ)

発 行 令和2年5月31日

# 施設・設備の概要

## 1. 建物の概要

設置場所	岡山市北区天神町8番48号
設 計	(株)岡田新一設計事務所
構 造	鉄筋コンクリート造り 地上3階 地下2階
敷地面積	8,158㎡ (土光敏夫先生記念苑を含む)
建築面積	3,721㎡
延床面積	14,269㎡ (駐車場 2,061㎡を含む)
仕 上 げ	〈外装〉外壁 花崗岩及び磁器タイル張り 屋根 アスファルト・コンクリート押え 〈内装〉床 花崗岩及びじゅうたん張り 壁 花崗岩、磁器タイル及びクロス張り 天井 岩棉吸音板、スチールネットパネル及びクロス張り

## 2. 設備の概要

### [ 電 気 設 備 ]

引 込	6.6KV 3相3W ループ回線地中引込 (1回線)
受 変 電 設 備	受電電圧 6.6KV 60Hz 変圧器総容量 2,175KVA 契約電力 700KW
発 電 設 備	空冷型ガスタービン機関 (低騒音型) 480PS・1,800rpm 出力 400KVA 3相3W 6.6KV
蓄 電 池 設 備	キュービクル式直流電源装置 (HS-300E)
弱 電 設 備	舞台調光、舞台音響、映像資料 (ビデオ、映画16mm)、構内交換設備、放送、電気時計、 テレビ共聴、駐車場管制
防災・防犯設備	警備センター集中監視 自火報、防羽煙複合盤 (地図式表示盤)、防犯非常錠制御盤、防災アンプ (360W)、ITV監視装置

[空気調和設備]

熱源機器	24時間系統	冷温水同時取出型熱回収式空冷ヒートポンプチラー 1台 冷却能力 118KW 加熱能力 140KW
	8時間系統	空気熱源水蓄熱システム（ブライン内融型）ヒートポンプチラー 3台 冷却能力 230KW 加熱能力 228KW 製水蓄熱能力 205KW 蓄熱容量 6,328MJ
空気調和機	24時間系統	収蔵庫4系統、展示ケース1系統
	一般系統	屋内広場 空気床暖房併用型1系統 ホール 空気床暖房床吹出型1系統 展示室4系統、その他3系統

排煙室 展示系統、ホール系統 2系統1台

[衛生設備]

給水設備	上水受水槽	12m <sup>3</sup>
	上水副受水槽	2m <sup>3</sup>
	雑用水受水槽	97.9m <sup>3</sup>

排水設備 屋内：汚水、雑排水分流方式  
屋外：汚水、雑排水分流方式

[昇降機設備]

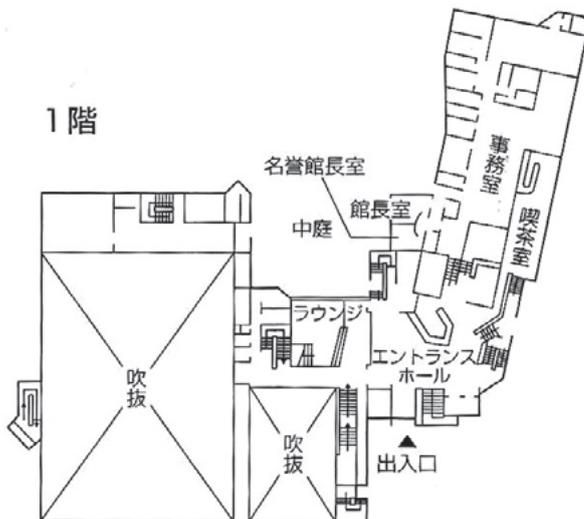
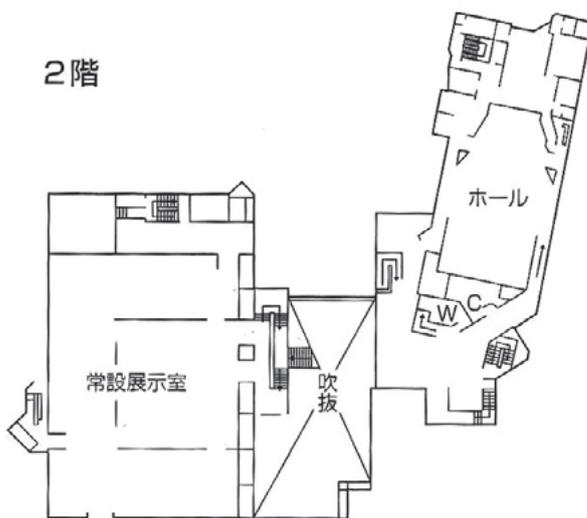
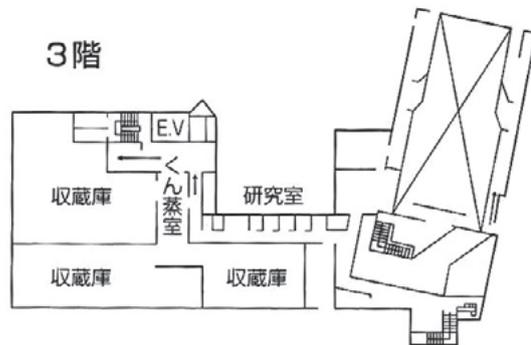
乗用	油圧式	11人乗	750kg (1基)
(車椅子兼用)	インバーター制御方式	13人乗	900kg (1基)
荷物用	油圧式	1,900kg	(1基)
	交流2段歯車方式	4,000kg	(1基)

[消火設備]

展示室・収蔵庫 ハロン消火設備

その他 泡消火設備、スプリンクラー消火設備、予作動式スプリンクラー消火設備、連結散水設備、連結送水管設備、屋内消火栓設備

3. 建物の平面図

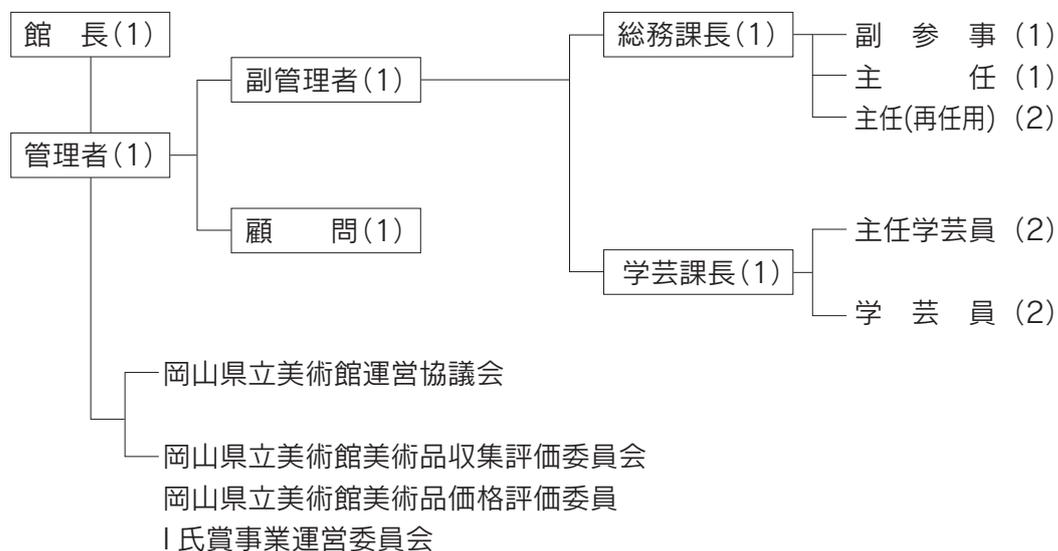


## 4. 部門・室別面積表

部 門	室 名	面積 (㎡)
展 示	常設展示室	1,184
	企画展示室	1,184
	サービススペース	322
	屋内広場など	811
	計	3,501
収 蔵	収蔵庫 (+前室)	1,107
	くん蒸室	24
	搬入荷解室など	719
	写真室など	102
	計	1,952
普 及 ・ 教 育	講義室	136
	研修室	121
	ビデオコーナー	54
	計	311
調 査 ・ 研 究	学芸員室	128
	研究室	89
	書庫	43
	計	260
ホ ー ル	客室	326
	ステージ (+袖)	155
	楽屋	24
	グリーンルーム	159
	ホワイエ (ラウンジ)	352
	化粧室 (客用)	77
	映写室など	265
	計	1,358
管 理	名誉館長室	31
	館長室	30
	事務室 (+会議室など)	188
	休憩室 (宿直室)	28
	ロッカー室	20
	防災センター	37
	中央監視室	75
	計	409
共 用	エントランスホール	215
	アートショップ	50
	情報コーナー	24
	ホワイエ	218
	ロッカー室	26
	喫茶室	115
	機械室	1,535
	廊下・倉庫など	2,234
	計	4,417
駐 車 場		2,061
合 計		14,269

# 組織及び職員構成

## 1. 組織図 (R3. 4. 1)



非常勤（館長）	1
非常勤（顧問）	1
正規職員	12
会計年度任用職員（学芸員）	3
会計年度任用職員（受付）	4
会計年度任用職員（魅力発信スタッフ）	1
計	22

## 2. 職員名簿

## 〈R2.4.1〉

館長	守安 收
管理者	梶谷 隆行
副管理者	中村麻里子
顧問	鍵岡 正謹

## 【総務課】

総務課長	渡邊 茂
副参事	宮野重由紀
主幹	小出 康代
主任	箕田 晋
主任	藤澤 正治

会計年度任用職員（総合受付）	眞鍋 淑子
会計年度任用職員（総合受付）	白井ちあき
会計年度任用職員（総合受付）	渡邊 恵子
会計年度任用職員（総合受付）	河田亜由美

## 【学芸課】

学芸課長	福富 幸
主任学芸員	岡本 裕子
主任学芸員	廣瀬 就久
学芸員	橋村 直樹
学芸員	八田真理子
会計年度任用職員（学芸員）	三井 麻央
会計年度任用職員（学芸員）	河野 琴乃
I氏賞専任職員（学芸員）	古川 文子

会計年度任用職員（魅力発信スタッフ）中西ひかる

計22名

## 〈R3.4.1〉

館長	守安 收
管理者	岡部 誠
副管理者	中村麻里子
顧問	鍵岡 正謹

## 【総務課】

総務課長	渡辺 健
副参事	宮野重由紀
主任	谷本 英治
主任	野崎 敏彦
主任	藤澤 正治

会計年度任用職員（総合受付）	眞鍋 淑子
会計年度任用職員（総合受付）	白井ちあき
会計年度任用職員（総合受付）	渡邊 恵子
会計年度任用職員（総合受付）	河田亜由美

## 【学芸課】

学芸課長	福富 幸
主任学芸員	岡本 裕子
主任学芸員	廣瀬 就久
学芸員	橋村 直樹
学芸員	八田真理子
会計年度任用職員（学芸員）	鈴木 恒志
会計年度任用職員（学芸員）	中桐 聡美
I氏賞専任職員（学芸員）	古川 文子

会計年度任用職員（魅力発信スタッフ）中西ひかる

計22名

# 付録 新収蔵作品

## 令和2年度寄贈品一覧

番号	分野	作家名	作品名	制作年代	材質技法	員数
1	工芸	太田儔	籃胎蒔醬箱 さくら	令和元(2019)年	籃胎蒔醬	1点
2	工芸	太田儔	籃胎蒔醬小箱 涼風	令和元(2019)年	籃胎蒔醬	1点
3	工芸	小野忠子	行く (のちに大物になる少年)	平成7(1995)年	木芯桐塑紙貼	1点
4	日本画	小橋陶復	竹石図	江戸時代後期 (18-19世紀)	絹本墨画淡彩	1幅
5	日本画	小橋陶復	山水図	江戸時代後期 (18-19世紀)	絹本墨画淡彩	1幅
6	日本画	小橋陶復	山水図	江戸時代後期 (18-19世紀)	絹本墨画淡彩	1幅
7	日本画	小橋陶復	墨梅図	文化8(1811)年	紙本墨画	1幅
8	日本画	鳥越烟村	竹石図	弘化元(1844)年	紙本墨画	1幅
9	日本画	鳥越烟村	山水図	弘化元(1844)年	絹本墨画	1幅
10	日本画	鳥越烟村	金魚図	江戸時代後期 (19世紀)	絹本淡彩	1幅
11	日本画	鳥越烟村	山水図	江戸時代後期 (19世紀)	紙本墨画淡彩	1幅
12	日本画	鳥越烟村	山水図	嘉永2(1849)年	絹本墨画	1幅
13	洋画	野見山暁治	うるさい午後	平成9(1997)年頃	油彩・カンヴァス	1点
		合計				13点

## 令和2年度購入品一覧

番号	分野	作家名	作品名	制作年代	材質技法	員数
1	絵画（I氏賞）	金孝妍	月と光、そして太陰潮	令和2(2020)年	銀箔、和紙	1点
2	絵画（I氏賞）	吉行鮎子	崩れる	令和2(2020)年	油彩・カンヴァス	1点
3	写真（I氏賞）	小林正秀	《土を踏む》、《美作》、 《山雪》より	平成29(2017) -令和2(2020)年	ピグメントプリント	《土を踏む》5点、 《美作》20点、《山 雪》5点
	合計					32点

# 岡山県立美術館

令和2年度 年報

発行 岡山県立美術館

岡山市北区天神町8-48

TEL(086)225-4800

印刷製本 株式会社中野コロタイプ

令和3年8月13日発行

